
12 品目別調査結果 その他品目

1. 野菜(きゅうり・トマト・アスパラガス・さやいんげん・ねぎ・ブロッコリー・グリーンピース)
2. きのこ類(しいたけ・なめこ)
3. 果物(梨・りんご・ぶどう)
4. 水産物(カツオ・カレイ類・コウナゴ・マアナゴ)
5. 畜産物(豚肉・鶏肉・牛乳)

その他の品目に関する掲載内容

- 野菜7品目、きのこ2品目、果物3品目、水産物4品目、畜産物3品目の計19品目について、概要調査とアンケート調査の内容を記載している。
 - 品目によって収集可能なデータが違っているため、掲載内容も異なる。
 - 野菜ときのこについては、概要調査のデータを幅広く収集して記載している。

品目ごとの掲載内容（野菜・きのこ）

	きゅうり	トマト	アスパラガス	さやいんげん	ねぎ	ブロッコリー	グリーンピース	しいたけ	なめこ
出荷量※1(漁獲量)の推移	○	○	○	○	○	○	-	○	○
出荷主体別の出荷量の推移	-	-	-	-	-	-	-	○	○
市場ごとの取扱量の推移	○	○	○	○	○	○	-	○	○
市場ごとの産地リレー	○	○	○	○	○	○	△(※3)	○	○
東京市場と大阪市場におけるシェア	○	△(※2)	△(※2)	○	△(※2)	△(※2)	△(※2)	△(※2)	△(※2)
東京市場と大阪市場における価格	○	△(※2)	△(※2)	○	△(※2)	△(※2)	△(※2)	△(※2)	△(※2)
消費者アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1：しいたけ・なめこは生産量。

※2：東京市場のみ。

※3：一部の市場のみ。

417

その他の品目に関する掲載内容

- 果物と水産物については、おおむね野菜・きのこと同様の内容を掲載している。
- 畜産物については、政府統計が存在しない（更新が停止されている）などの理由から概要調査の情報は限られている。

品目ごとの掲載内容（果物・水産物・畜産物）

	梨	りんご	ぶどう	カツオ	カレイ類	コウナゴ	マアナゴ	豚肉	鶏肉	牛乳
出荷量※1(漁獲量)の推移	○	○	○	○	○	○	○	○	△(※2)	△(※3)
出荷主体別の出荷量の推移	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
市場ごとの取扱量の推移	○	○	○	○	○	○	○	△(※1)	○	○
市場ごとの産地リレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京市場と大阪市場におけるシェア	○	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	-	-
東京市場と大阪市場における価格	○	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	△(※1)	-	-
消費者アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1：東京市場のみ。

※2：平成26年までのデータのみ。

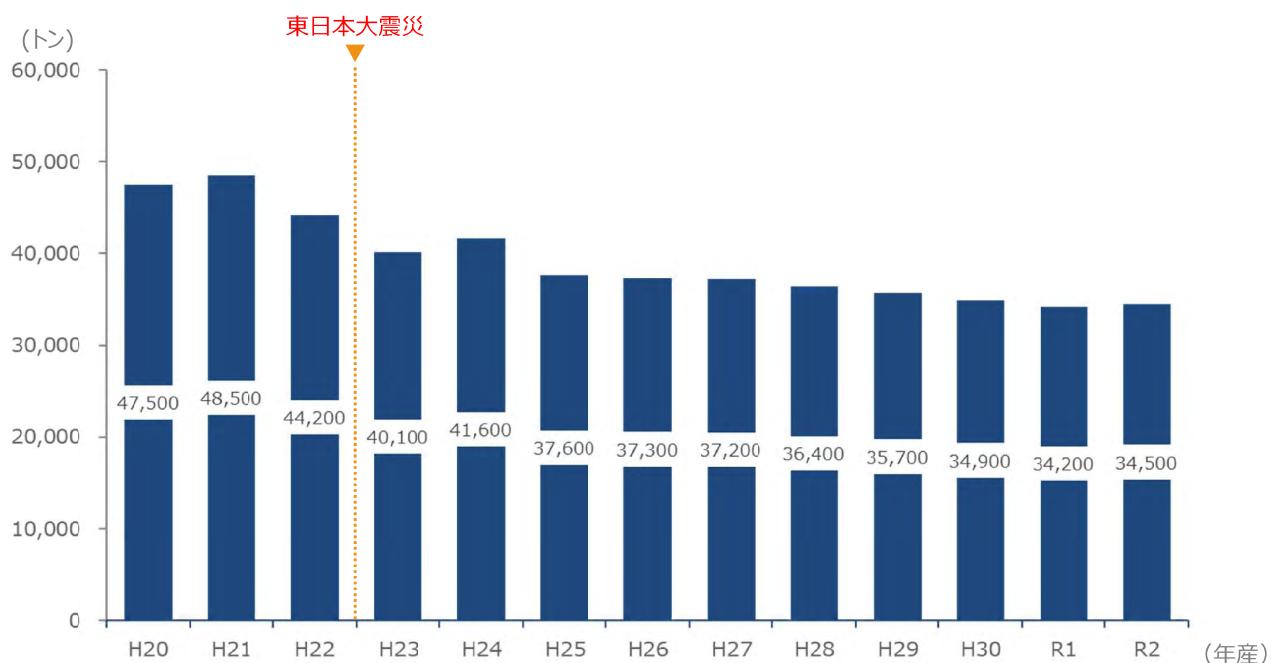
※3：系統出荷分のみ。

418

福島県産きゅうりの出荷量の推移

福島県産きゅうりの出荷量は、震災前と比較して減少した。平成24年産に前年産の出荷量を上回ったものの、その後は現在に至るまで緩やかな減少傾向が続いている。

福島県産きゅうりの出荷量の推移



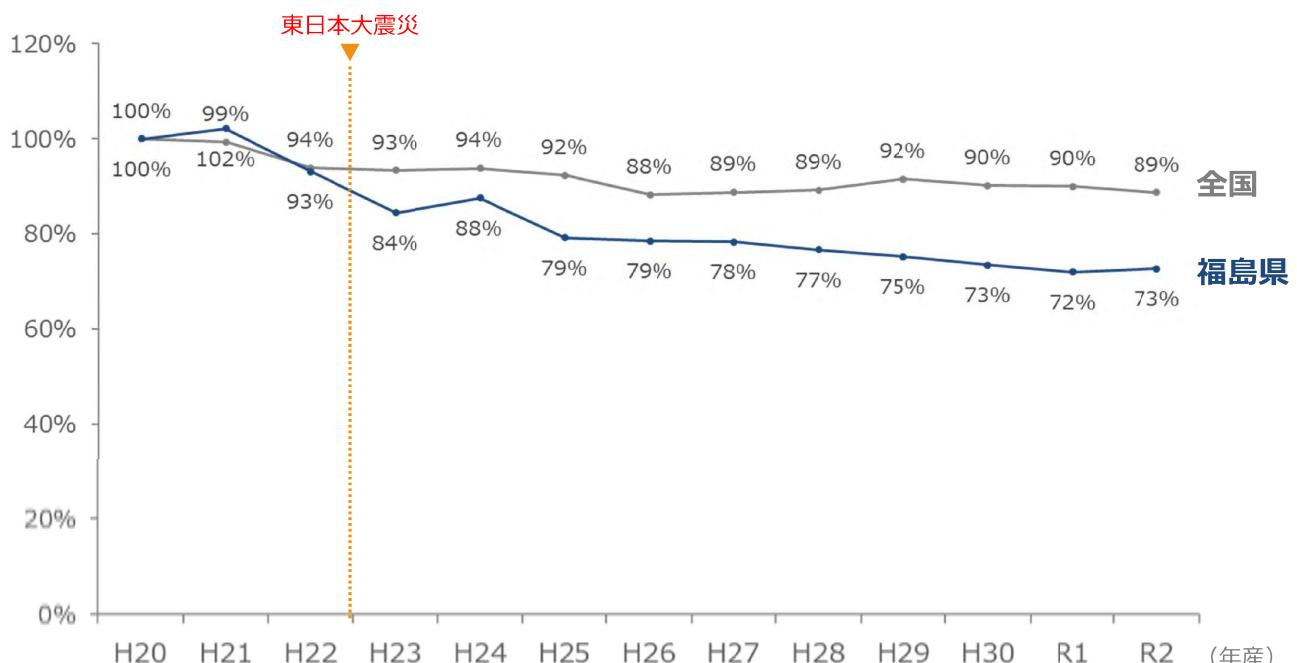
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

419

全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移

全国のきゅうりの出荷量は、近年おおむね横ばいで推移している一方で、福島県産きゅうりの出荷量は緩やかに減少している。

全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



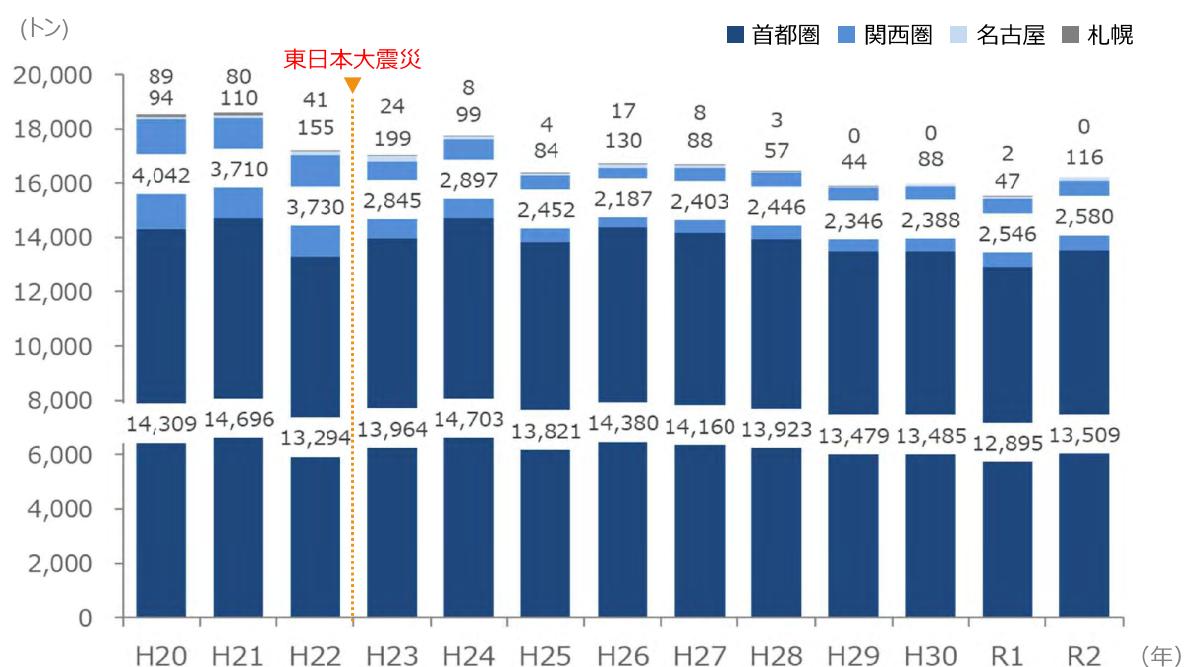
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

420

各市場における福島県産きゅうりの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産きゅうりは、主に首都圏で取り扱われており、震災後、関西圏への出荷は減少している。また、名古屋・札幌での流通は震災前から少ない。

各市場における福島県産きゅうりの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

421

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、7月～9月は福島県産きゅうりのシェアが1位であった。横浜市中央卸売市場では、6月～9月で福島県産きゅうりのシェアが1位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ 首都圏 ■ 関西圏 ■ その他

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	1%	3%	15%	40%	42%	29%	13%	4%	1%	10,817
群馬	8%	19%	26%	26%	27%	24%	7%	3%	16%	30%	22%	8%	13,725
埼玉	4%	5%	15%	23%	26%	23%	4%	1%	10%	24%	25%	13%	11,064
宮崎	41%	29%	20%	14%	11%	2%	0%	0%	0%	3%	21%	42%	9,368
千葉	19%	20%	15%	13%	10%	8%	5%	3%	2%	3%	7%	14%	6,914
総量	4,062	4,663	6,266	6,932	8,229	7,715	6,625	8,660	7,161	5,505	5,076	4,505	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	3%	9%	26%	44%	44%	37%	23%	8%	0%	2,692
高知	50%	41%	34%	29%	23%	10%	0%	0%	0%	2%	28%	49%	2,678
群馬	1%	10%	17%	19%	21%	15%	0%	2%	13%	26%	18%	2%	1,726
宮崎	27%	20%	13%	9%	7%	1%	0%	0%	0%	5%	18%	32%	1,261
千葉	16%	19%	15%	11%	8%	7%	6%	4%	2%	2%	5%	13%	1,183
総量	807	881	1,116	1,267	1,489	1,376	1,310	1,726	1,297	1,036	983	809	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

422

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、7月～9月は福島県産きゅうりのシェアが1位であった。京都市中央卸売市場では、7月～9月は福島県産きゅうりシェアが2位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	15%	41%	46%	35%	5%	8%	5%	2,195
宮崎	44%	43%	45%	47%	50%	34%	5%	2%	3%	32%	54%	41%	3,636
北海道	1%	0%	0%	0%	0%	2%	19%	21%	20%	13%	2%	0%	1,080
愛媛	8%	9%	8%	7%	6%	10%	12%	10%	5%	3%	4%	6%	970
茨城	10%	8%	5%	5%	6%	5%	5%	6%	9%	6%	10%	10%	875
総量	686	742	854	963	1,138	1,238	1,407	1,644	1,464	1,073	721	760	

京都市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

423

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場において、福島県産きゅうりは、年間を通して、取扱いがわざかであった。札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産きゅうりの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	3%	1%	1%	0%	0%	116
愛知	62%	63%	58%	49%	40%	26%	4%	1%	1%	3%	30%	49%	5,771
長野	0%	0%	1%	4%	8%	21%	52%	51%	33%	18%	5%	1%	3,051
宮崎	15%	12%	12%	18%	17%	11%	2%	0%	0%	4%	20%	23%	2,000
群馬	0%	1%	7%	10%	13%	17%	4%	0%	14%	36%	23%	1%	1,931
高知	13%	14%	14%	13%	11%	8%	1%	0%	0%	1%	11%	13%	1,493
総量	1,184	1,234	1,610	1,769	2,162	1,881	1,373	1,742	1,478	1,222	1,281	1,163	

札幌市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

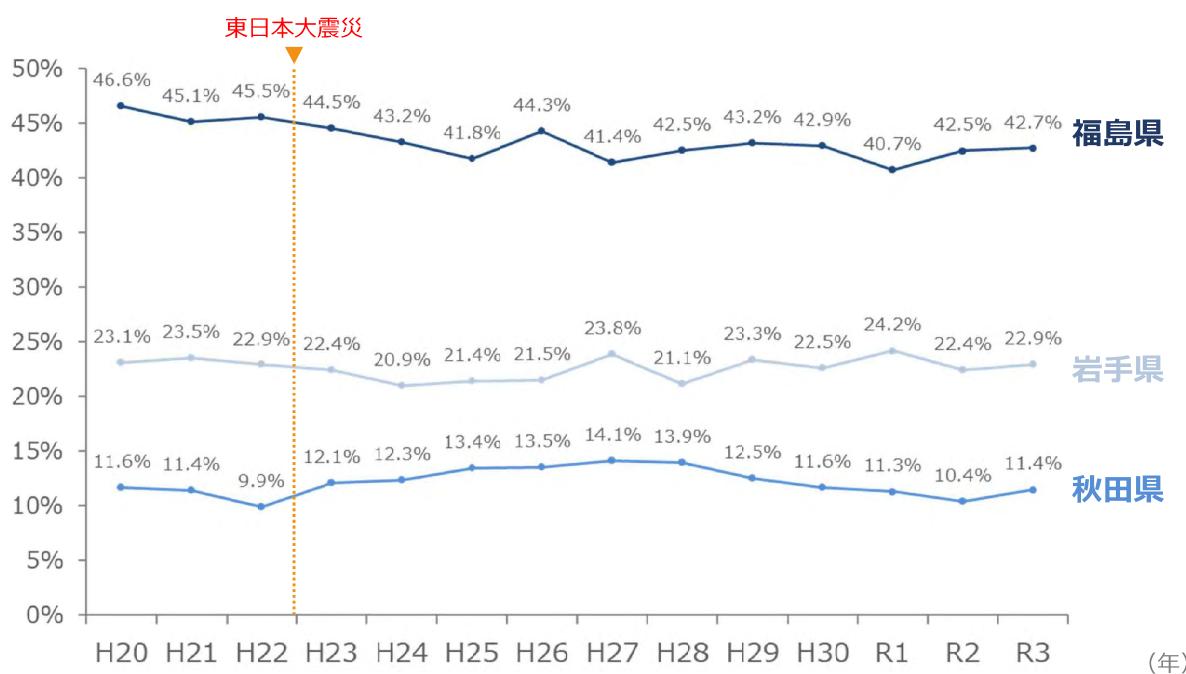
424

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

東京都中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産きゅうりは、震災後にシェアが微減したものの、40%以上のシェアを維持している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)



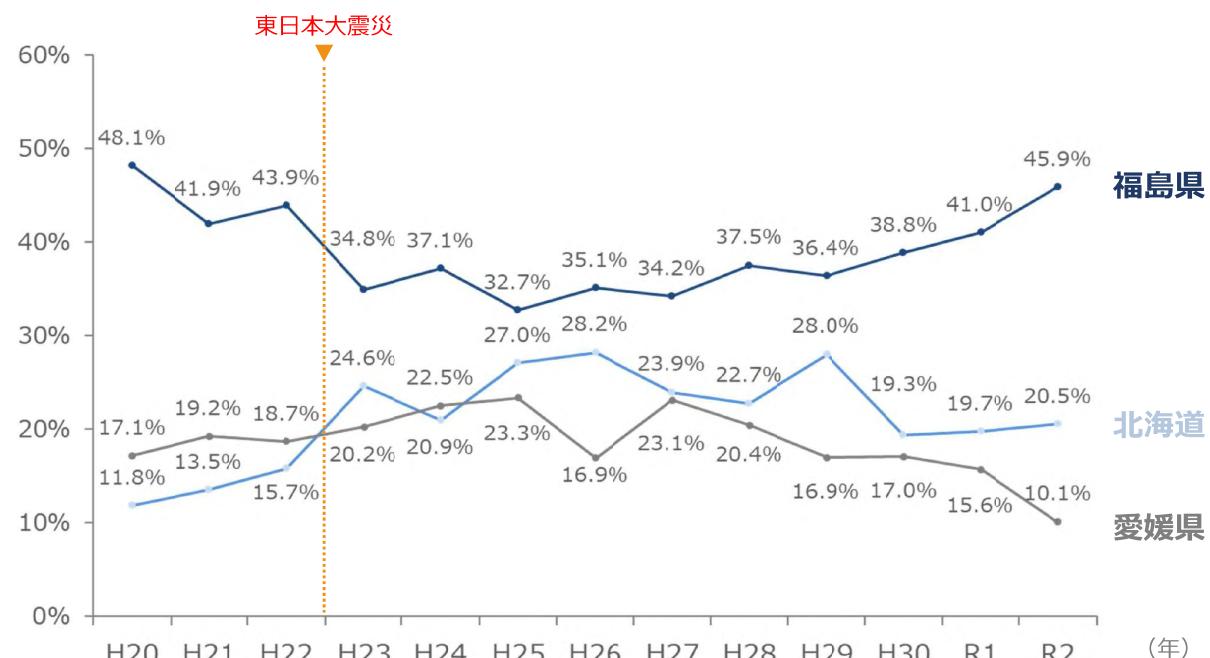
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

425

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

大阪市中央卸売市場の8月の福島県産きゅうりは、震災後にシェアが減少し、北海道産のシェアが増加する状況が続いていたが、平成25年以降は、福島県産のシェアが増加傾向にある。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)

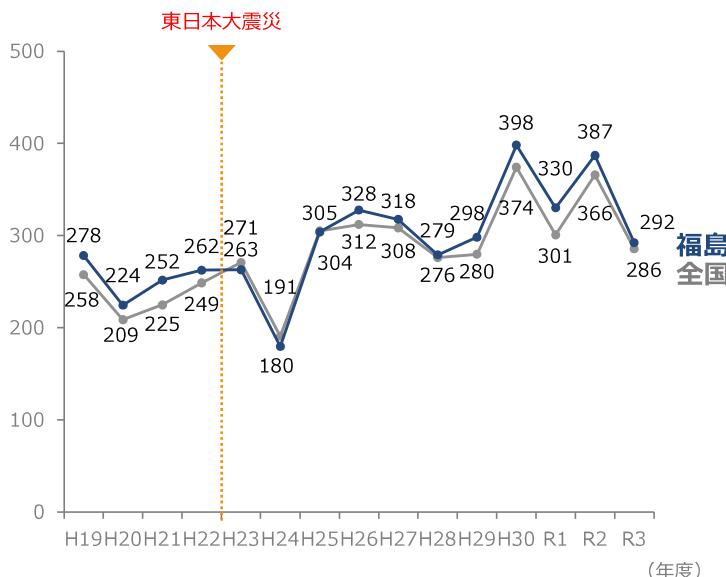


データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

426

東京都中央卸売市場における7月から9月の福島県産きゅうりの平均価格は、震災後3年間は全国平均を下回っていたが、平成26年度以降は全国平均を上回っている。

卸売市場平均価格推移（夏秋きゅうり）

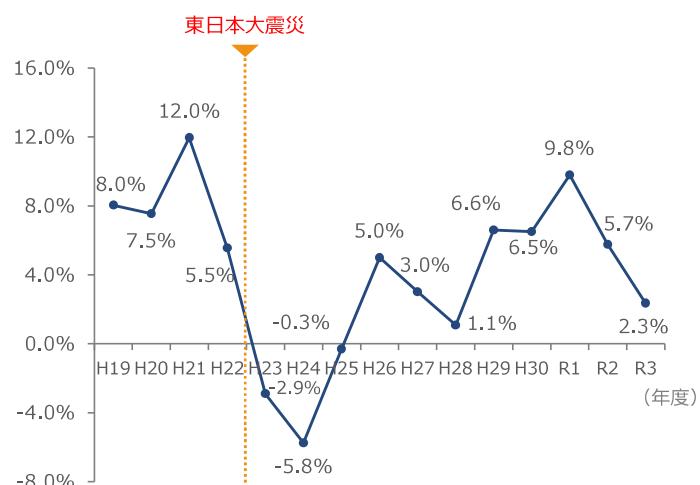


→ 震災前(平成22年度) : 262円/kg

→ 震災後(令和3年度) : 292円/kg(+30円/kg)

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

全国平均との価格差推移（夏秋きゅうり）

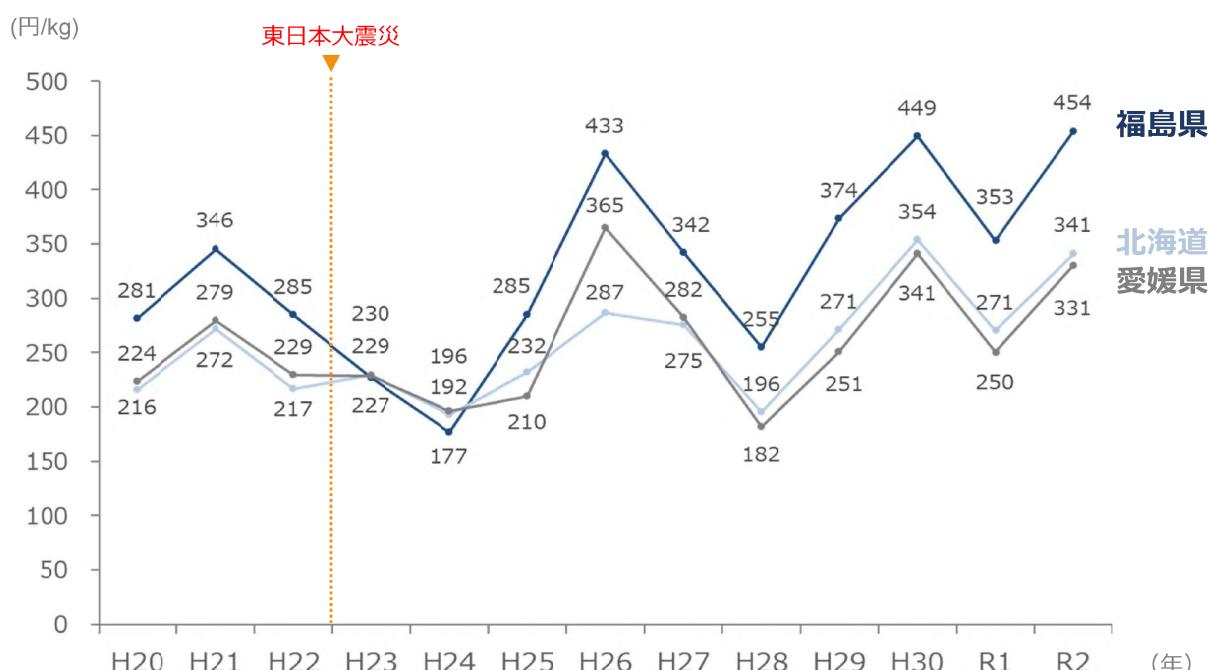


※ 7月～9月は福島県産の主な出荷時期

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりの単価の推移

大阪市中央卸売市場の8月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後2年間は他道県産を下回っていたが、平成25年以降は他道県産を上回る水準で推移している。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(8月)



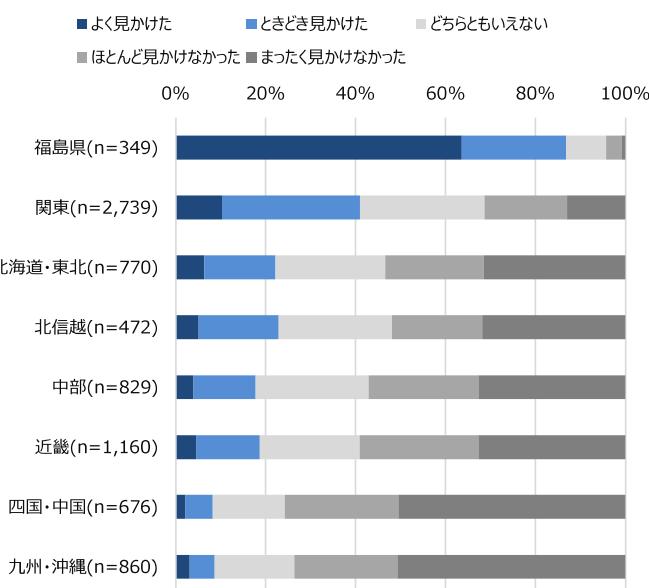
データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

428

福島県産きゅうりを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産きゅうりをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では20%に満たない。福島県産きゅうりを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では12.1%であった。

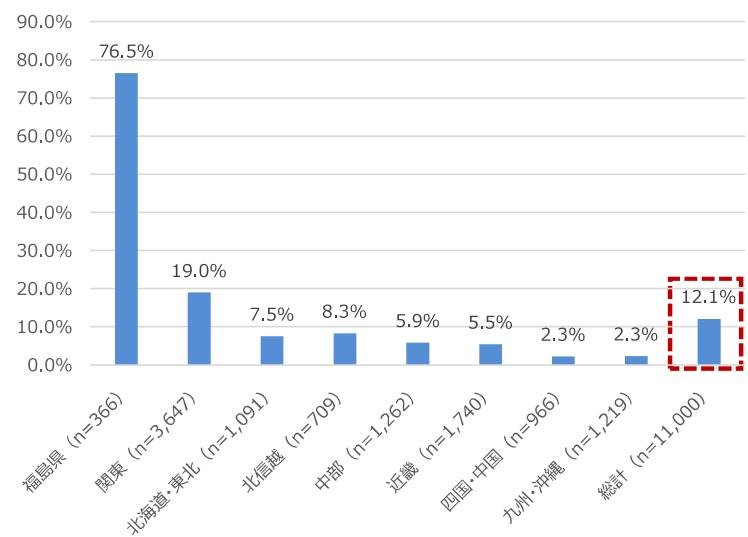
福島県産きゅうりを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産きゅうりを見た記憶を尋ねた。

※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産きゅうりの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数

※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

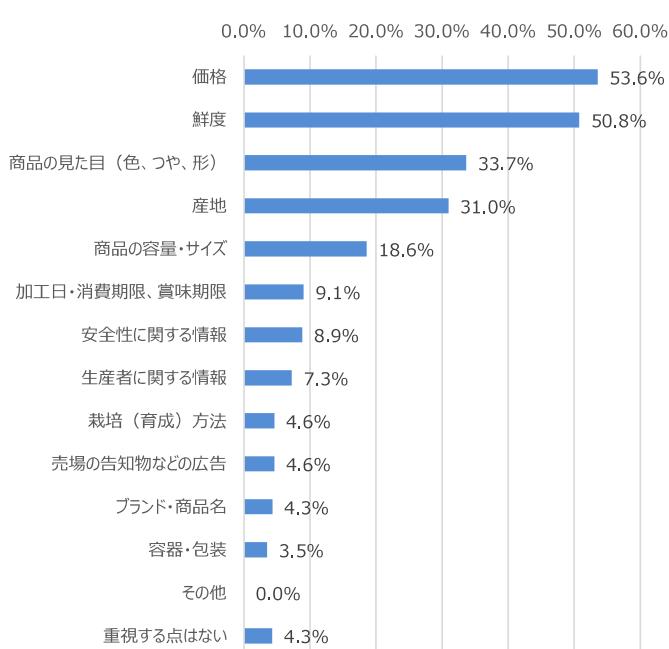
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

429

きゅうり購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らず、きゅうり購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産きゅうりの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が63.9%であった。

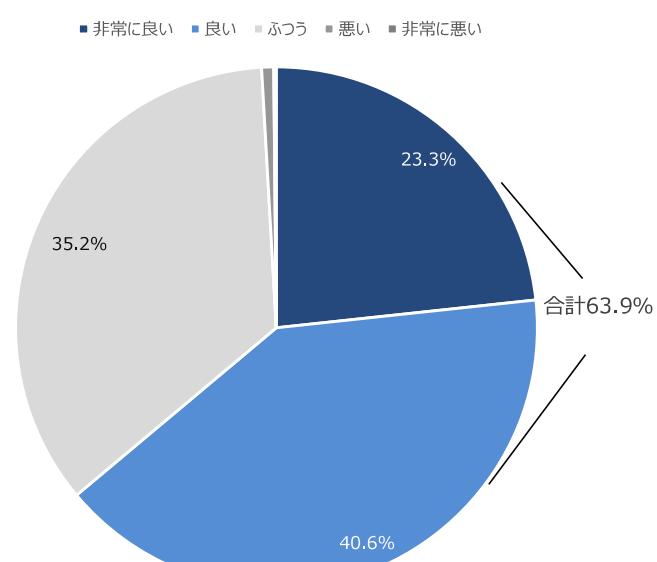
きゅうり購買時の重視点 (n=9,168、複数回答)



※きゅうり購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。

※月に1回以上きゅうりを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産きゅうり購買者の評価 (n=1,321)



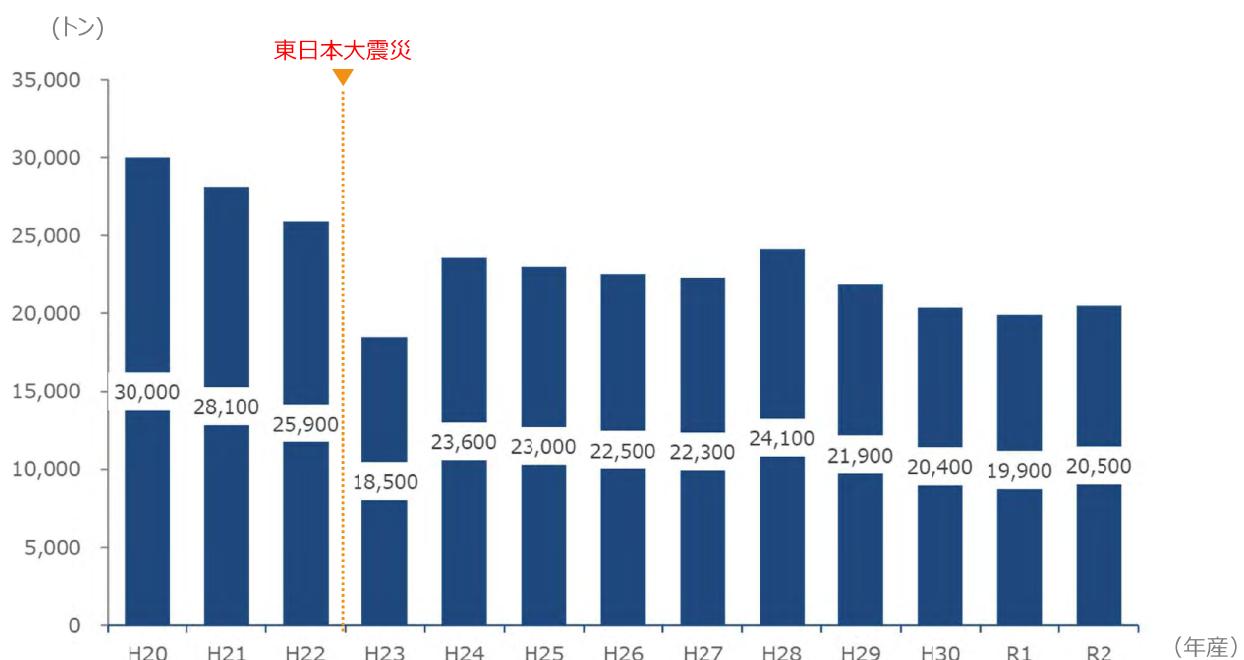
※福島県産きゅうりを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

430

福島県産トマトの出荷量の推移

福島県産トマトの出荷量は、震災直後に急落した後に回復し、その後緩やかな減少傾向にあったが、令和2年は微増した。

福島県産トマトの出荷量の推移



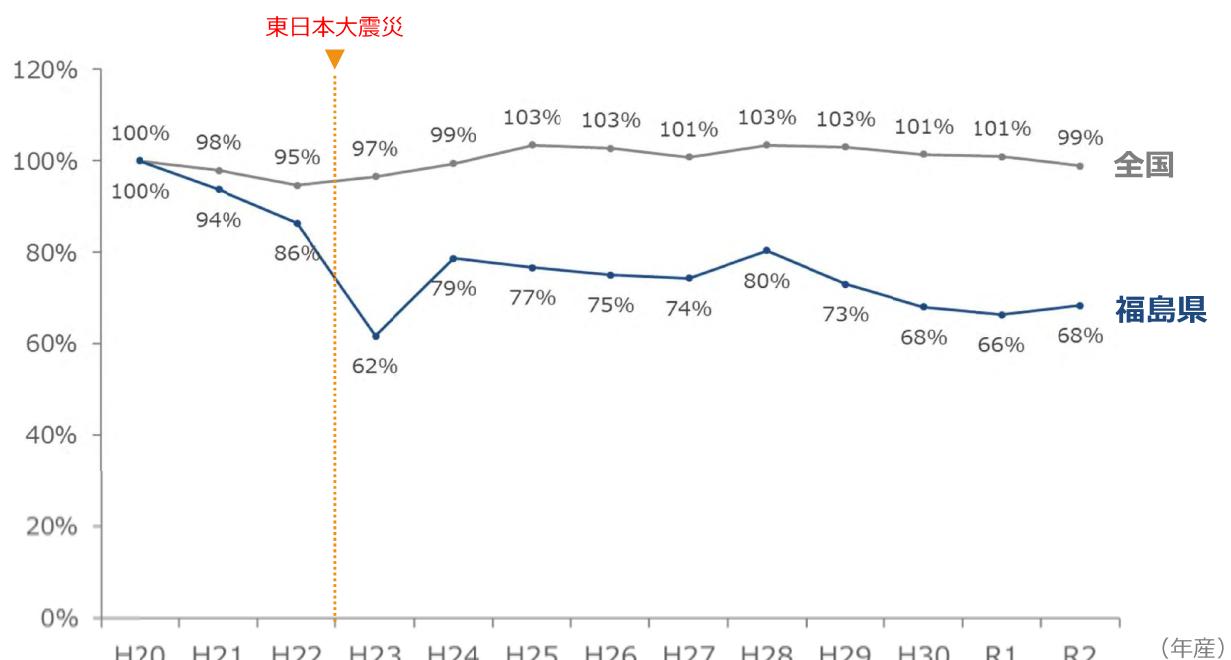
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

431

全国・福島県産トマトの出荷量の推移

全国のトマトの出荷量はおおむね横ばいで推移している一方で、福島県産トマトの出荷量は震災以前と比べ減少している。

全国・福島県産トマトの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



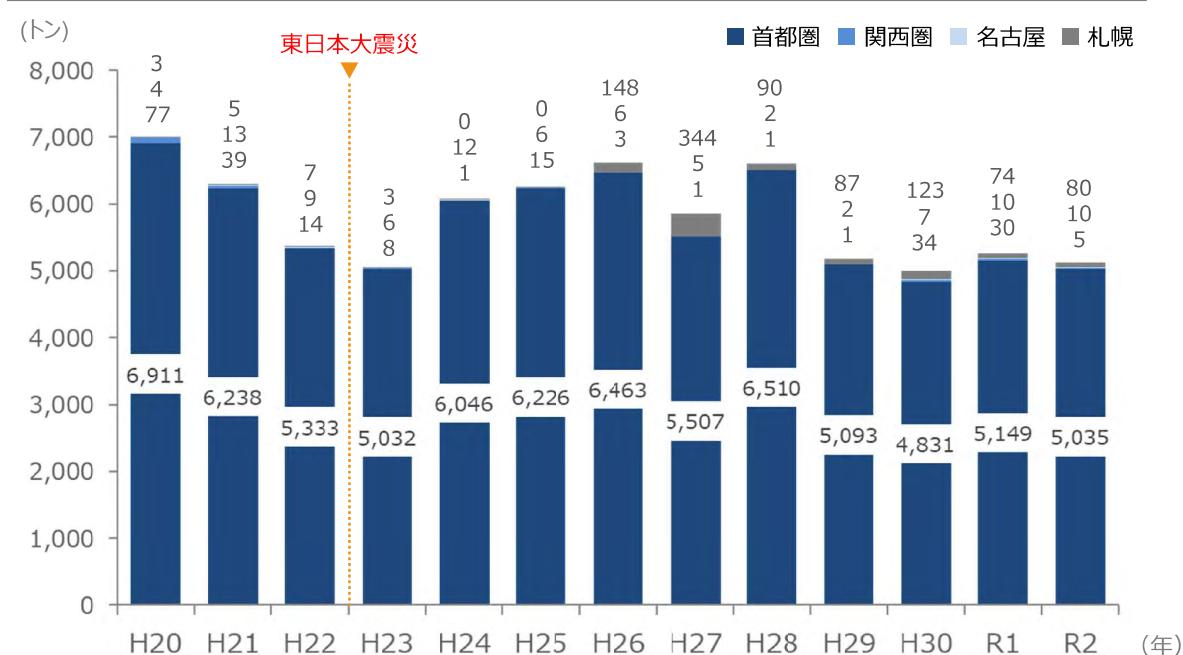
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

432

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産トマトは、震災前後を問わず、多くが首都圏で取り扱われている。札幌では、震災後に取扱量が増えている。

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

433

各市場におけるトマトの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、8月～10月は福島県産トマトのシェアが10～20%程度まで高まったが、それ以外の月ではほとんど見られなかった。横浜市中央卸売市場では、7月・8月で市場シェアで3位以内となった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	1%	1%	1%	1%	2%	7%	17%	15%	12%	2%	1%	4,161
熊本	46%	38%	31%	32%	30%	19%	4%	2%	1%	12%	45%	44%	17,674
栃木	17%	21%	26%	26%	25%	24%	9%	2%	2%	3%	8%	15%	11,404
愛知	14%	14%	12%	12%	11%	10%	4%	0%	0%	6%	13%	18%	6,765
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	5%	17%	21%	21%	16%	1%	0%	5,792
千葉	4%	4%	5%	5%	7%	9%	5%	3%	13%	13%	12%	6%	5,317
総量	5,243	4,796	5,472	6,132	9,159	8,345	6,910	8,654	7,018	4,933	4,995	4,830	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	1%	16%	20%	13%	8%	2%	0%	873
熊本	72%	68%	62%	63%	59%	39%	7%	4%	3%	25%	66%	76%	6,907
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	6%	19%	31%	28%	21%	4%	0%	1,549
千葉	6%	6%	7%	8%	8%	9%	7%	4%	18%	17%	14%	5%	1,445
栃木	12%	15%	18%	15%	13%	13%	4%	0%	0%	0%	3%	8%	1,298
青森	0%	0%	0%	0%	0%	3%	16%	18%	14%	9%	1%	0%	875
総量	1,131	1,020	1,117	1,300	1,934	1,528	1,362	1,609	1,487	1,071	1,274	1,097	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

434

各市場におけるトマトの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場では、福島県産トマトの取扱いはほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4
熊本	79%	85%	80%	76%	73%	45%	14%	6%	6%	21%	65%	88%	8,827
北海道	1%	1%	0%	0%	2%	23%	45%	42%	44%	38%	5%	0%	4,092
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	1%	11%	28%	36%	32%	21%	0%	2,540
福岡	6%	6%	5%	8%	8%	9%	3%	0%	0%	3%	5%	5%	885
愛知	9%	0%	7%	7%	5%	8%	11%	3%	0%	0%	2%	0%	836
総量	1,149	1,017	1,213	1,386	1,870	1,958	2,058	2,456	2,152	1,593	1,456	1,072	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
熊本	65%	60%	60%	60%	53%	40%	11%	5%	1%	11%	43%	60%	4,624
北海道	0%	0%	0%	0%	1%	15%	56%	56%	48%	35%	2%	0%	2,941
福岡	18%	20%	21%	21%	23%	15%	2%	0%	0%	12%	25%	21%	1,770
岐阜	1%	1%	1%	1%	1%	0%	17%	33%	32%	26%	6%	0%	1,587
京都	3%	2%	2%	2%	4%	9%	6%	1%	2%	3%	5%	3%	495
総量	805	767	879	1,065	1,341	1,288	1,356	1,702	1,352	1,016	938	803	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

435

各市場におけるトマトの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産トマトの取扱いはほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、2月、5月から7月、11月、12月にシェアが3位以内となったが、北海道産トマトや熊本県産トマトに比べ、取扱量はわずかであった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10
熊本	54%	57%	53%	54%	51%	30%	5%	1%	1%	8%	41%	49%	4,908
岐阜	11%	9%	12%	11%	10%	13%	36%	58%	58%	46%	22%	11%	3,895
愛知	20%	21%	20%	20%	23%	36%	29%	11%	10%	16%	22%	23%	3,213
三重	13%	11%	13%	14%	15%	16%	5%	0%	0%	5%	11%	15%	1,496
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	2%	19%	24%	22%	17%	0%	0%	1,129
総量	1,049	1,036	1,038	1,253	1,880	1,724	1,283	1,673	1,392	946	1,002	998	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	2%	2%	3%	3%	2%	1%	0%	0%	0%	2%	3%	80
北海道	0%	1%	3%	11%	51%	90%	99%	100%	100%	96%	60%	2%	4,110
熊本	94%	87%	78%	75%	44%	7%	0%	0%	0%	3%	38%	89%	1,543
長崎	0%	6%	11%	7%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	71
千葉	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	16
総量	266	235	260	333	499	761	895	1,026	603	428	329	261	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

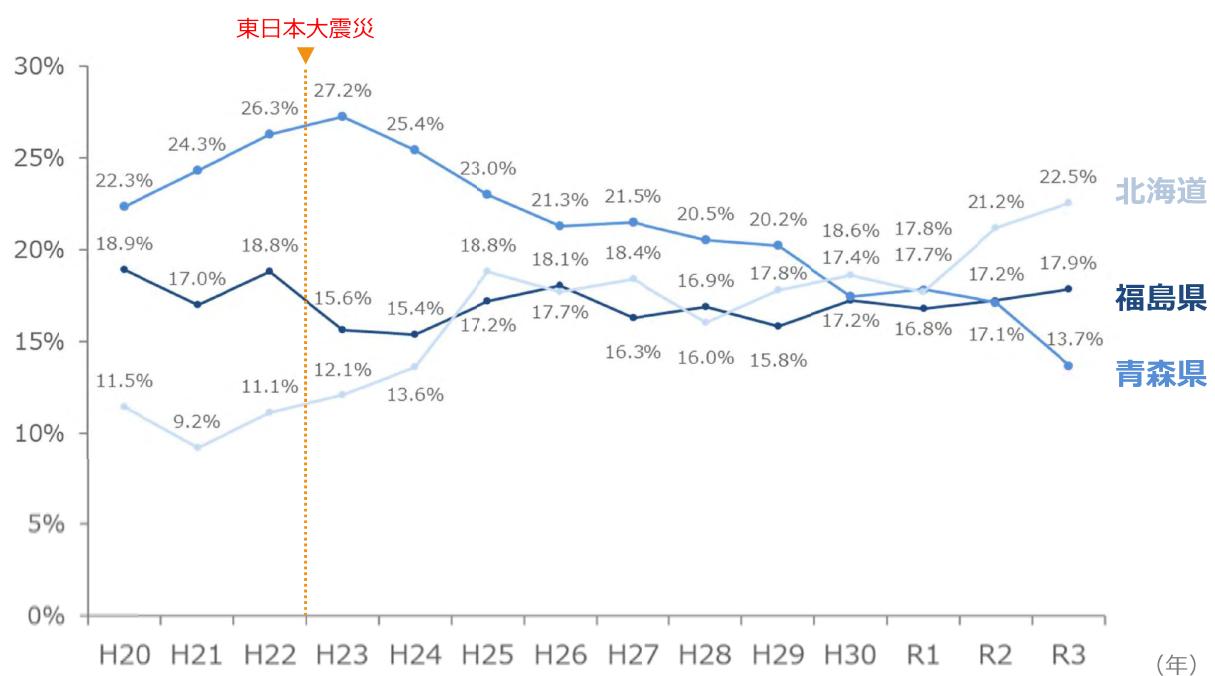
436

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

東京都中央卸売市場における福島県産トマトのシェアの推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産トマトは、震災後にシェアが微減したものの、近年では震災前の水準まで戻りつつあり、令和3年には青森県産のシェアを上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)



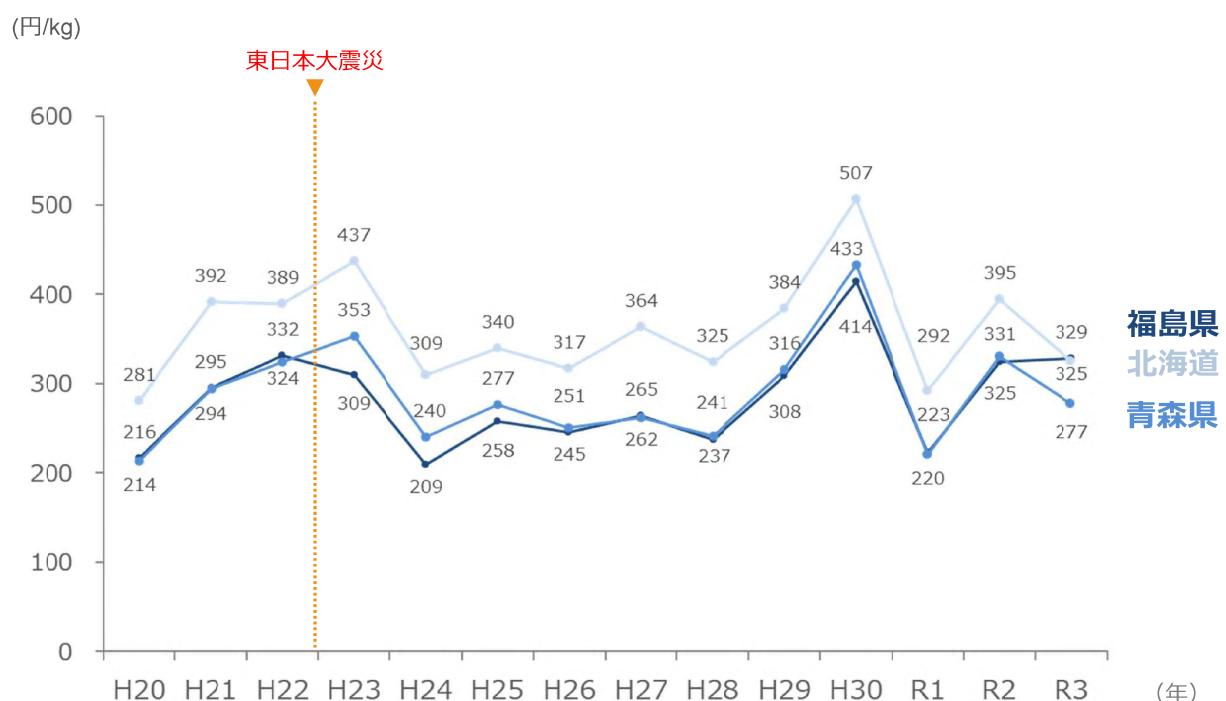
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

437

東京都中央卸売市場における福島県産トマトの単価の推移

東京都中央卸売市場の8月の福島県産トマトの平均単価は、震災後下落した後、平成28年以降は青森県産とほぼ同じ水準で推移していた。令和3年は北海道産、青森県産の価格を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(8月)



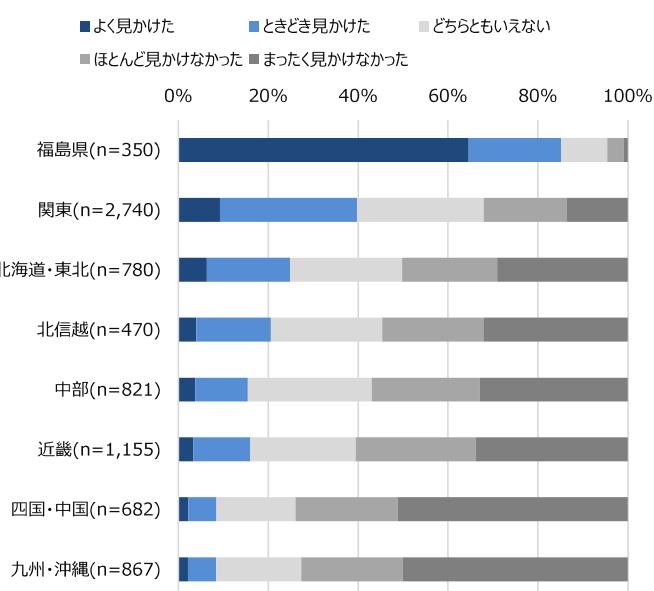
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

438

福島県産トマトを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産トマトをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産トマトを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では11.3%であった。

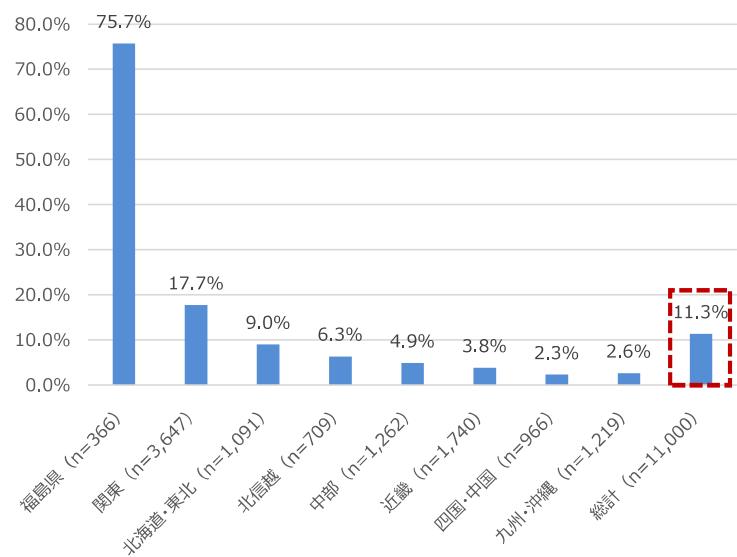
福島県産トマトを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産トマトを見た記憶を尋ねた。

※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産トマトの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数

※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

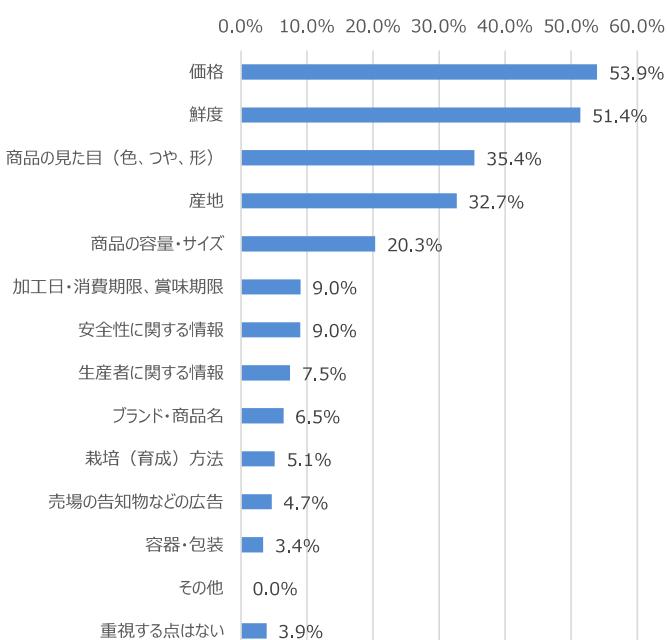
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

439

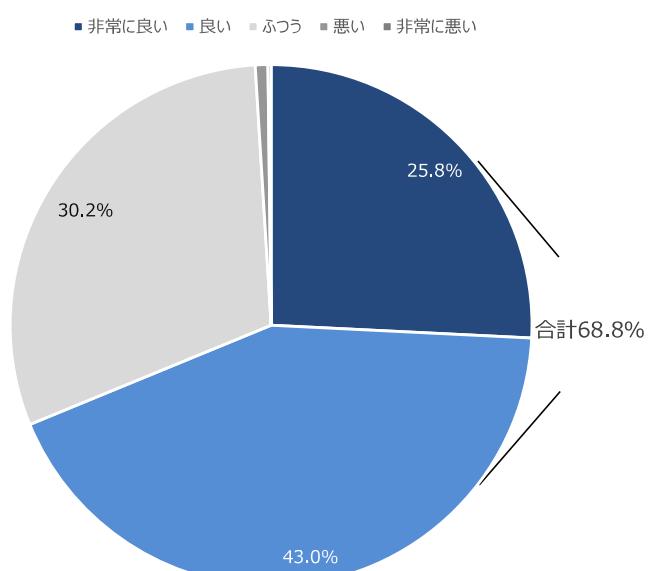
トマト購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らず、トマト購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産トマトの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が68.8%であった。

トマト購買時の重視点 (n=9,294、複数回答)



福島県産トマト購買者の評価 (n=1,250)



※トマト購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。

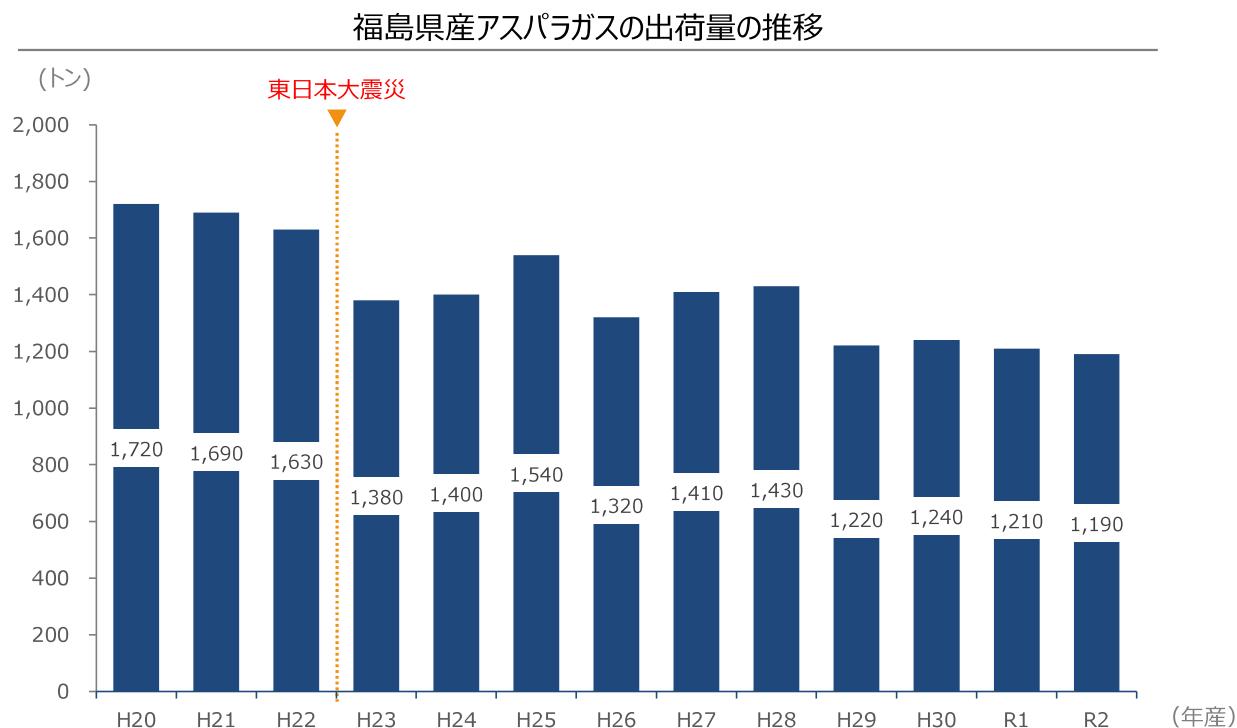
※月に1回以上トマトを購買している回答者のみに尋ねた質問。

※福島県産トマトを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

440

福島県産アスパラガスの出荷量の推移

福島県産アスパラガスの出荷量は、震災直後に下落し、平成29年以降はほぼ横ばいの傾向であり、現在も震災前の水準に回復していない。

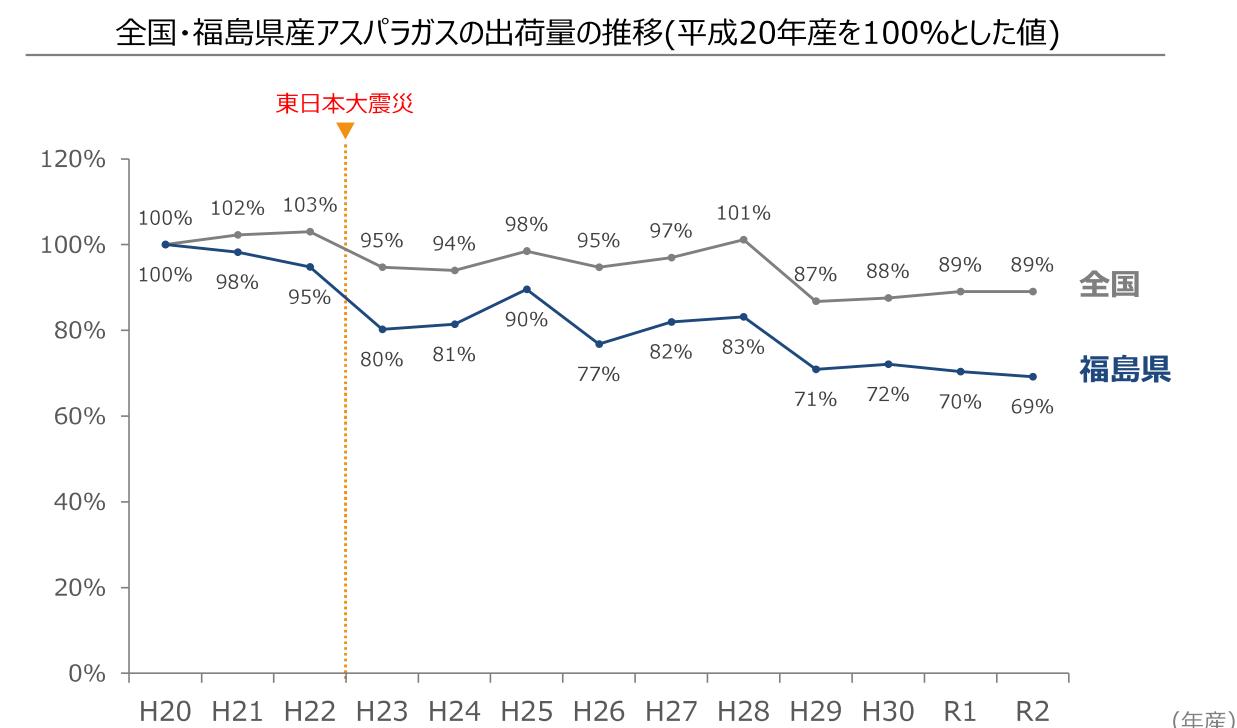


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

441

全国・福島県産アスパラガスの出荷量の推移

福島県産アスパラガスの出荷量は、震災直後に減少し、平成28年産までは平成20年産の80%前後で推移していたが、令和2年産は、平成20年産の69%の出荷量であった。



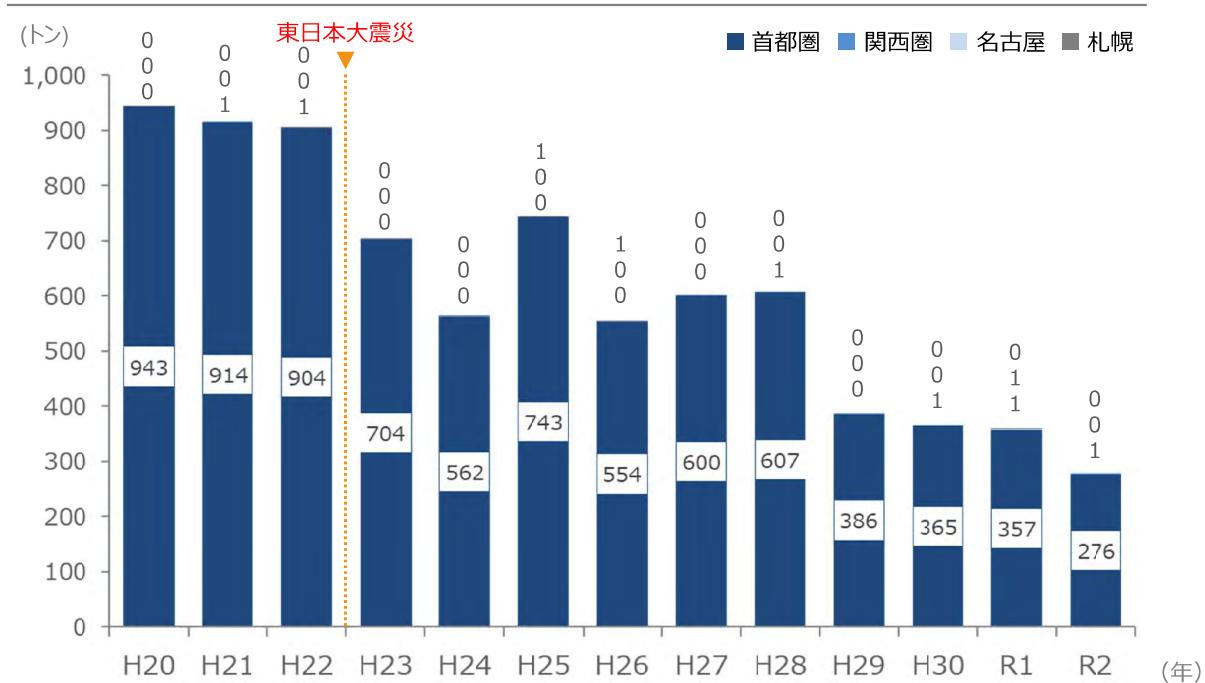
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

442

各市場における福島県産アスパラガスの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産アスパラガスは、ほとんどが首都圏で取り扱われており、関西圏や他地域での取扱いは極めて少量である。震災以降、首都圏における市場での取扱量は波があり、平成29年以降は震災前の半分以下となっている。

各市場における福島県産アスパラガスの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

443

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、4月から10月にかけて福島県産アスパラガスの取扱いがあるものの、いずれの月もシェアは3位以下であった。横浜市中央卸売市場では、5月にシェア3位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	5%	10%	3%	6%	9%	7%	1%	0%	0%	226
メキシコ	70%	59%	46%	35%	8%	1%	0%	0%	5%	23%	43%	76%	1,105
栃木	1%	5%	8%	28%	20%	11%	22%	26%	28%	4%	0%	0%	810
佐賀	3%	13%	15%	5%	6%	23%	23%	14%	9%	2%	0%	0%	624
長崎	0%	7%	18%	10%	3%	13%	19%	16%	12%	4%	0%	0%	564
オーストラリア	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	12%	61%	56%	14%	319
総量	127	370	662	560	612	641	618	561	367	247	187	112	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	4%	12%	6%	7%	9%	9%	1%	0%	0%	50
メキシコ	79%	73%	54%	41%	7%	0%	0%	0%	7%	40%	59%	86%	227
佐賀	4%	20%	21%	6%	7%	32%	34%	22%	14%	5%	0%	0%	153
熊本	0%	2%	14%	27%	9%	12%	15%	14%	13%	3%	0%	0%	112
秋田	13%	2%	0%	0%	26%	14%	13%	20%	14%	1%	0%	1%	94
栃木	0%	0%	1%	15%	14%	10%	14%	16%	19%	4%	0%	0%	93
総量	14	46	106	113	117	102	111	105	73	45	43	26	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

444

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では年間を通して、福島県産アスパラガスの取扱いはほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産アスパラガスの取扱いは見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
長崎	0%	16%	26%	14%	8%	40%	44%	45%	33%	9%	0%	0%	142
メキシコ	55%	47%	27%	38%	11%	0%	0%	0%	16%	44%	84%	99%	124
福岡	5%	28%	20%	9%	13%	33%	28%	21%	20%	9%	0%	0%	107
広島	0%	0%	0%	6%	14%	2%	11%	18%	16%	2%	0%	0%	38
長野	0%	0%	1%	7%	33%	6%	3%	3%	4%	0%	0%	1%	33
総量	19	36	78	66	53	72	77	54	37	26	16	14	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
福岡	19%	26%	30%	25%	15%	34%	38%	33%	33%	21%	0%	0%	99
佐賀	10%	26%	13%	9%	12%	31%	23%	23%	22%	18%	0%	0%	67
長崎	0%	6%	26%	11%	2%	8%	14%	12%	12%	5%	0%	0%	38
長野	0%	0%	0%	14%	41%	10%	7%	9%	7%	0%	0%	0%	34
愛媛	1%	16%	12%	9%	5%	8%	9%	8%	7%	4%	0%	0%	29
総量	4	16	43	30	35	55	59	50	28	11	7	4	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

445

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場及び札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産アスパラガスの取扱いはほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産アスパラガスの取扱いは見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	4%	2%	11%	46%	75%	30%	34%	50%	61%	12%	0%	0%	289
熊本	0%	7%	29%	19%	11%	40%	39%	32%	18%	5%	0%	0%	192
メキシコ	86%	73%	36%	18%	2%	0%	0%	0%	3%	41%	63%	87%	150
佐賀	0%	7%	9%	6%	3%	13%	11%	6%	4%	2%	0%	0%	56
愛知	0%	2%	6%	4%	3%	5%	6%	4%	5%	4%	0%	0%	36
総量	15	49	103	87	100	108	109	97	63	35	25	18	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	45%	11%	33%	82%	98%	99%	84%	97%	74%	0%	0%	9%	570
メキシコ	43%	81%	58%	16%	2%	0%	0%	0%	18%	71%	64%	79%	108
オーストラリア	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	22%	35%	4%	6
熊本	0%	2%	2%	0%	0%	0%	6%	1%	1%	1%	0%	0%	6
福岡	0%	2%	2%	1%	0%	0%	5%	0%	1%	3%	0%	0%	6
総量	8	21	65	135	175	151	41	59	25	11	8	8	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

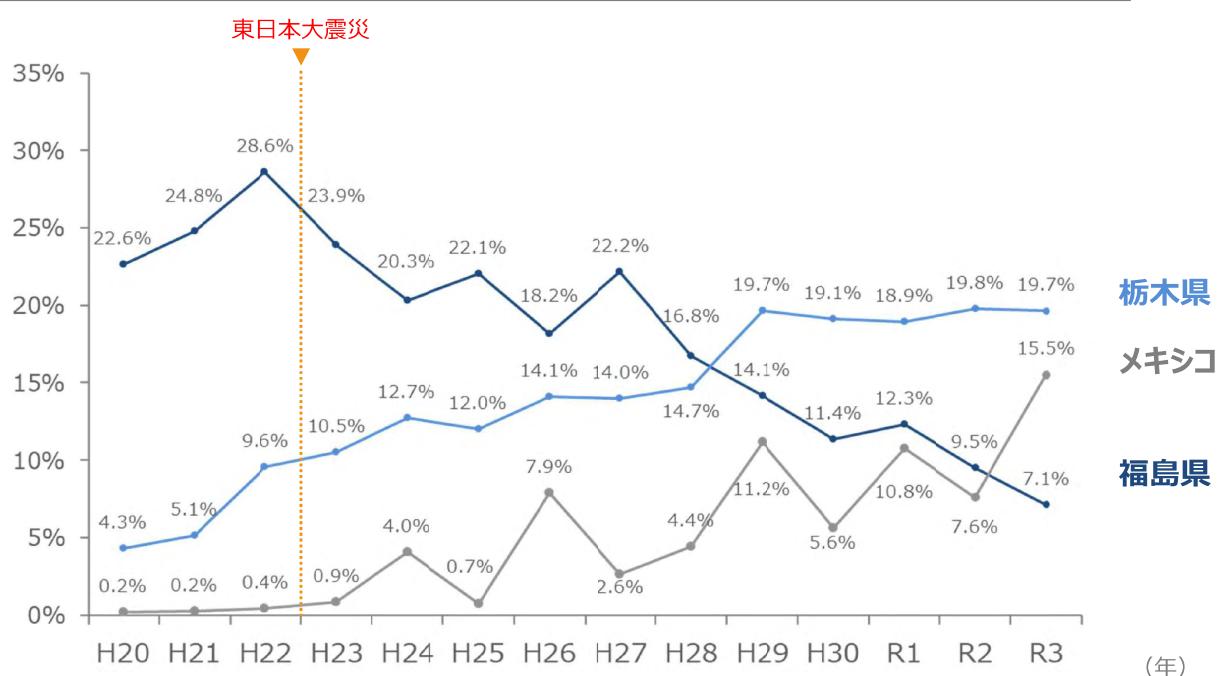
※総量・合計の単位はトン。

446

東京都中央卸売市場における福島県産アスパラガスのシェアの推移

東京都中央卸売市場の5月の福島県産アスパラガスは、震災以降、徐々にシェアが減少しており、平成29年以降は栃木県産を下回るようになった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(5月)



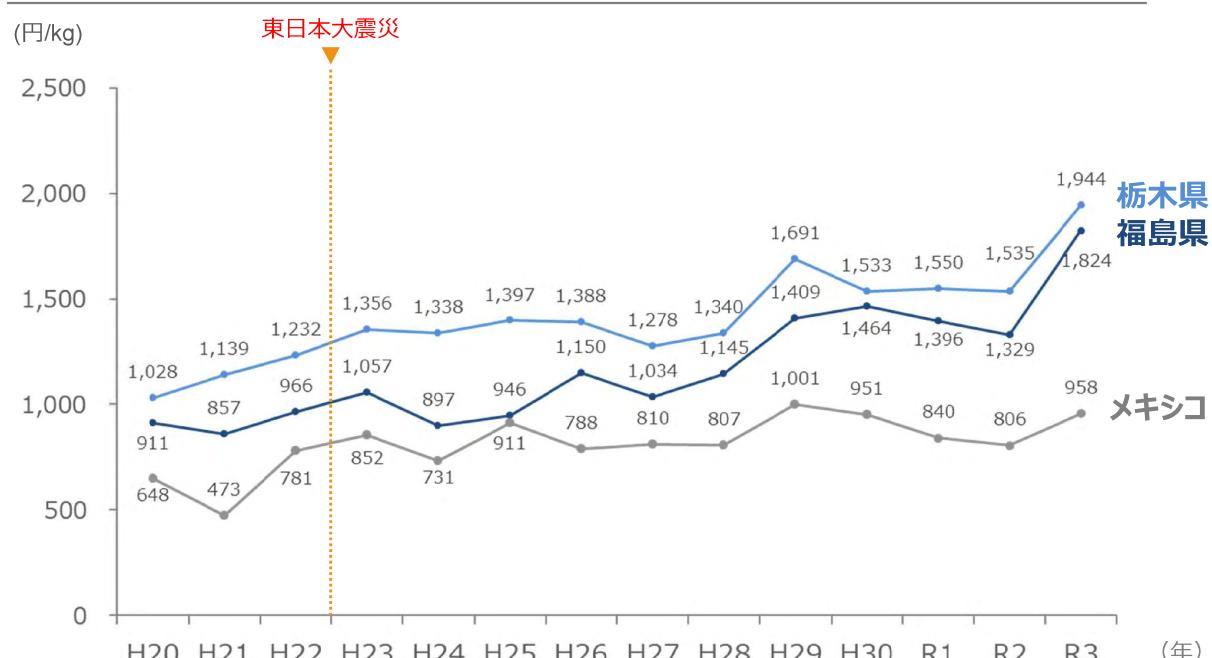
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

447

東京都中央卸売市場における福島県産アスパラガスの単価の推移

東京都中央卸売市場の5月の福島県産アスパラガスの平均単価は、震災前から継続して上昇しており、令和3年における栃木県産との価格差は縮小している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(5月)



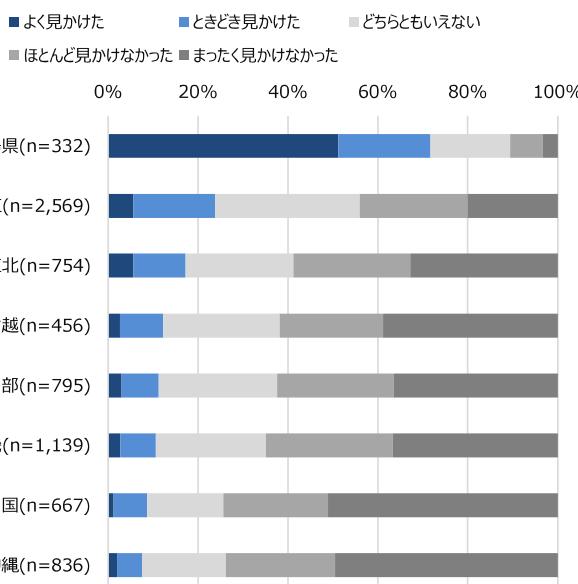
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

448

福島県産アスパラガスを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産アスパラガスをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産アスパラガスを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では4.6%であった。

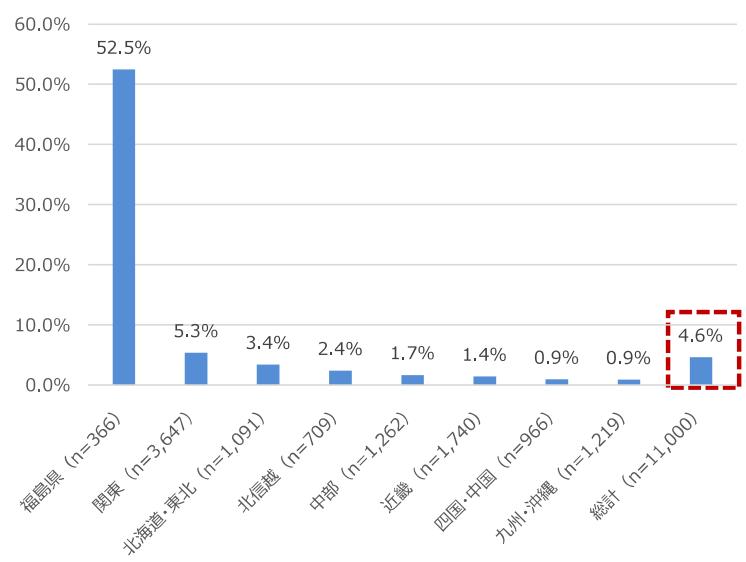
福島県産アスパラガスを店頭で見たか



※過去1~2年に、店頭で福島県産アスパラガスを見た記憶を尋ねた。

※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産アスパラガスの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数

※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

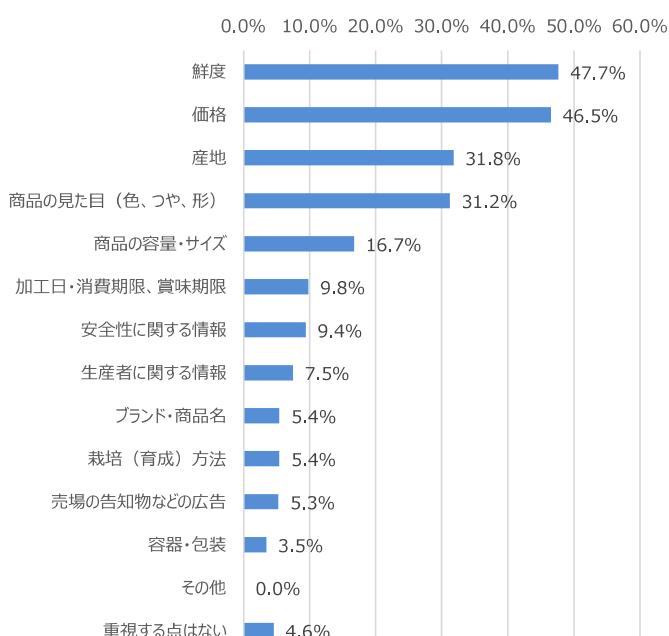
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

449

アスパラガス購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らず、アスパラガス購買時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産アスパラガスの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が75.1%であった。

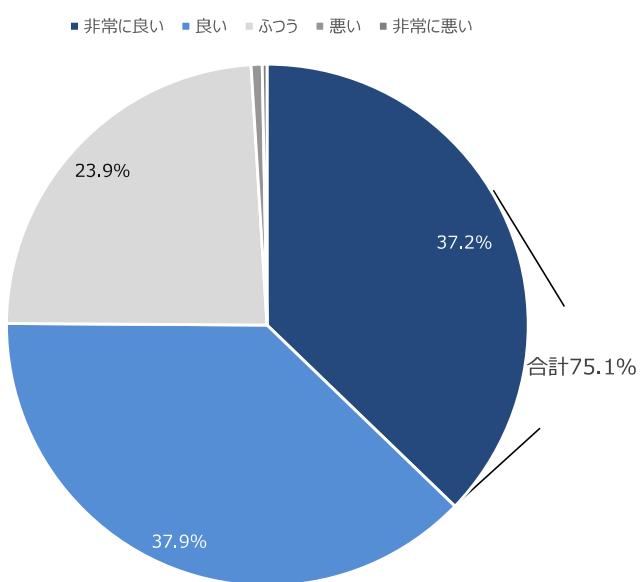
アスパラガス購買時の重視点 (n=5,743、複数回答)



※アスパラガス購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。

※月に1回以上アスパラガスを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産アスパラガス購買者の評価 (n=500)



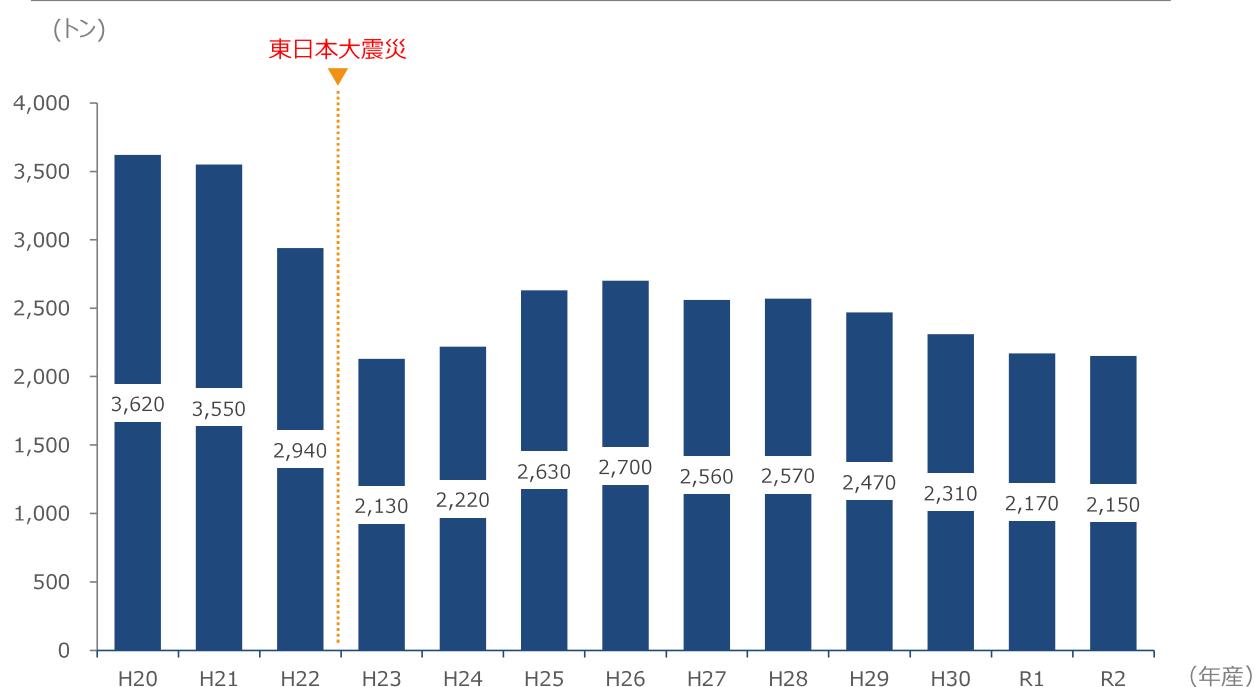
※福島県産アスパラガスを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

450

福島県産さやいんげんの出荷量の推移

福島県産さやいんげんは、震災後出荷量が下落した後に回復したが、平成27年産以降は減少傾向にある。

福島県産さやいんげんの出荷量の推移



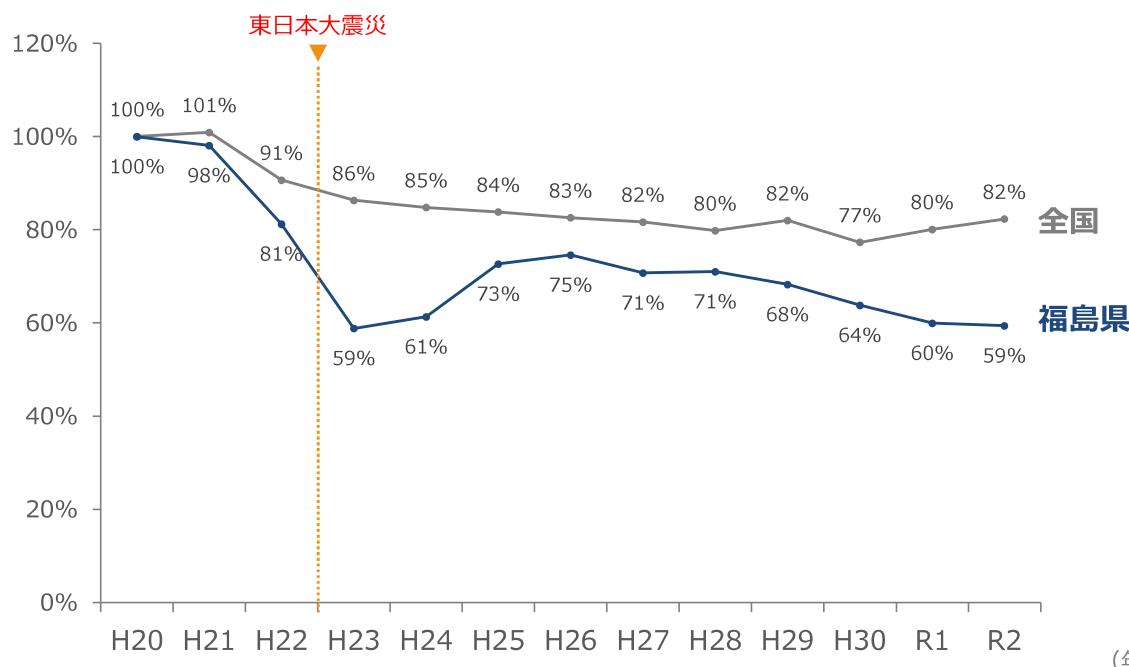
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

451

全国・福島県産さやいんげんの出荷量の推移

全国のさやいんげんの出荷量は緩やかに減少し、近年は平成20年産の80%程度で推移している。一方、福島県産さやいんげんは震災直後に出荷量が急落した後に回復したが、近年は減少傾向で推移している。

全国・福島県産さやいんげんの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



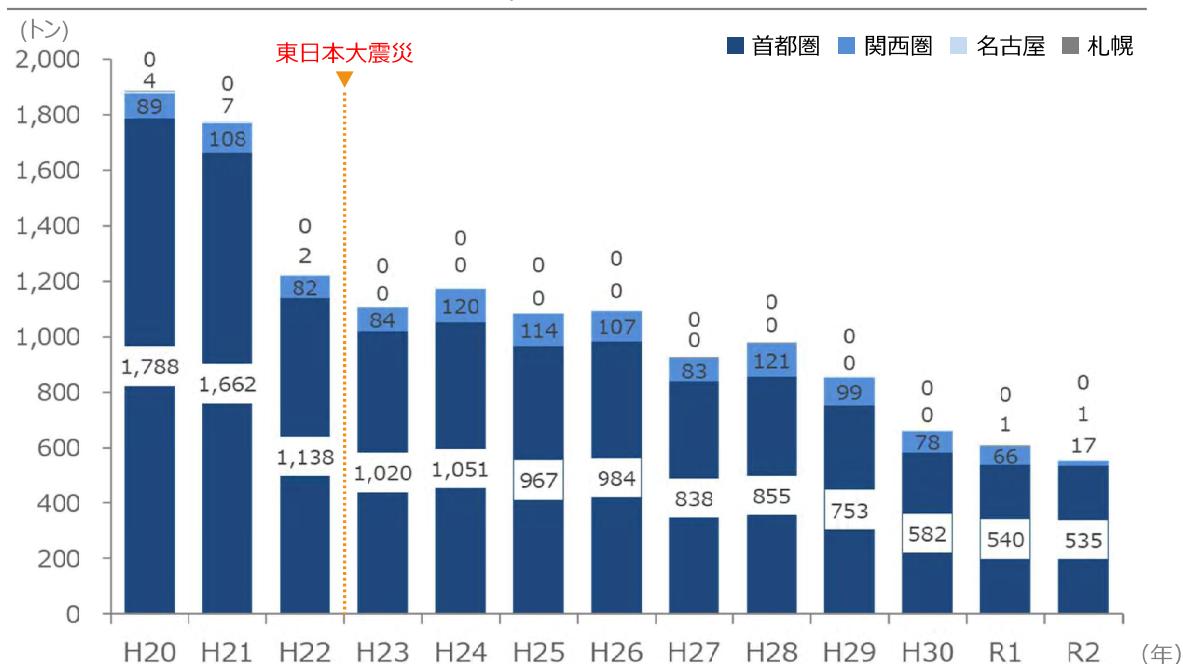
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

452

各市場における福島県産さやいんげんの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産さやいんげんは、主に首都圏で取り扱われているが、その取扱量は震災前から徐々に減少している。

各市場における福島県産さやいんげんの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

453

各市場におけるさやいんげんの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても、7月～10月に福島県産さやいんげんのシェアが1位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	1%	0%	0%	0%	5%	50%	44%	43%	34%	5%	5%	425
沖縄	75%	69%	70%	69%	14%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	41%	750
長崎	1%	0%	0%	3%	15%	20%	1%	0%	0%	19%	45%	15%	281
千葉	2%	2%	3%	12%	38%	34%	7%	1%	0%	6%	8%	1%	275
鹿児島	4%	3%	4%	13%	26%	12%	0%	0%	2%	6%	28%	28%	275
総量	238	226	249	172	224	274	314	239	124	216	237	188	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	8%	55%	55%	74%	51%	2%	0%	110
沖縄	85%	81%	77%	77%	16%	2%	2%	1%	0%	0%	5%	53%	220
鹿児島	2%	1%	7%	17%	47%	24%	0%	0%	0%	6%	46%	31%	94
茨城	0%	0%	0%	1%	6%	36%	23%	9%	2%	9%	8%	1%	55
他外国	12%	18%	16%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	31
総量	67	59	61	43	54	63	66	45	23	51	52	39	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

454

各市場におけるさやいんげんの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、7月～9月に福島県産さやいんげんの市場シェアが2位であった。京都市中央卸売市場では、年間を通して、取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	24%	21%	27%	11%	0%	0%	17
オマーン	76%	88%	87%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	58%	118
鹿児島	14%	5%	8%	46%	82%	39%	0%	0%	8%	36%	77%	32%	63
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	4%	35%	43%	43%	23%	0%	0%	30
熊本	0%	0%	1%	10%	9%	4%	0%	0%	0%	23%	11%	2%	10
総量	32	42	44	15	14	16	17	32	15	15	19	23	

京都市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

455

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	13%	8%	10%	30%	48%	31%	0%	0%	0%	41%	63%	54%	84
沖縄	35%	53%	54%	54%	15%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	10%	71
その他	41%	32%	25%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	9%	35
高知	9%	6%	9%	10%	16%	12%	2%	0%	0%	0%	4%	11%	23
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	2%	32%	65%	68%	19%	0%	0%	22
総量	27	36	39	25	28	27	14	12	8	19	36	27	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるさやいんげんの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産さやいんげんの取扱いがほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産さやいんげんの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	39%	29%	45%	64%	75%	52%	0%	0%	1%	50%	69%	52%	174
沖縄	41%	43%	35%	24%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	26%	55
徳島	0%	0%	0%	0%	1%	20%	36%	8%	11%	19%	7%	1%	28
高知	9%	8%	9%	9%	5%	6%	0%	0%	0%	1%	6%	11%	22
長野	0%	0%	0%	0%	0%	1%	41%	34%	33%	8%	0%	0%	21
総量	28	27	34	33	47	42	21	16	12	32	47	27	

札幌市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

456

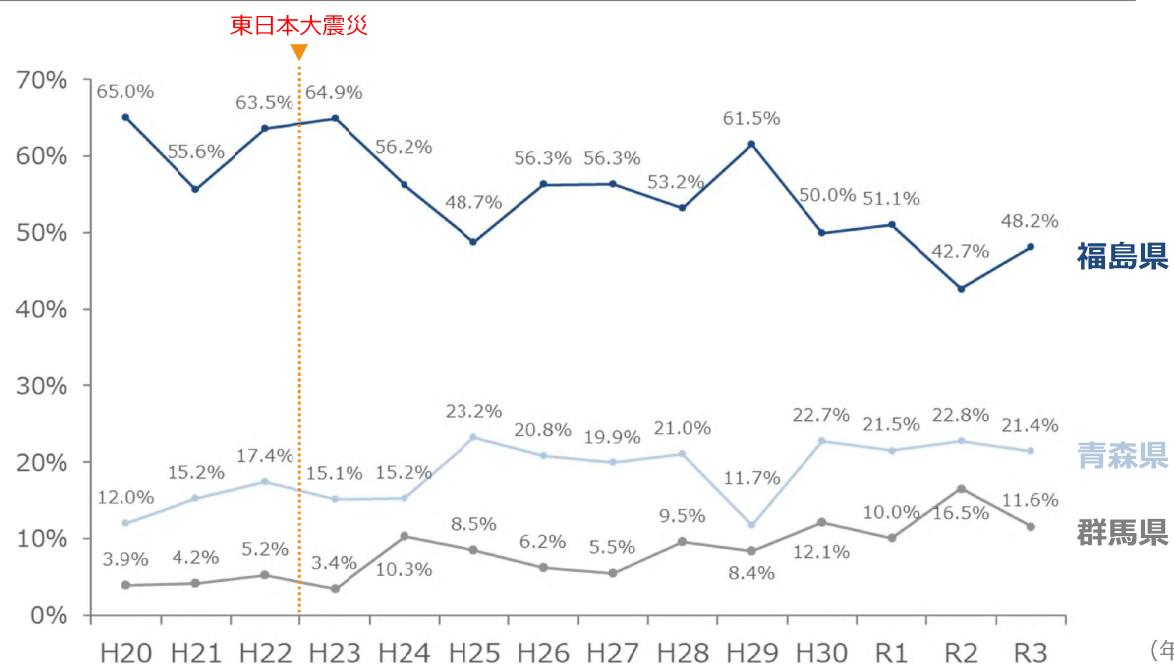
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	10%	81%	100%	100%	100%	98%	22%	0%	46
高知	56%	54%	78%	76%	82%	17%	0%	0%	0%	0%	24%	66%	20
鹿児島	37%	39%	14%	23%	6%	2%	0%	0%	0%	0%	31%	26%	8
オマーン	6%	6%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	1
熊本	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	16%	1%	1
総量	5	4	3	4	6	9	9	10	7	12	4	4	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

東京都中央卸売市場における福島県産さやいんげんのシェアの推移

東京都中央卸売市場の9月の福島県産さやいんげんは、震災前からシェアが圧倒的に高く、震災後に低下したものの、高いシェアを維持している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)



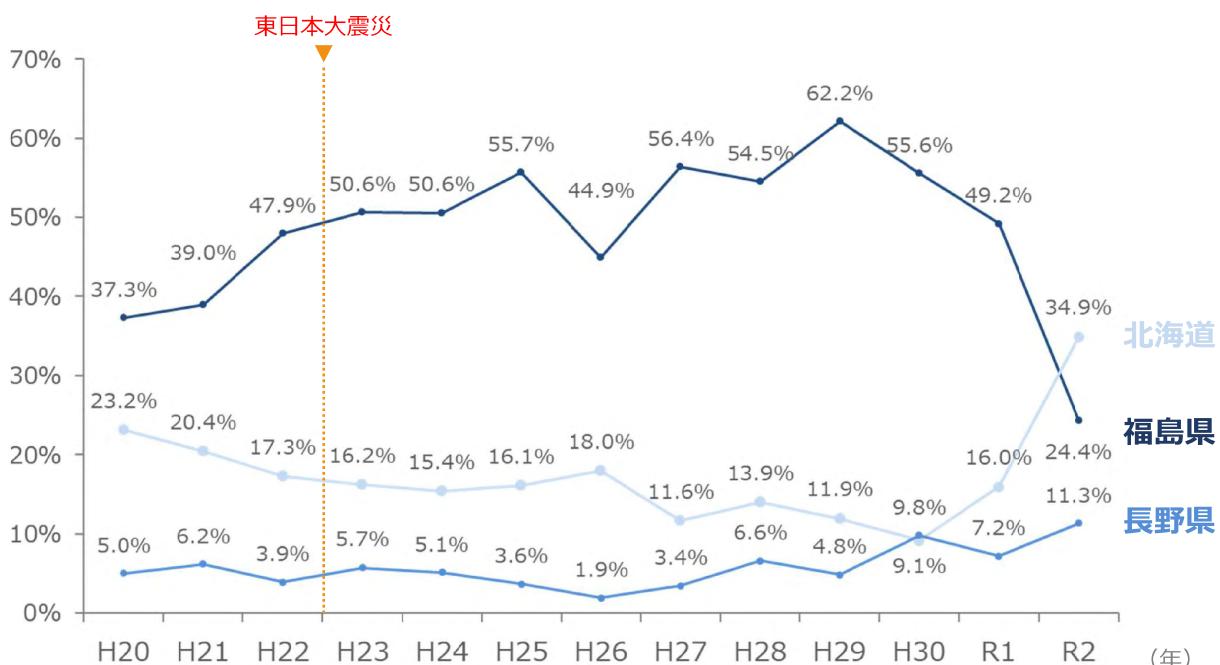
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

457

大阪市中央卸売市場における福島県産さやいんげんのシェアの推移

大阪市中央卸売市場の7月の福島県産さやいんげんは、平成24年から令和元年にかけて50%前後の高いシェアを有していたが、令和2年は大幅に減少し、北海道産を下回った。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(7月)



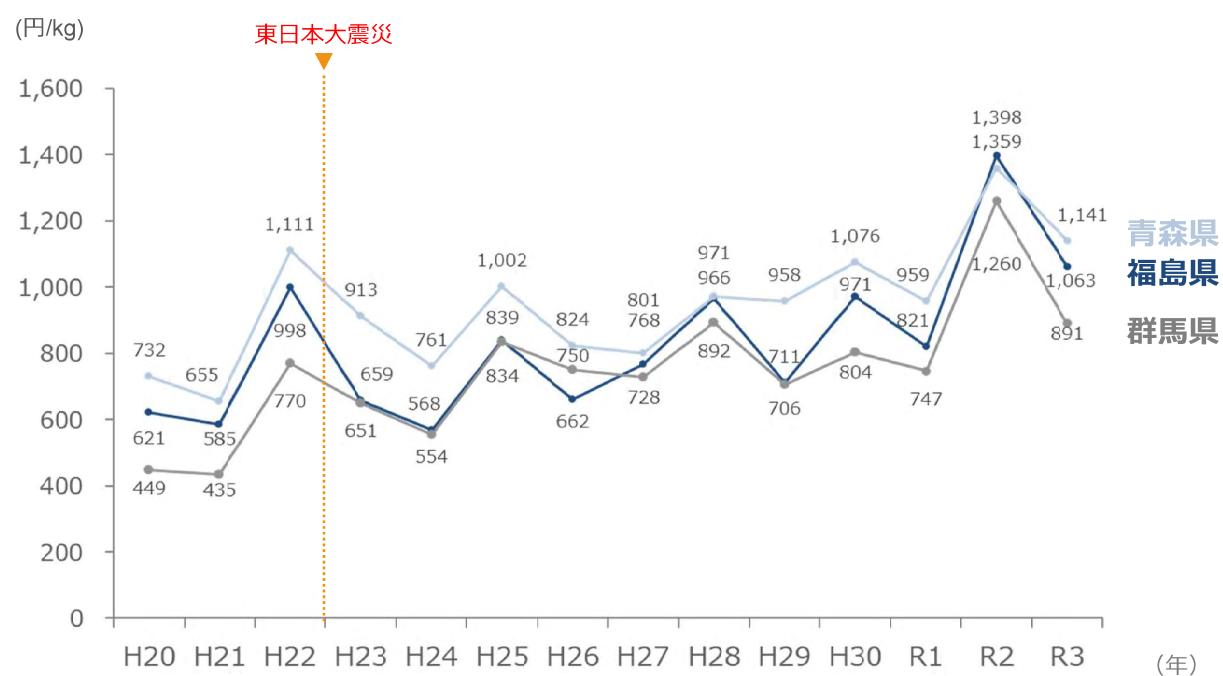
データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

458

東京都中央卸売市場における福島県産さやいんげんの単価の推移

東京都中央卸売市場の9月の福島県産さやいんげんの平均単価は、平成23年に他県産品と比較して大きく下落して以降は、変動しつつも令和2年は震災以降で最も高い水準となった。令和3年は各県とも前年より下落している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

459

大阪市中央卸売市場における福島県産さやいんげんの単価の推移

大阪市中央卸売市場の7月の福島県産さやいんげんの平均単価は、震災前の平成21年から北海道産・長野県産よりも安価な状態が続いている。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(7月)



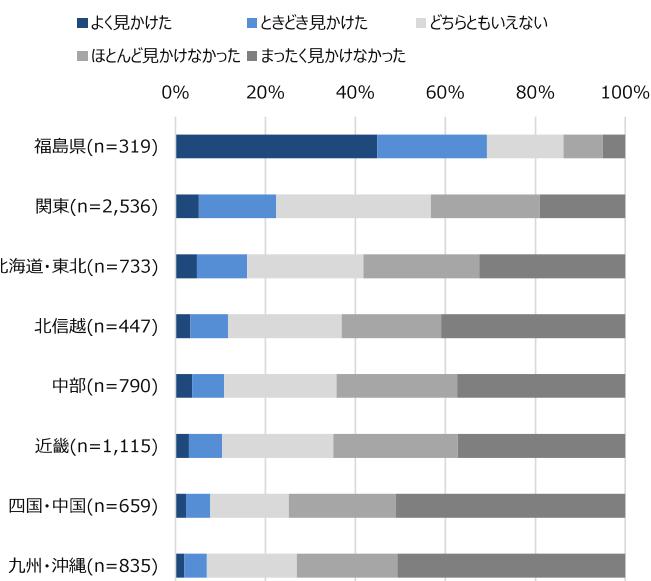
データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

460

福島県産さやいんげんを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産さやいんげんをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産さやいんげんを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.6%であった。

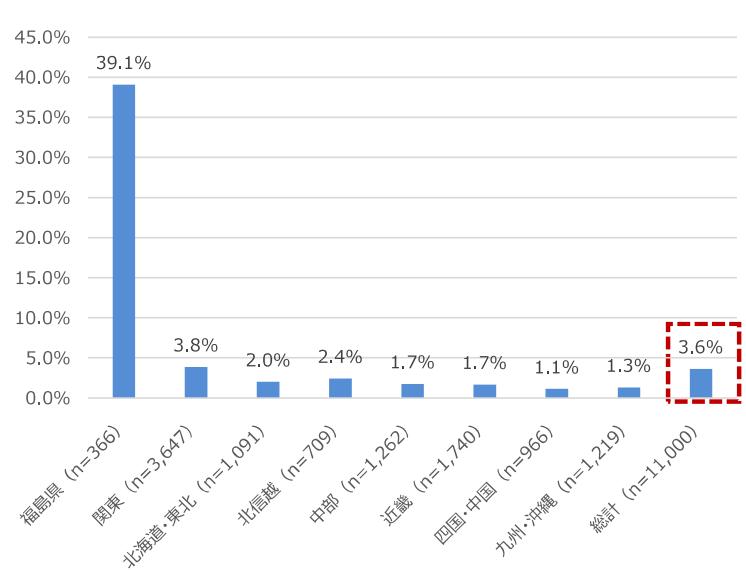
福島県産さやいんげんを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産さやいんげんを見た記憶を尋ねた。

※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産さやいんげんの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数

※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

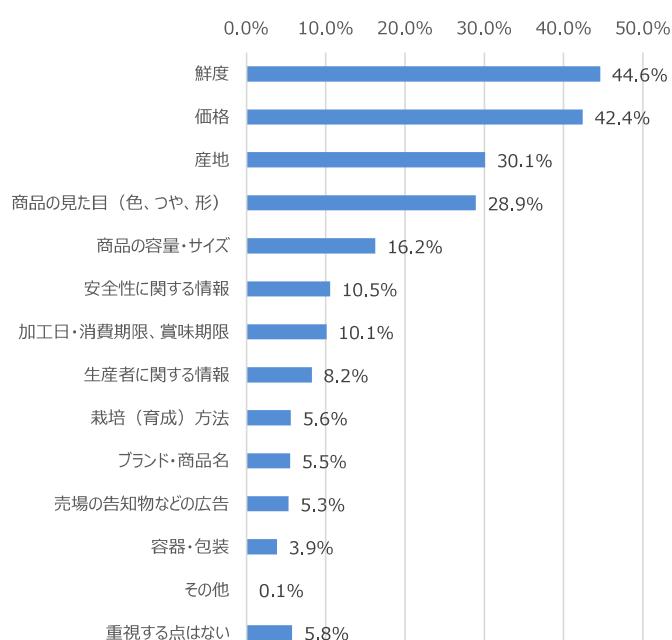
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

461

さやいんげん購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

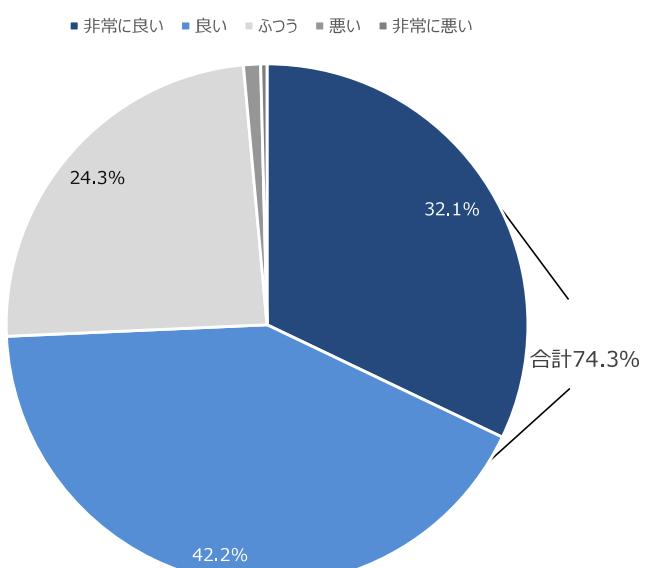
福島県産に限らず、さやいんげん購買時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産さやいんげんの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.3%であった。

さやいんげん購買時の重視点 (n=4,872、複数回答)



※さやいんげん購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上さやいんげんを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産さやいんげん購買者の評価 (n=395)



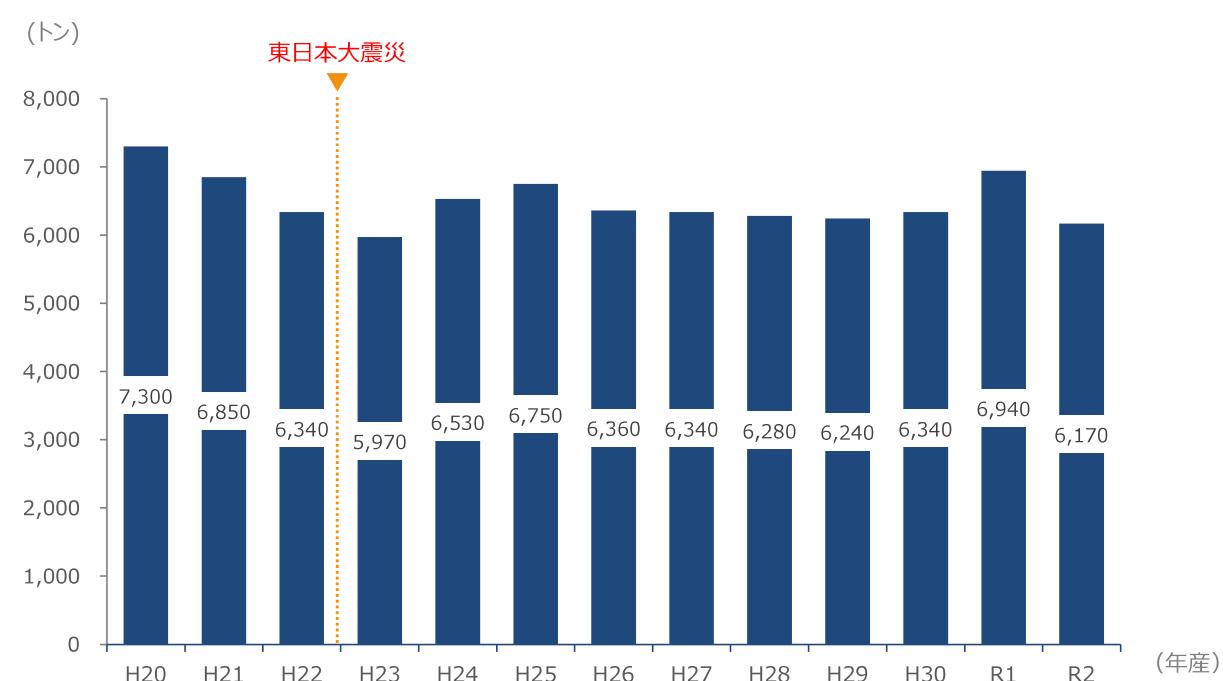
※福島県産さやいんげんを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。

462

福島県産ねぎの出荷量の推移

福島県産ねぎの出荷量は震災直後に減少したが、平成23年産から平成25年産にかけて徐々に増加し、平成26年産以降は、令和元年産を除き、ほぼ横ばいで推移している。

福島県産ねぎの出荷量の推移



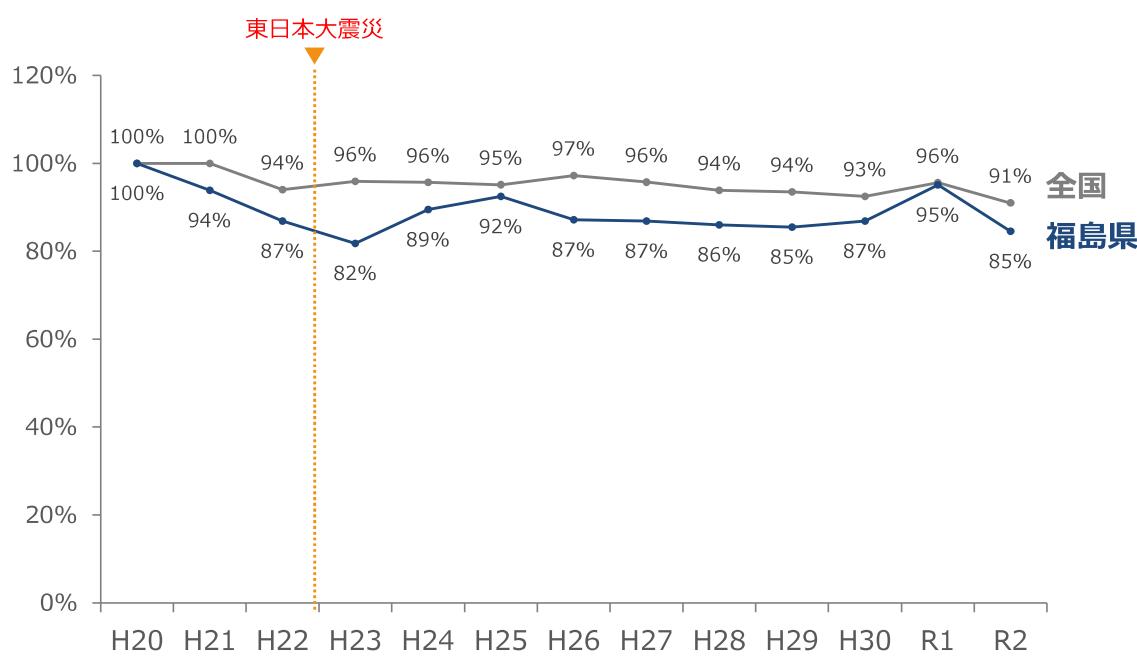
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

463

全国・福島県産ねぎの出荷量の推移

全国のねぎの出荷量は、平成27年産以降、令和元年を除き、緩やかな減少傾向にある。福島県産ねぎについては、平成27年産以降、令和元年を除き、ほぼ横ばいを推移している。

全国・福島県産ねぎの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



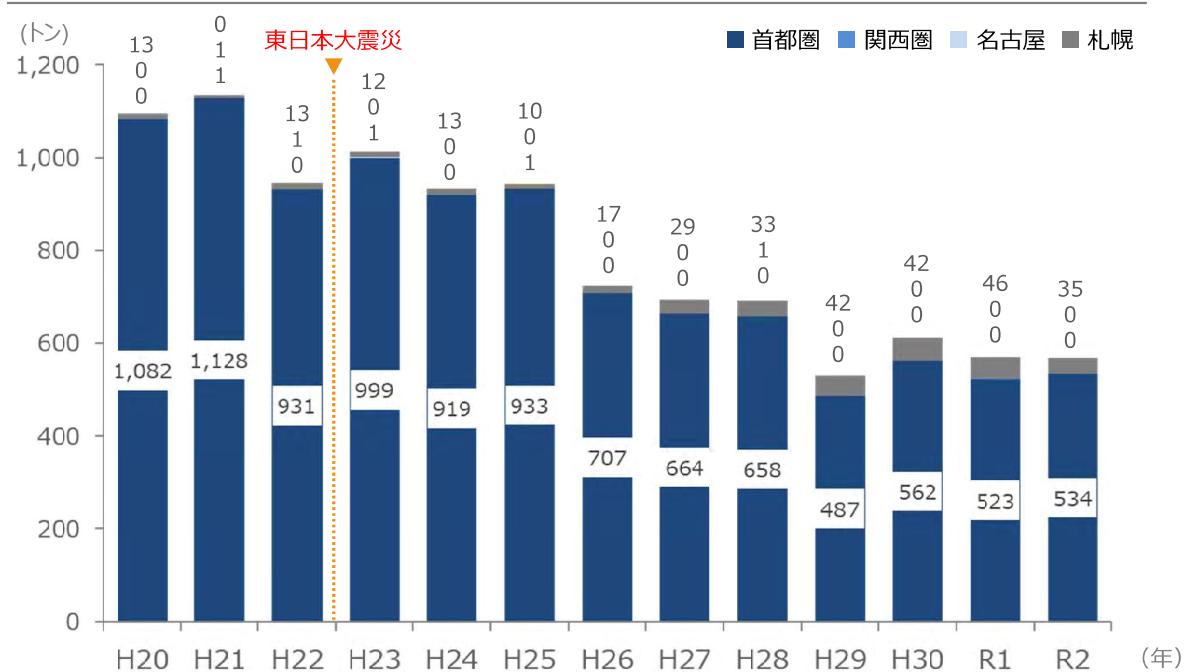
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

464

各市場における福島県産ねぎの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産ねぎは、ほとんどが首都圏で取引されている。その取引量は減少傾向にあり、令和2年は平成22年の約60%まで減少している。

各市場における福島県産ねぎの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

465

各市場におけるねぎの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、年間を通して福島県産ねぎのシェアは少なかった。横浜市中央卸売市場では1月2月に福島県産ねぎのシェアが3位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	2%	2% 391
茨城	23%	18%	17%	16%	51%	65%	52%	22%	8%	7%	10%	21%	12,661
千葉	29%	39%	40%	41%	24%	21%	16%	4%	1%	1%	6%	19%	10,422
埼玉	20%	20%	23%	22%	9%	4%	4%	2%	0%	1%	5%	16%	5,693
秋田	3%	2%	1%	1%	2%	1%	5%	17%	23%	20%	18%	7%	4,540
青森	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	19%	23%	21%	15%	2%	3,854
総量	5,416	4,614	4,444	3,635	3,598	3,769	3,203	3,990	3,797	5,516	5,173	5,551	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	5%	6%	3%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	4%	143
千葉	52%	63%	68%	67%	34%	19%	10%	2%	1%	1%	6%	34%	2,162
茨城	12%	6%	8%	13%	44%	64%	37%	10%	5%	6%	6%	10%	1,161
秋田	4%	0%	0%	0%	4%	3%	7%	23%	31%	27%	29%	18%	1,058
岩手	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	13%	20%	20%	9%	546
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	2%	14%	21%	15%	16%	11%	1%	527
総量	724	654	579	508	458	447	440	581	636	896	848	837	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

466

各市場におけるねぎの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産ねぎの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鳥取	25%	27%	33%	32%	32%	28%	30%	25%	13%	15%	23%	27%	2,305
群馬	22%	19%	15%	17%	5%	0%	1%	0%	2%	7%	15%	27%	1,177
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	3%	12%	38%	46%	41%	19%	1%	1,135
大分	10%	9%	12%	13%	13%	12%	7%	0%	0%	0%	2%	8%	645
長野	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	10%	21%	19%	15%	5%	569
総量	990	1,020	841	696	534	463	467	523	663	916	901	1,040	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
京都	21%	21%	22%	25%	28%	31%	33%	19%	15%	15%	18%	18%	770
大分	29%	31%	26%	23%	26%	25%	23%	17%	0%	3%	17%	22%	749
鳥取	18%	19%	22%	25%	23%	24%	23%	19%	13%	10%	16%	18%	672
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	31%	39%	44%	11%	0%	367
滋賀	15%	16%	16%	9%	6%	2%	4%	5%	10%	6%	7%	13%	362
総量	382	393	345	265	214	199	183	219	216	367	401	454	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

467

各市場におけるねぎの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ねぎの取扱いが見られなかった。
札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ねぎの取扱いがほとんど見られなかつた。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
大分	26%	33%	41%	44%	36%	40%	36%	5%	0%	0%	5%	19%	1,988
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	13%	51%	59%	50%	21%	0%	1,580
長野	8%	4%	0%	0%	0%	0%	3%	16%	24%	24%	31%	22%	1,241
静岡	18%	18%	13%	5%	4%	9%	2%	1%	0%	0%	1%	11%	684
愛知	8%	8%	7%	11%	19%	19%	11%	3%	1%	1%	3%	6%	667
総量	958	895	809	633	511	479	439	655	752	1,082	1,009	1,088	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	35
北海道	1%	0%	1%	5%	18%	48%	83%	95%	99%	99%	92%	29%	3,047
埼玉	56%	56%	47%	52%	18%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	20%	1,024
茨城	23%	20%	23%	22%	53%	42%	8%	0%	0%	0%	1%	23%	840
群馬	8%	13%	16%	14%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	7%	250
中国	3%	1%	0%	3%	2%	5%	6%	5%	1%	1%	1%	1%	130
総量	441	439	417	353	315	388	453	540	590	697	526	451	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

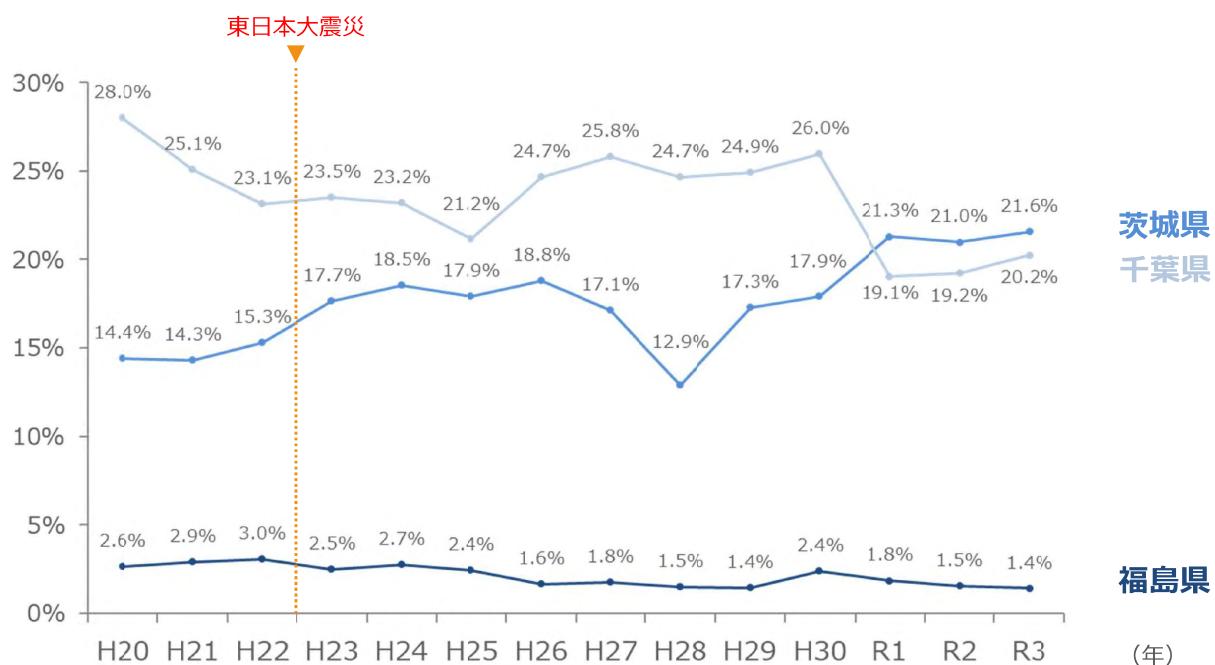
※総量・合計の単位はトン。

468

東京都中央卸売市場における福島県産ねぎのシェアの推移

東京都中央卸売市場の12月の福島県産ねぎは、震災後に徐々にシェアが低下し、令和3年は震災前の半分程度のシェアとなっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(12月)



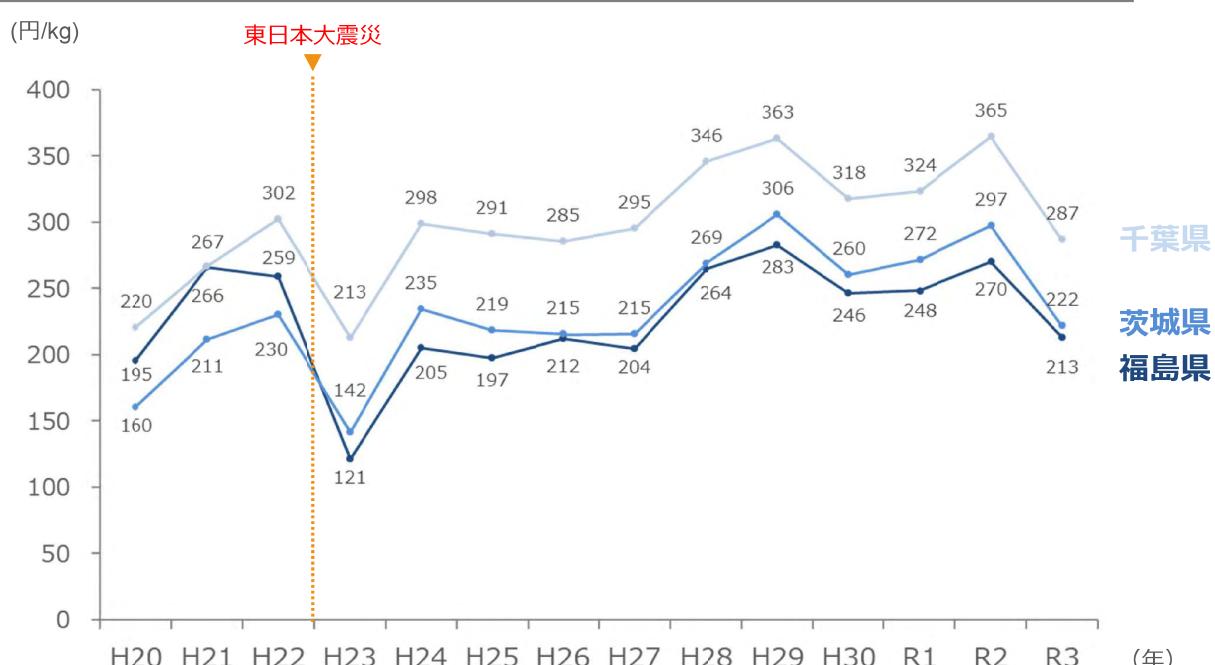
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

469

東京都中央卸売市場における福島県産ねぎの単価の推移

東京都中央卸売市場の12月の福島県産ねぎの平均単価は、震災前は茨城県産より高く、千葉県産より低い状態であったが、震災後は茨城県産より下回るようになった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(12月)



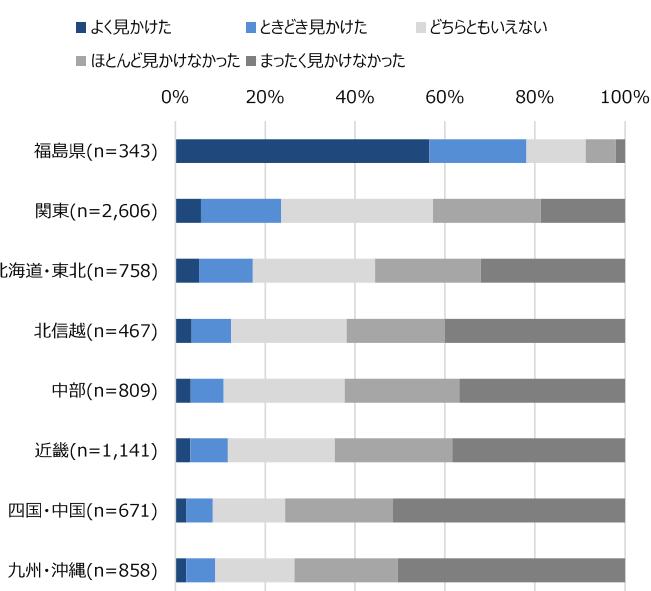
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

470

福島県産ねぎを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産ねぎをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ねぎを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.2%であった。

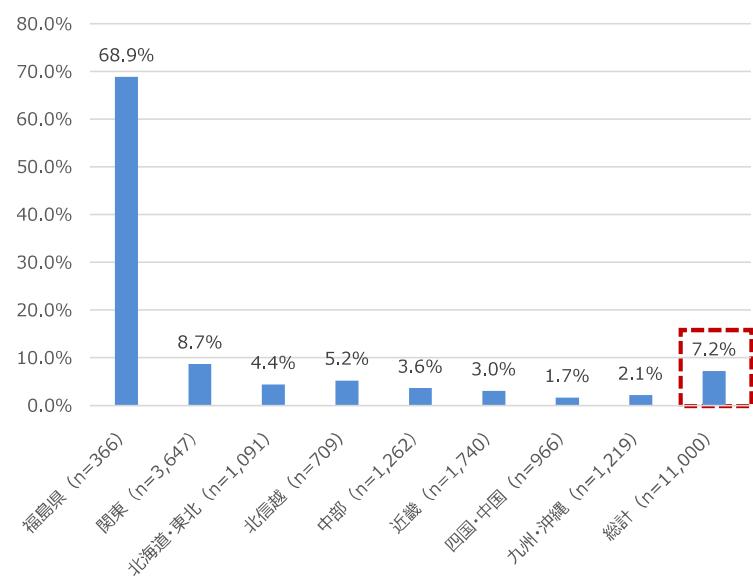
福島県産ねぎを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産ねぎを見た記憶を尋ねた。

※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ねぎの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数

※記憶に関する質問であるため、产地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

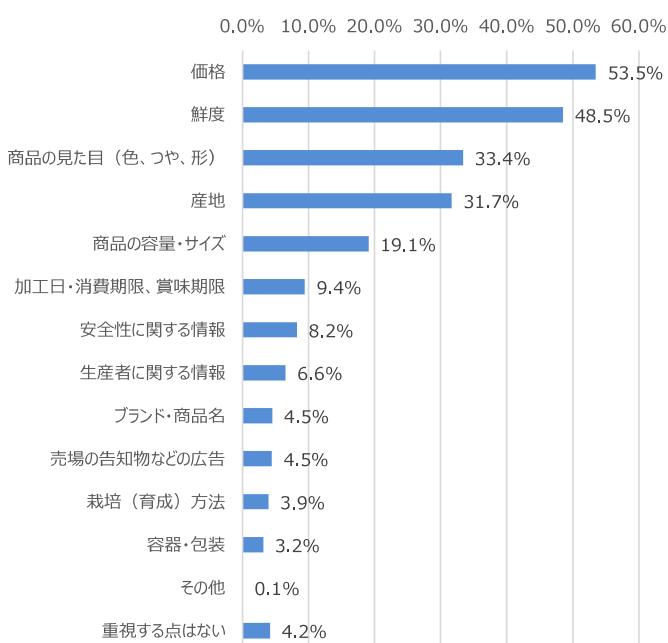
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

471

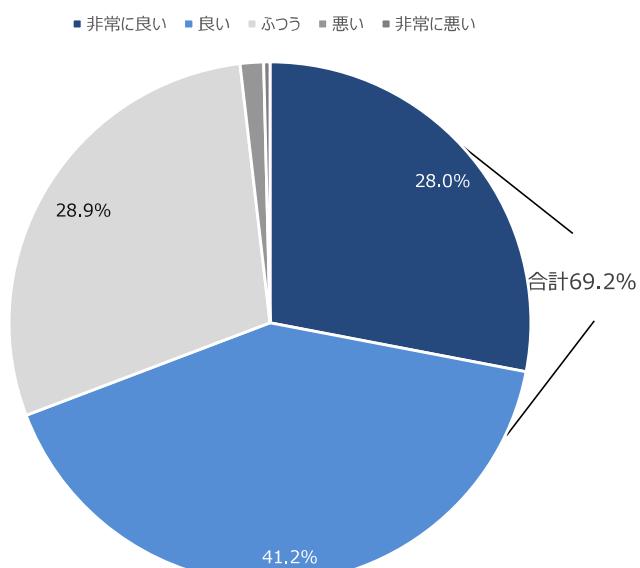
ねぎ購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らず、ねぎ購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産ねぎの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が69.2%であった。

ねぎ購買時の重視点 (n=9,248、複数回答)



福島県産ねぎ購買者の評価 (n=793)



※福島県産ねぎを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

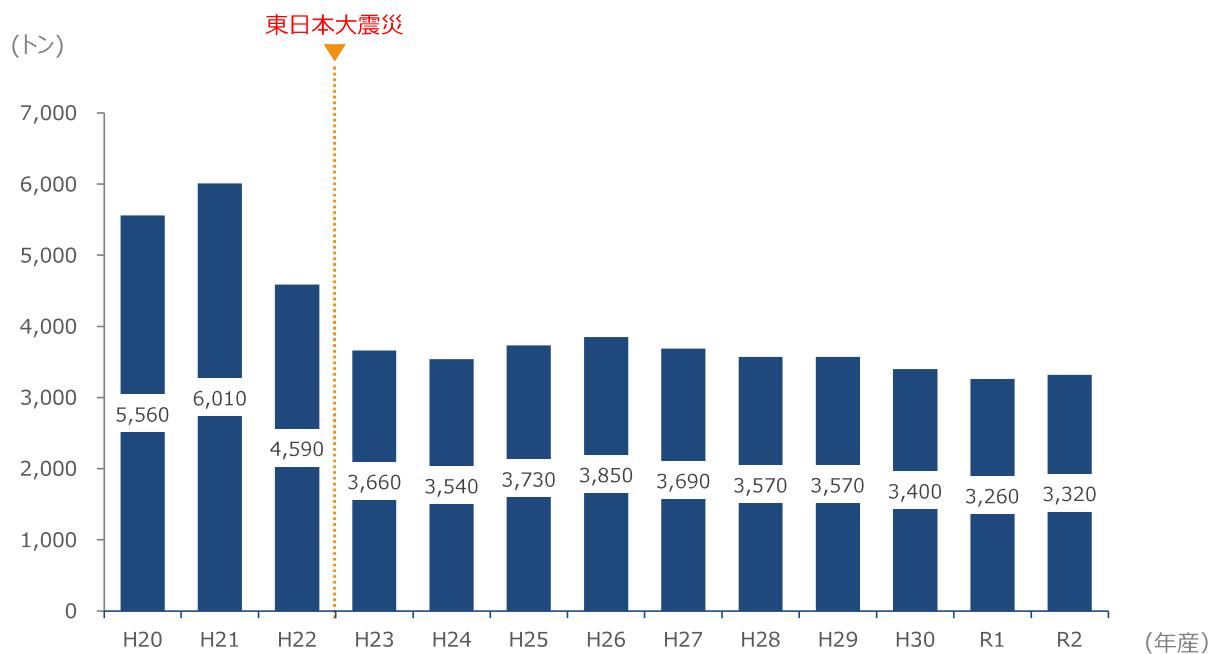
※月に1回以上ねぎを購買している回答者のみに尋ねた質問。

472

福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

福島県産ブロッコリーの出荷量については、平成22年産・平成23年産に大きく減少し、その後横ばいで推移している。

福島県産ブロッコリーの出荷量の推移



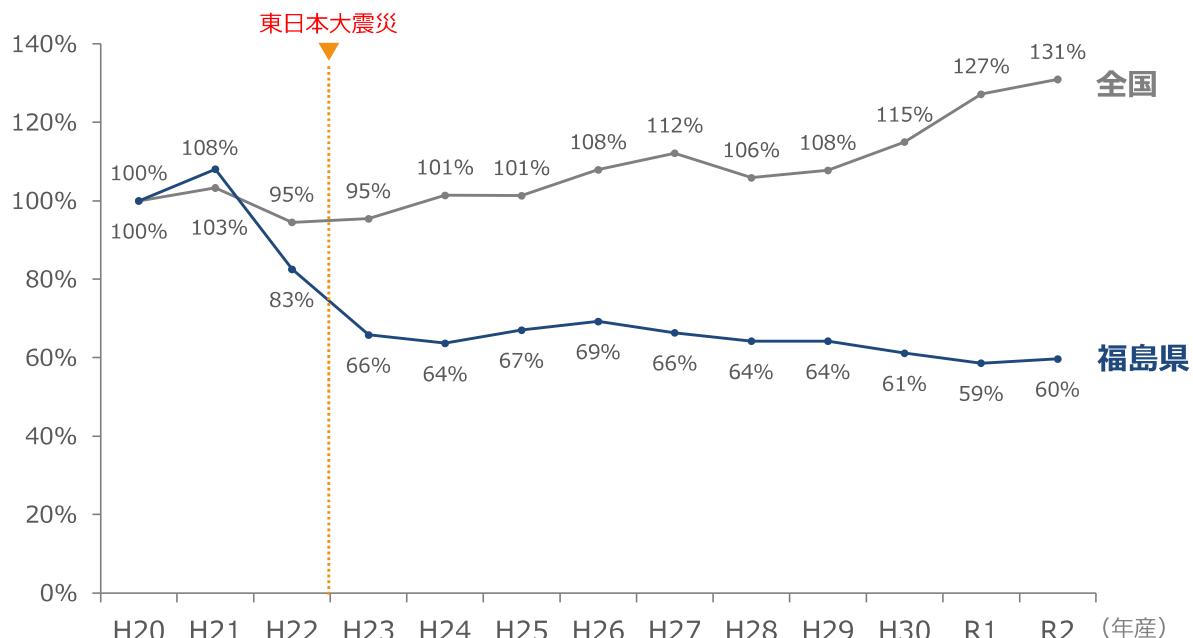
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

473

全国・福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

全国のブロッコリー出荷量は、平成23年産から増加傾向にある一方で、福島県産ブロッコリーは、平成21年産をピークに平成22年産・平成23年産に大きく下落し、その後おおむね横ばいで推移している。

全国・福島県産ブロッコリーの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



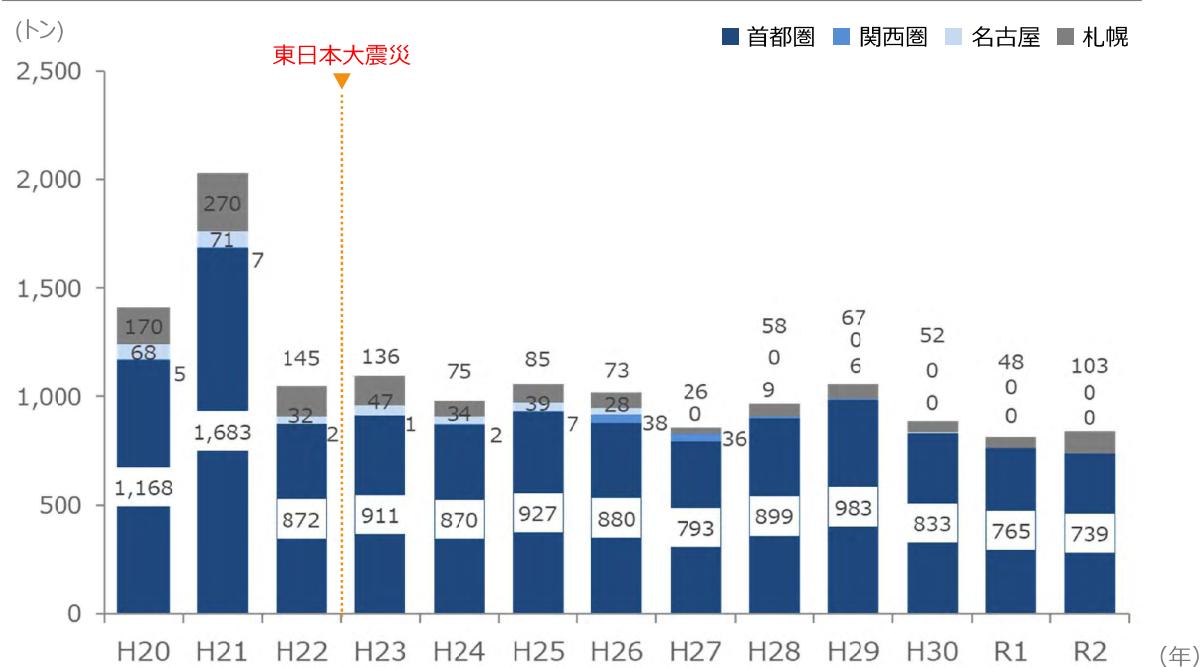
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

474

各市場における福島県産ブロッコリーの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産ブロッコリーは、主に首都圏で取り扱われており、震災直前の平成22年から平成29年まで、取扱量はほぼ横ばいとなっていたが、平成30年に減少した。

各市場における福島県産ブロッコリーの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

475

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても、福島県産ブロッコリーのシェアは6月に高まり2位となったが、それ以外の月は5%以下であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	5%	16%	0%	0%	0%	2%	1%	1%	645
香川	29%	35%	40%	31%	31%	3%	0%	0%	0%	0%	17%	25%	6,751
北海道	0%	0%	0%	1%	0%	13%	65%	84%	67%	46%	5%	2%	6,133
愛知	25%	17%	16%	7%	8%	1%	0%	0%	0%	1%	9%	19%	3,525
埼玉	7%	5%	4%	20%	15%	1%	0%	0%	0%	16%	26%	11%	3,266
熊本	14%	16%	17%	19%	12%	3%	0%	0%	0%	2%	9%	9%	3,189
総量	3,837	3,413	2,950	2,360	3,134	2,356	2,641	1,875	1,651	2,425	3,751	3,658	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	0%	4%	14%	0%	0%	0%	4%	0%	0%	94
香川	38%	50%	60%	51%	42%	0%	0%	0%	0%	0%	29%	38%	1,607
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	11%	63%	86%	64%	31%	1%	0%	882
長崎	18%	19%	16%	26%	26%	11%	0%	0%	0%	6%	10%	16%	735
長野	0%	0%	0%	0%	2%	49%	33%	13%	33%	42%	7%	0%	679
愛知	22%	14%	9%	6%	6%	0%	0%	0%	0%	2%	10%	18%	483
総量	591	550	529	382	480	358	442	297	286	388	599	593	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

476

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場においては、年間を通して、福島県産ブロッコリーの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	43%	40%	41%	42%	47%	15%	5%	0%	0%	8%	27%	30%	2,271
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	4%	58%	79%	65%	43%	6%	3%	1,592
その他	9%	15%	20%	19%	16%	16%	11%	9%	9%	13%	16%	18%	1,226
長野	0%	0%	0%	0%	0%	29%	26%	12%	25%	22%	5%	0%	781
香川	6%	12%	15%	14%	12%	4%	0%	0%	0%	3%	15%	18%	752
総量	935	791	711	511	784	705	740	583	515	601	913	791	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	50%	47%	49%	42%	59%	14%	0%	0%	0%	9%	33%	44%	895
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	19%	87%	94%	81%	50%	3%	0%	840
鳥取	14%	10%	13%	5%	20%	40%	0%	0%	0%	16%	28%	22%	460
長野	0%	0%	0%	0%	0%	15%	12%	6%	19%	14%	2%	0%	172
長崎	3%	6%	13%	22%	8%	1%	0%	0%	0%	2%	4%	7%	153
総量	294	217	212	173	303	248	289	247	192	292	342	271	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

477

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して福島県産ブロッコリーの取扱いが見られなかった。札幌市中央卸売市場では、福島県産ブロッコリーのシェアが12月に1位、11月に2位だったが、3月～10月までは取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
愛知	36%	32%	30%	23%	22%	4%	0%	3%	4%	11%	30%	44%	1,621
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	9%	66%	71%	53%	32%	1%	0%	1,238
鳥取	22%	15%	11%	0%	20%	32%	0%	0%	0%	13%	29%	23%	1,168
長野	0%	0%	0%	0%	2%	40%	32%	26%	42%	35%	10%	1%	1,069
香川	12%	21%	33%	25%	18%	4%	0%	0%	0%	1%	10%	14%	874
総量	735	643	568	449	745	607	709	438	407	582	863	769	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	7%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	14%	29%	103
北海道	0%	0%	0%	1%	38%	100%	100%	100%	100%	100%	62%	1%	3,277
熊本	30%	37%	38%	58%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	12%	26%	322
愛知	30%	27%	24%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	19%	175
徳島	14%	13%	16%	15%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	6%	106
総量	154	179	116	91	113	298	827	972	599	425	180	203	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

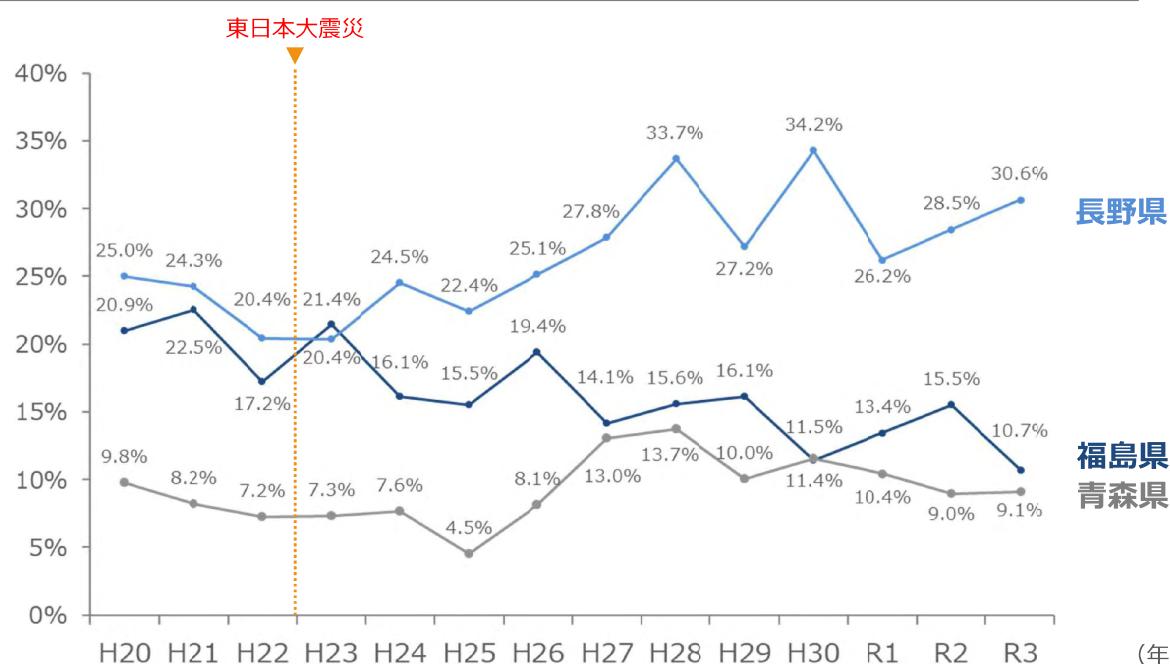
データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

478

東京都中央卸売市場における福島県産ブロッコリーのシェアの推移

東京都中央卸売市場の6月の福島県産ブロッコリーは、震災以前に比べてシェアが減少傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(6月)



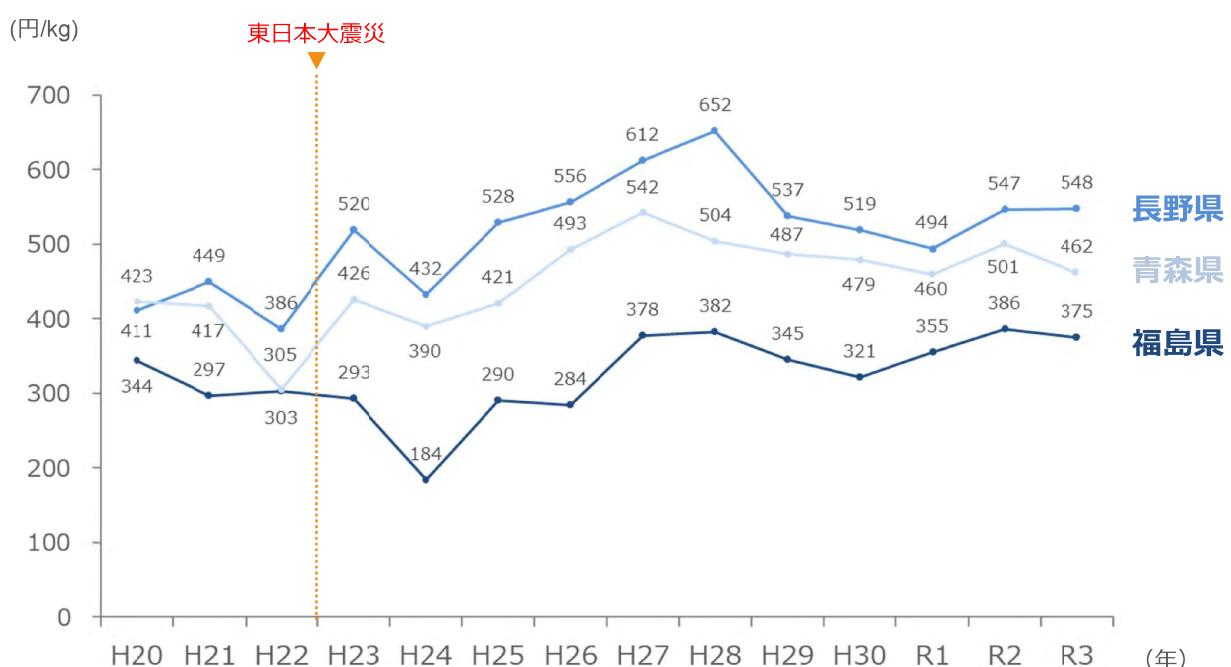
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

479

東京都中央卸売市場における福島県産ブロッコリーの単価の推移

東京都中央卸売市場の6月の福島県産ブロッコリーの平均単価は、震災前から他県産よりも低い。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(6月)



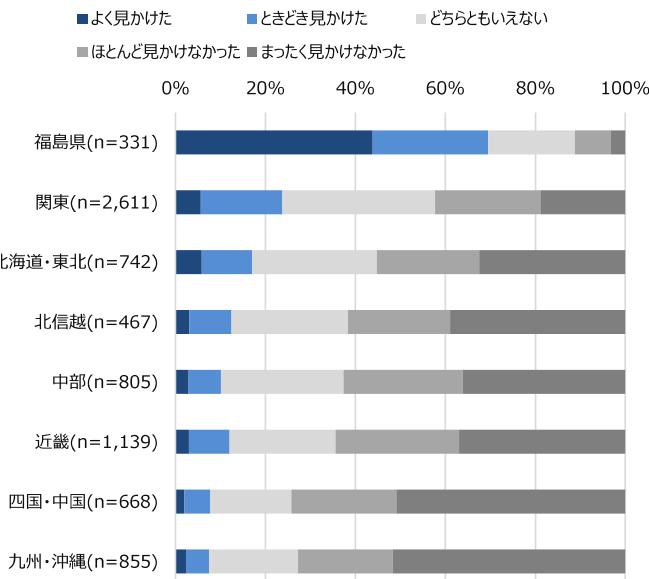
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

480

福島県産ブロッコリーを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産ブロッコリーをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ブロッコリーを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では6.6%であった。

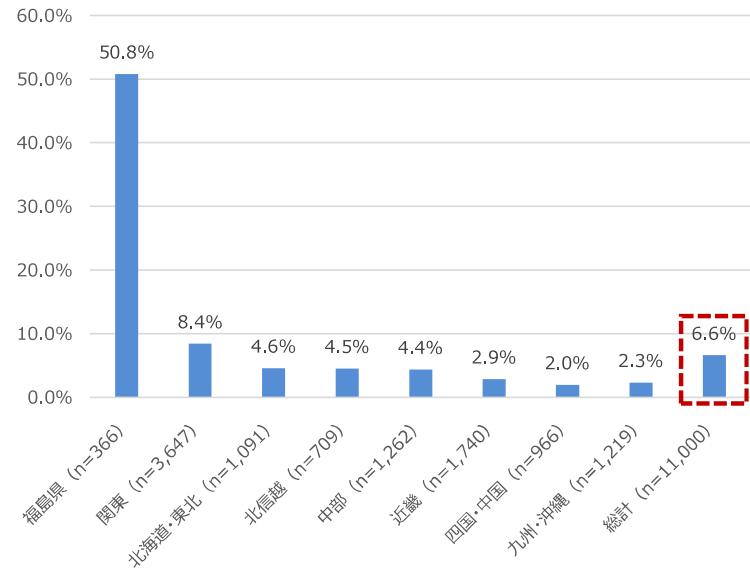
福島県産ブロッコリーを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産ブロッコリーを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

福島県産ブロッコリーの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数

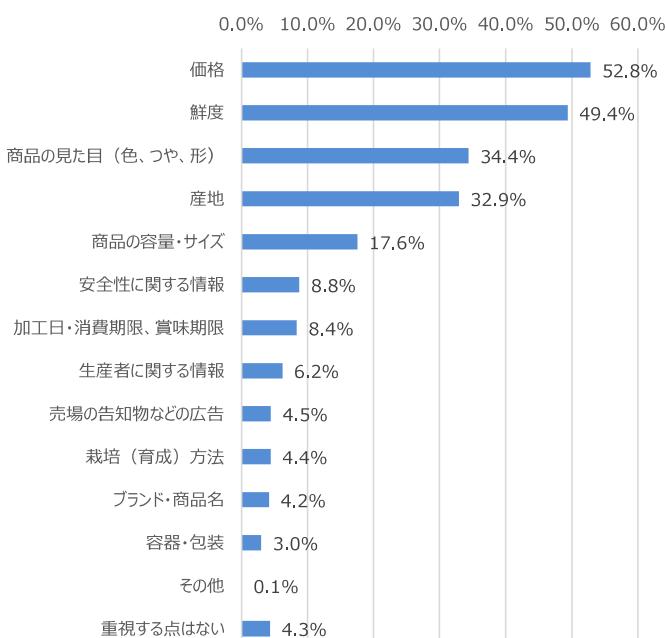
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

481

ブロッコリー購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

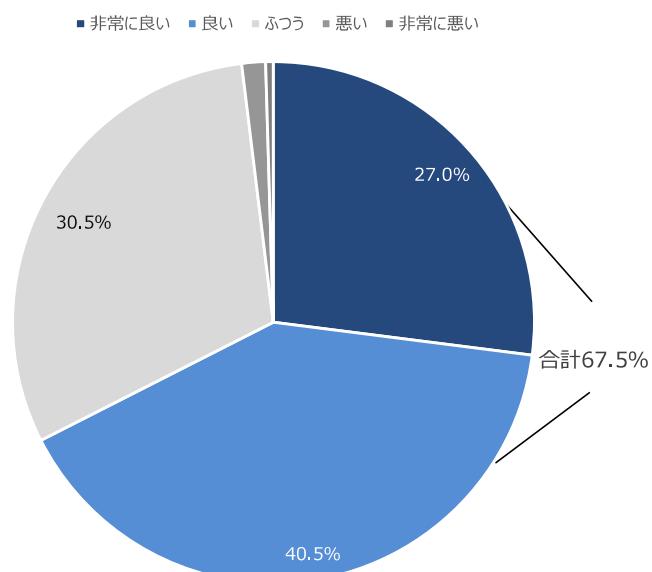
福島県産に限らず、ブロッコリー購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産ブロッコリーの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が67.5%であった。

ブロッコリー購買時の重視点 (n=8,546、複数回答)



※ブロッコリー購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上ブロッコリーを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ブロッコリー購買者の評価 (n=727)



※福島県産ブロッコリーを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

482

各市場におけるグリーンピースの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場・横浜市中央卸売市場いずれにおいても、福島県産グリーンピースは主に5月～6月に流通しており、高いシェアを占めている。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	7%	20%	68%	8%	2%	0%	1%	1%	0%	37
鹿児島	90%	88%	79%	67%	16%	1%	0%	9%	0%	17%	45%	70%	322
長崎	5%	5%	10%	11%	3%	0%	0%	0%	0%	7%	38%	19%	41
和歌山	3%	3%	5%	7%	7%	1%	0%	0%	0%	0%	3%	4%	21
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	56%	56%	7%	0%	7%	5%	15
総量	95	100	73	59	68	26	12	8	3	3	18	44	

横浜市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

483

各市場におけるグリーンピースの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、福島県産グリーンピースは5月・6月にのみ流通しており、6月は市場シェア2位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	2%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
鹿児島	81%	79%	58%	26%	11%	0%	0%	0%	0%	6%	80%	84%	204
和歌山	7%	7%	22%	39%	28%	5%	0%	0%	0%	0%	8%	4%	47
熊本	9%	12%	14%	25%	16%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	10%	41
岐阜	0%	0%	0%	0%	7%	62%	12%	0%	7%	45%	5%	0%	20
徳島	0%	0%	0%	1%	30%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11
総量	61	73	49	35	33	23	8	4	2	3	11	55	

※大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場・札幌市中央卸売市場は該当データが存在しない
データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

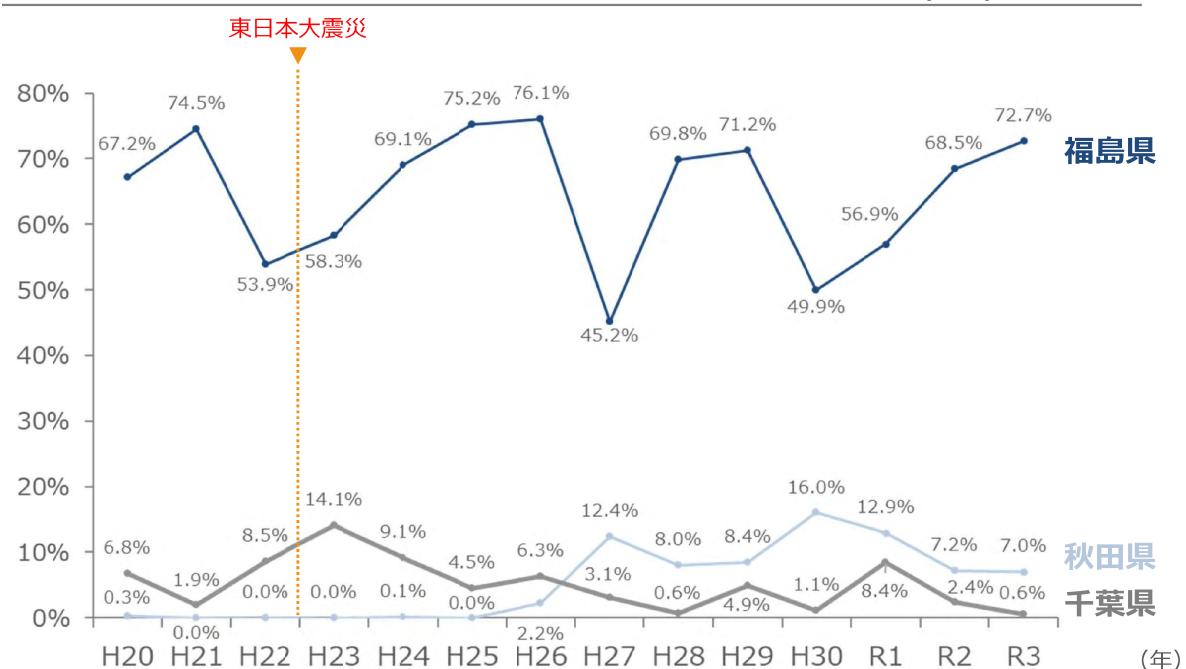
※総量・合計の単位はトン。

484

東京都中央卸売市場における福島県産グリーンピースのシェアの推移

東京都中央卸売市場の6月の福島県産グリーンピースは、平成27年と平成30年でシェアが一時的に低くなっているものの、震災以降は7割程度の高いシェアを占めている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(6月)



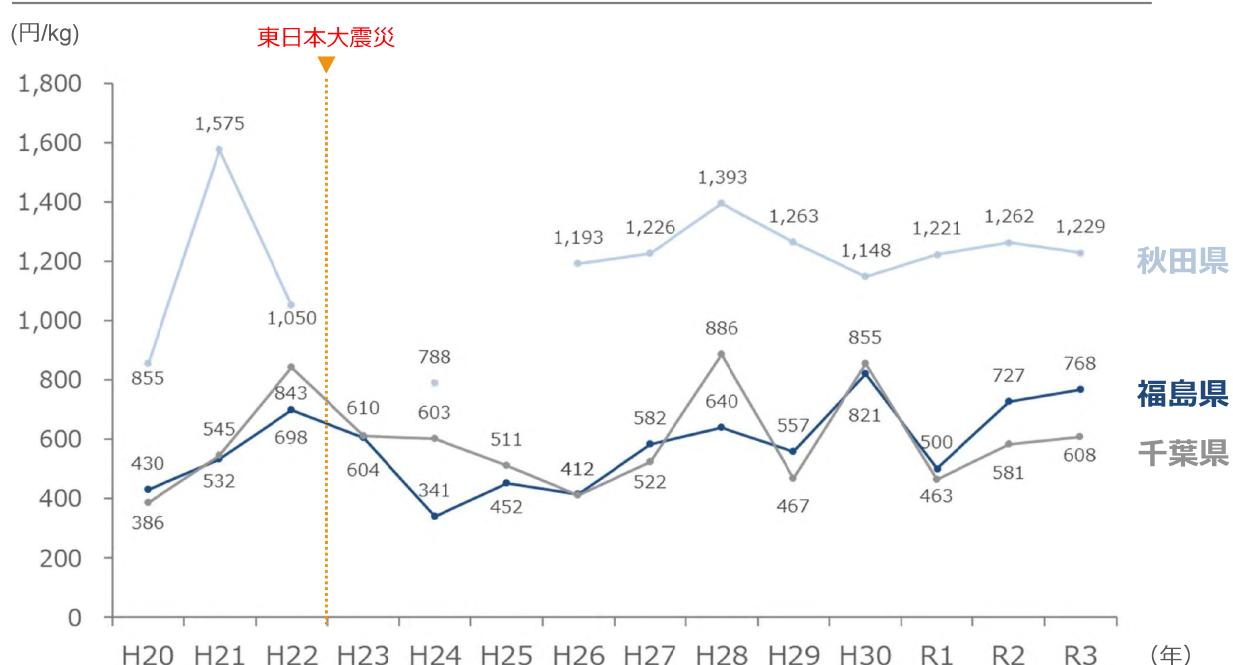
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

485

東京都中央卸売市場における福島県産グリーンピースの単価の推移

東京都中央卸売市場の6月の福島県産グリーンピースの平均単価は、震災後に一時下落したが、その後回復傾向にあり、令和元年以降は千葉県産の価格を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(6月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

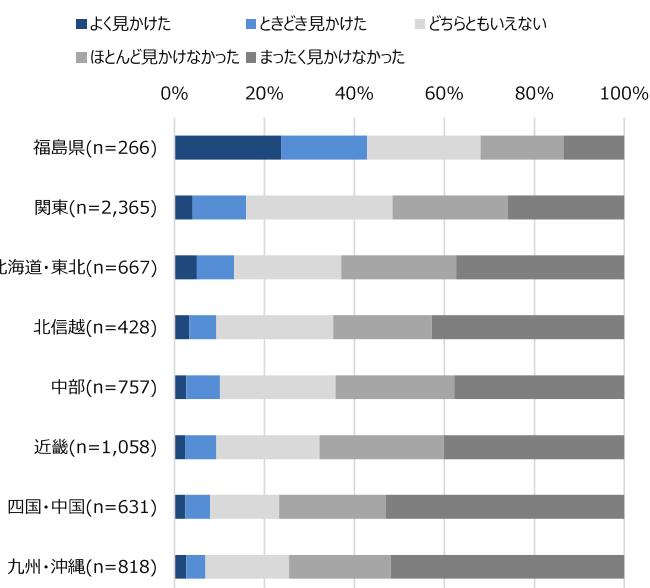
※平成23年と平成25年は秋田県のデータがないため、掲載していない。

486

福島県産グリンピースを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産グリンピースをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産グリンピースを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では2.7%であった。

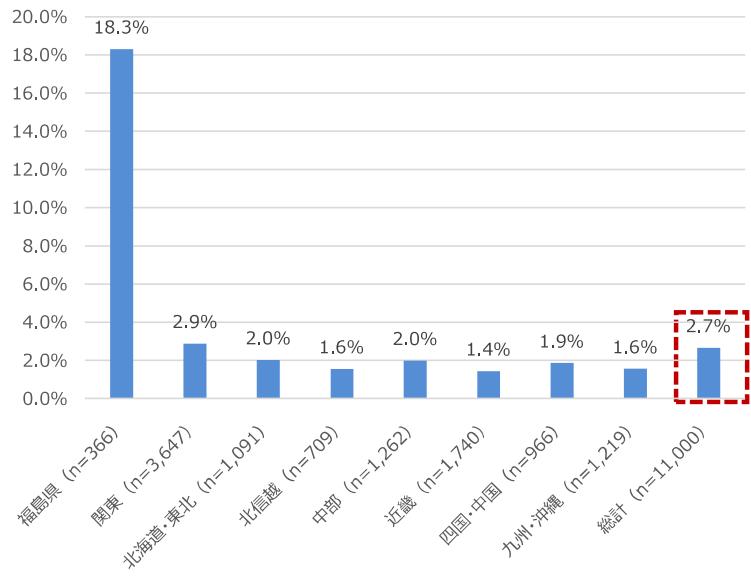
福島県産グリンピースを店頭で見たか



※過去1~2年に、店頭で福島県産グリンピースを見た記憶を尋ねた。

※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産グリンピースの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数

※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

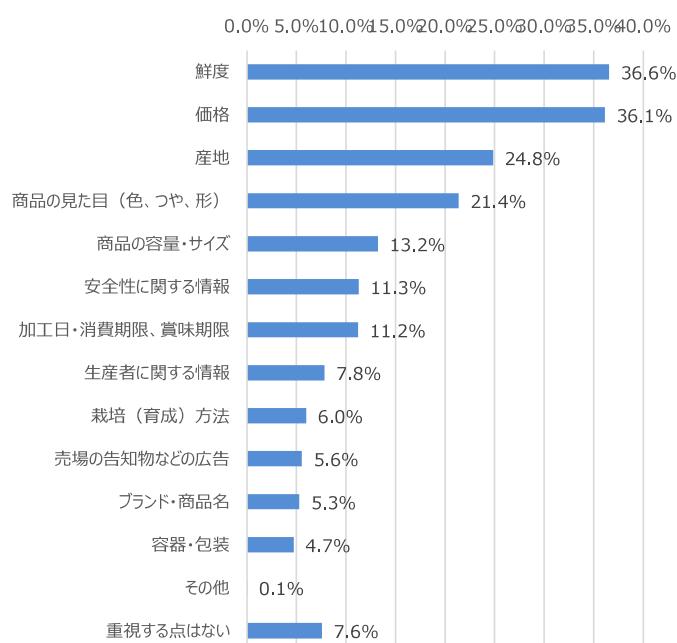
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

487

グリンピース購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

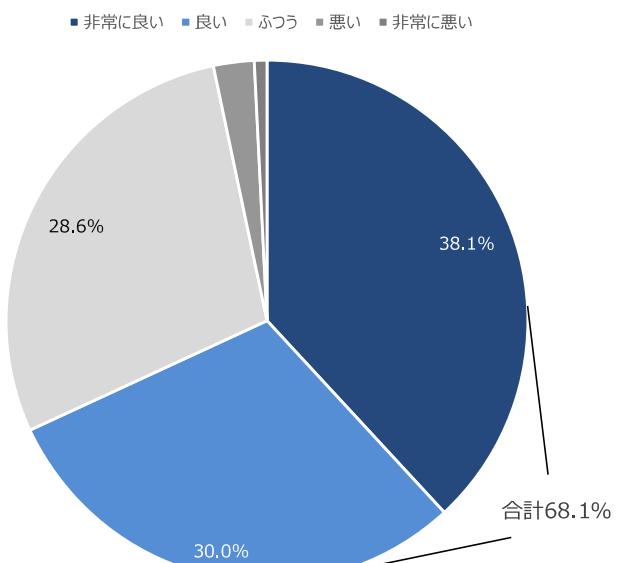
福島県産に限らず、グリンピース購買時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産グリンピースの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が68.1%であった。

グリンピース購買時の重視点 (n=3,365、複数回答)



※グリンピース購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上グリンピースを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産グリンピース購買者の評価 (n=301)

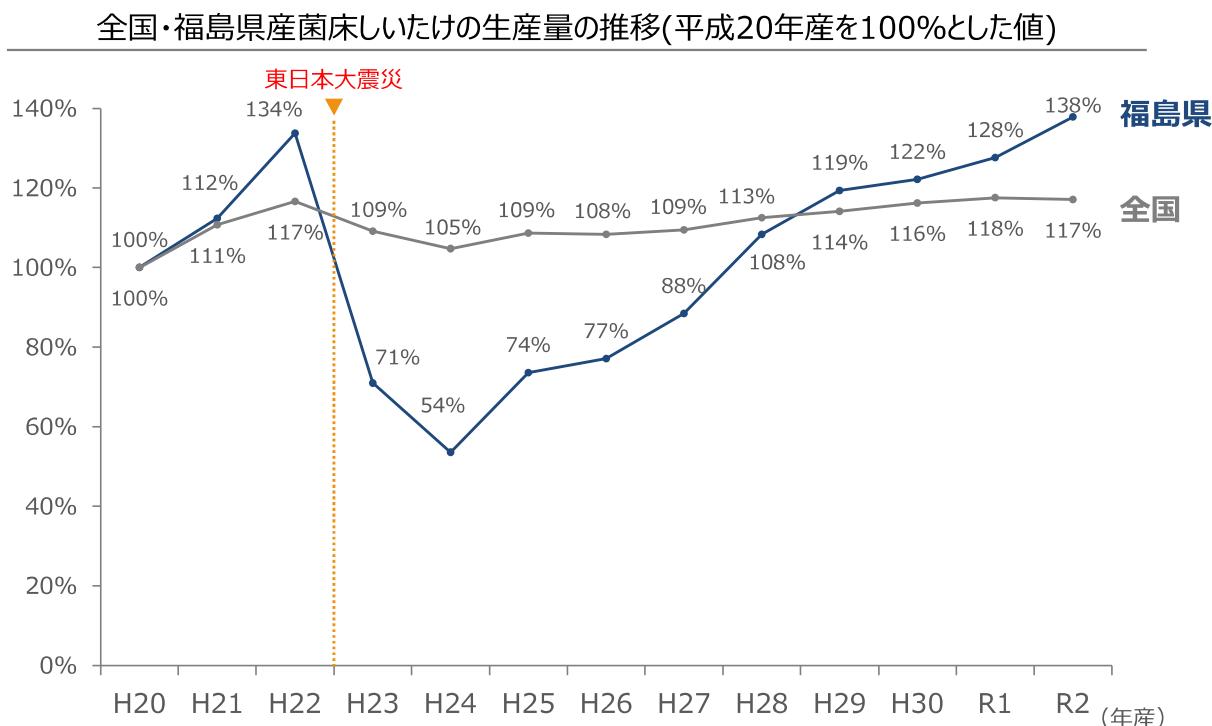


※福島県産グリンピースを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。

488

全国・福島県産菌床しいたけの生産量の推移

福島県産菌床しいたけの生産量は、震災後に大きく減少したが徐々に回復し、平成28年に震災前の平成20年産の生産量を上回り、増加傾向にある。

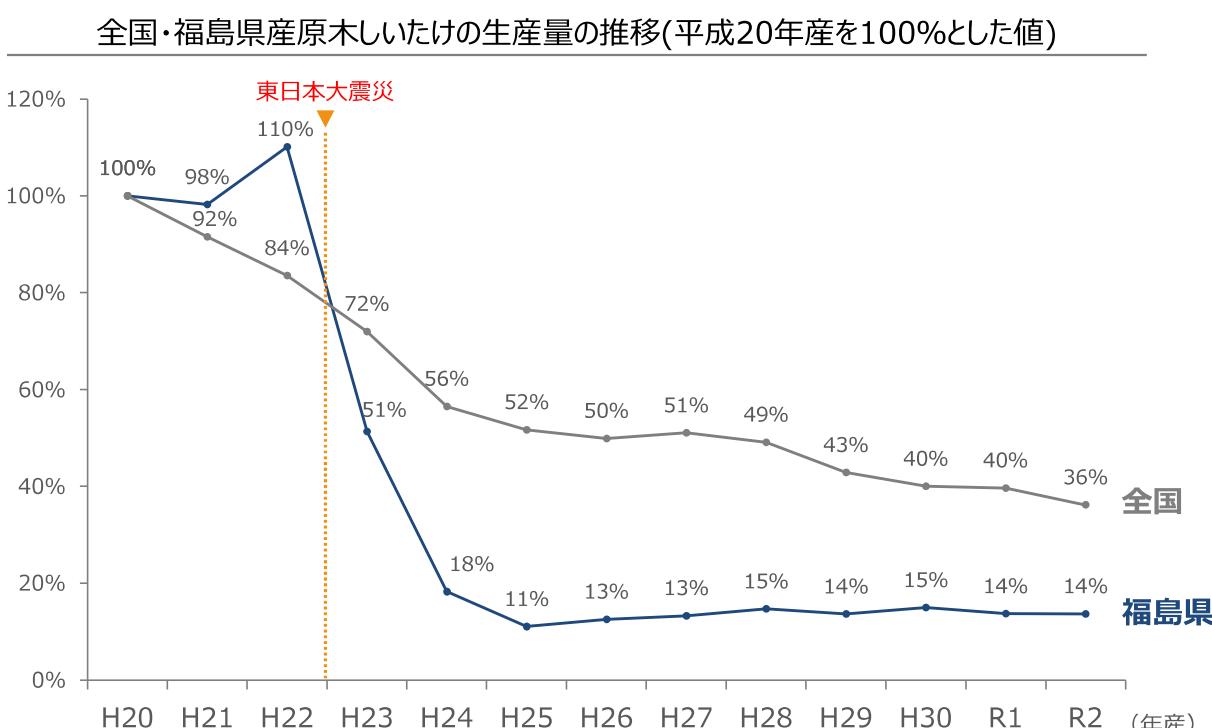


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」　※生産量は生しいたけ乾しいたけの単純合計

489

全国・福島県産原木しいたけの生産量の推移

福島県産原木しいたけの生産量は、震災後に大幅に減少し、現在は平成20年産の14%程度となっている。



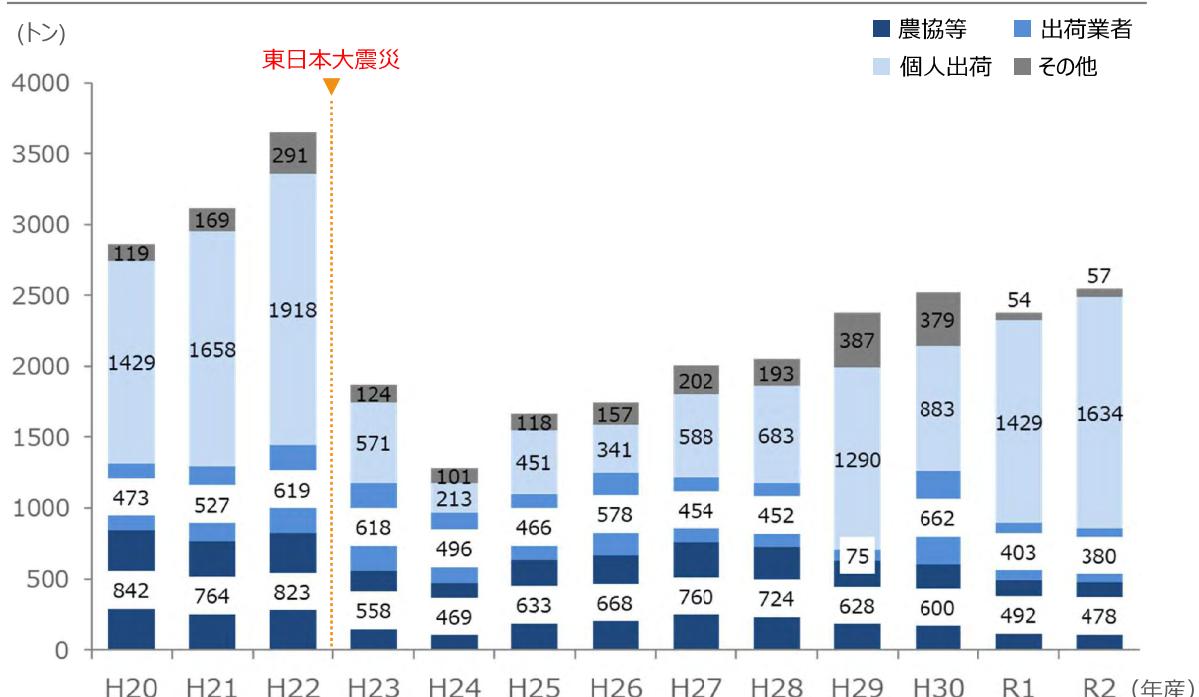
データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」　※生産量は生しいたけ乾しいたけの単純合計

490

福島県産しいたけの出荷主体別出荷量の推移

福島県産しいたけは、震災後、個人での出荷量が特に大きく減少し、平成24年産は平成22年産の約11%の水準であったが、その後再び増加し、令和2年産は平成22年産の約85%となっている。

福島県産しいたけ出荷主体別出荷量の推移



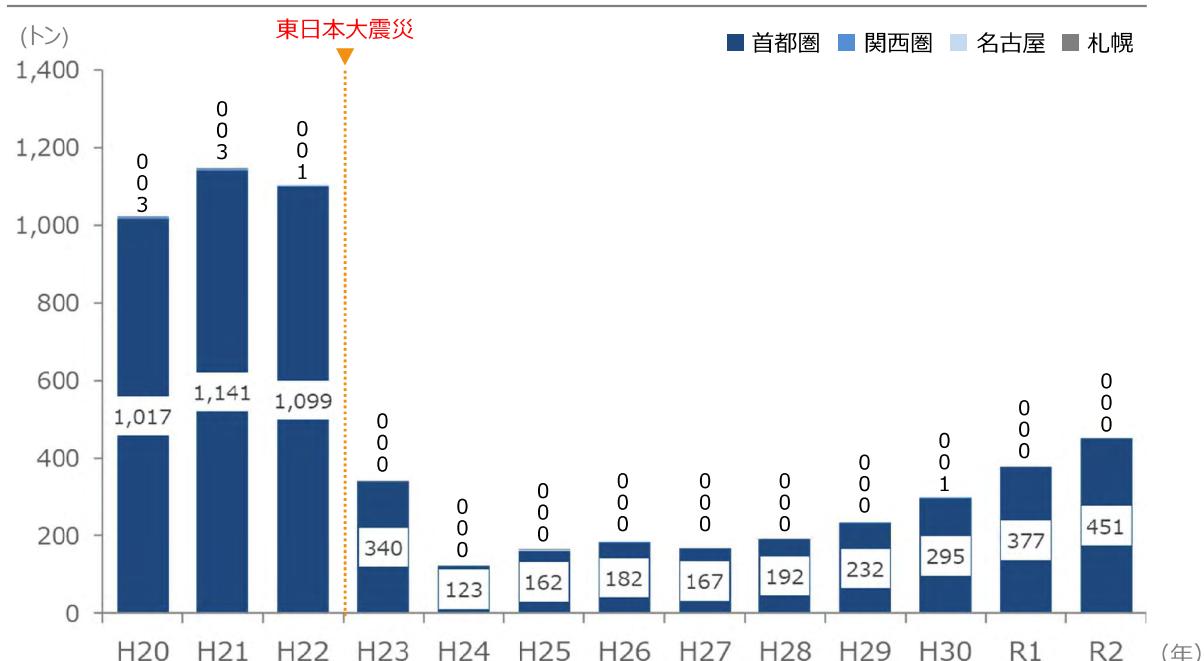
データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

491

各市場における福島県産しいたけの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産しいたけはほとんどが首都圏で取り扱われているが、震災後に取扱量が大きく減少し、令和2年には平成22年の約41%となっている。

各市場における福島県産しいたけの取扱量の推移



数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

492

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場において、福島県産しいたけの市場シェアは、年間を通して、2%から7%程度であった。横浜市中央卸売市場は、4月から12月にかけて福島県産の市場シェアが3位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	2%	3%	4%	4%	5%	6%	7%	7%	5%	4%	4%	4%	323
千葉	14%	17%	15%	21%	22%	20%	20%	24%	23%	18%	18%	18%	1,405
秋田	18%	17%	17%	15%	15%	16%	18%	18%	18%	19%	21%	17%	1,317
岩手	21%	20%	19%	17%	16%	15%	14%	13%	13%	17%	17%	19%	1,293
栃木	14%	13%	15%	15%	16%	17%	15%	11%	14%	16%	16%	13%	1,103
北海道	6%	6%	6%	4%	5%	4%	6%	5%	4%	4%	3%	6%	374
総量	742	662	667	553	520	481	498	473	498	799	811	842	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	4%	6%	4%	7%	8%	6%	5%	6%	7%	12%	10%	9%	129
秋田	56%	52%	56%	55%	51%	53%	58%	59%	56%	47%	56%	55%	995
岩手	26%	28%	26%	24%	29%	29%	27%	25%	27%	27%	22%	24%	474
山形	6%	6%	6%	6%	5%	4%	3%	3%	4%	7%	6%	6%	98
中国	2%	3%	2%	2%	2%	2%	1%	1%	2%	1%	1%	1%	31
総量	187	163	159	134	130	128	133	115	119	183	191	188	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

493

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産の取扱いは見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
岐阜	47%	62%	46%	51%	88%	83%	83%	80%	88%	91%	88%	90%	223
徳島	52%	16%	16%	4%	11%	15%	15%	18%	11%	6%	9%	9%	58
三重	0%	22%	37%	45%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	42
和歌山	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	1%	0%	1%	1%	1%	1
中国	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	1
総量	50	47	37	38	17	9	14	14	15	18	30	36	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	34%	31%	33%	31%	32%	32%	30%	33%	31%	30%	32%	36%	571
三重	11%	12%	14%	15%	13%	8%	11%	9%	19%	27%	22%	19%	279
長崎	10%	10%	11%	14%	12%	13%	13%	16%	15%	13%	11%	10%	217
岡山	12%	12%	12%	11%	12%	11%	10%	11%	8%	6%	5%	5%	161
和歌山	8%	8%	8%	7%	10%	12%	12%	10%	9%	8%	7%	8%	154
総量	141	139	149	135	123	119	120	121	137	190	177	213	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

494

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産の取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	36%	35%	32%	31%	33%	36%	38%	34%	37%	37%	33%	37%	846
広島	14%	13%	19%	15%	16%	14%	15%	17%	16%	13%	10%	11%	344
岐阜	14%	14%	14%	15%	13%	11%	11%	11%	11%	10%	16%	16%	320
北海道	8%	11%	10%	11%	12%	12%	8%	9%	7%	9%	11%	7%	227
和歌山	5%	6%	5%	7%	8%	8%	7%	9%	7%	7%	6%	6%	159
総量	212	213	219	180	175	175	177	161	172	234	236	272	

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	99%	99%	99%	99%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	603
岐阜	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
大分	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
兵庫	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	57	47	50	56	53	49	47	42	44	54	50	57	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

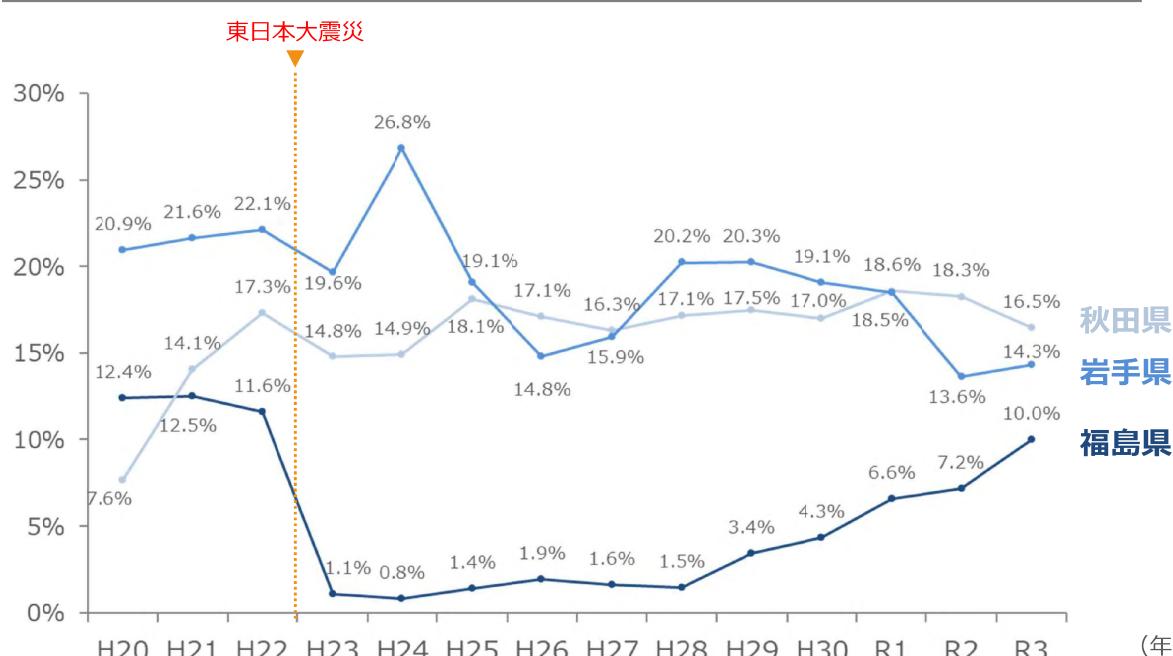
※総量・合計の単位はトン。

495

東京都中央卸売市場における福島県産しいたけのシェアの推移

東京都中央卸売市場の7月の福島県産しいたけは、震災後の平成23年にシェアが大きく減少した。以降は少しずつ回復傾向にあり、令和3年は10.0%まで回復した。

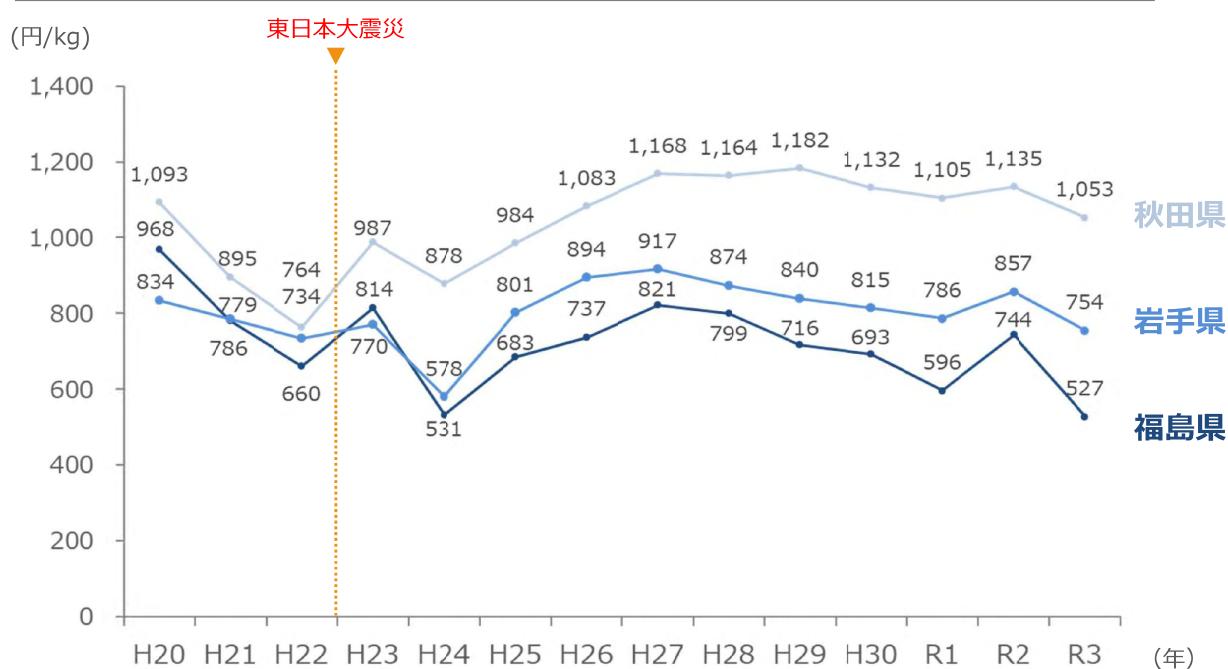
東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(7月)



東京都中央卸売市場における福島県産しいたけの単価の推移

東京都中央卸売市場の7月の福島県産しいたけの平均単価は、震災後の平成24年以降、岩手県産、秋田県産を下回っており、令和3年は価格差が広がった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(7月)



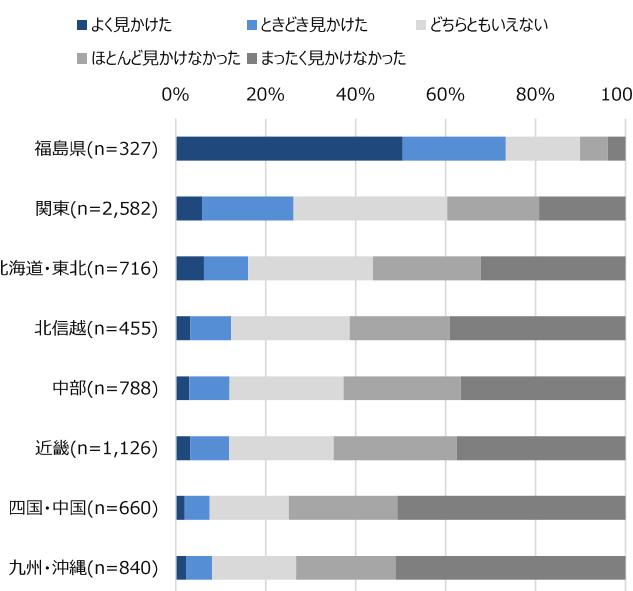
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

497

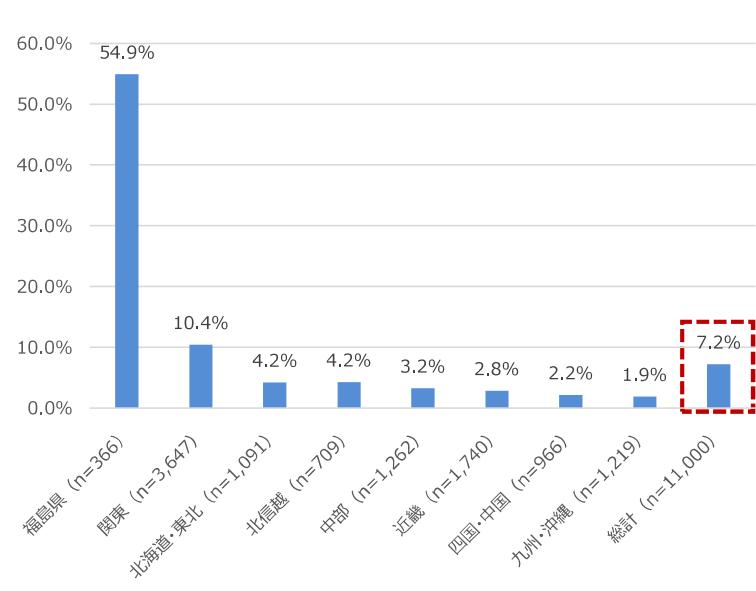
福島県産しいたけを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産しいたけをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産しいたけを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.2%であった。

福島県産しいたけを店頭で見たか



福島県産しいたけの購買経験率



※過去1～2年に、店頭で福島県産しいたけを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、产地を認識せずに買っていれば購買経験なしとなる。

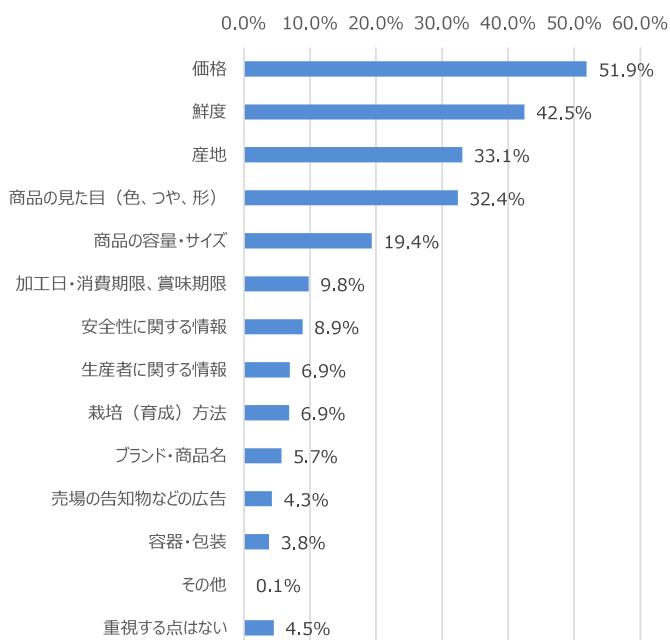
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

498

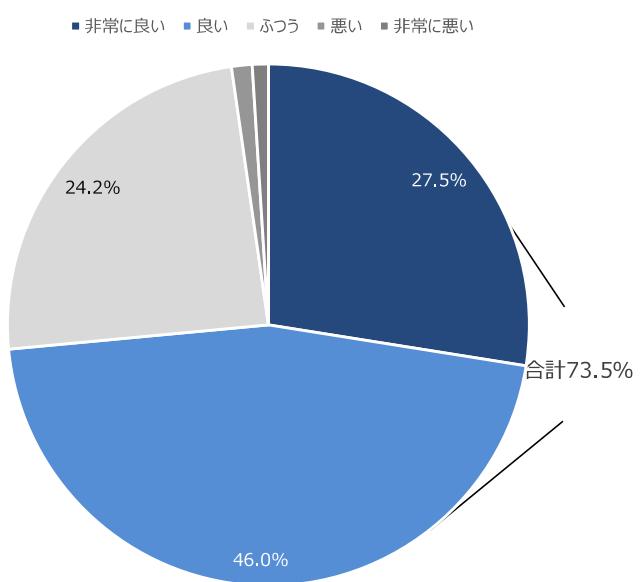
しいたけ購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らず、しいたけ購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産しいたけの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が73.5%であった。

しいたけ購買時の重視点 (n=7,883、複数回答)



福島県産しいたけ購買者の評価 (n=796)



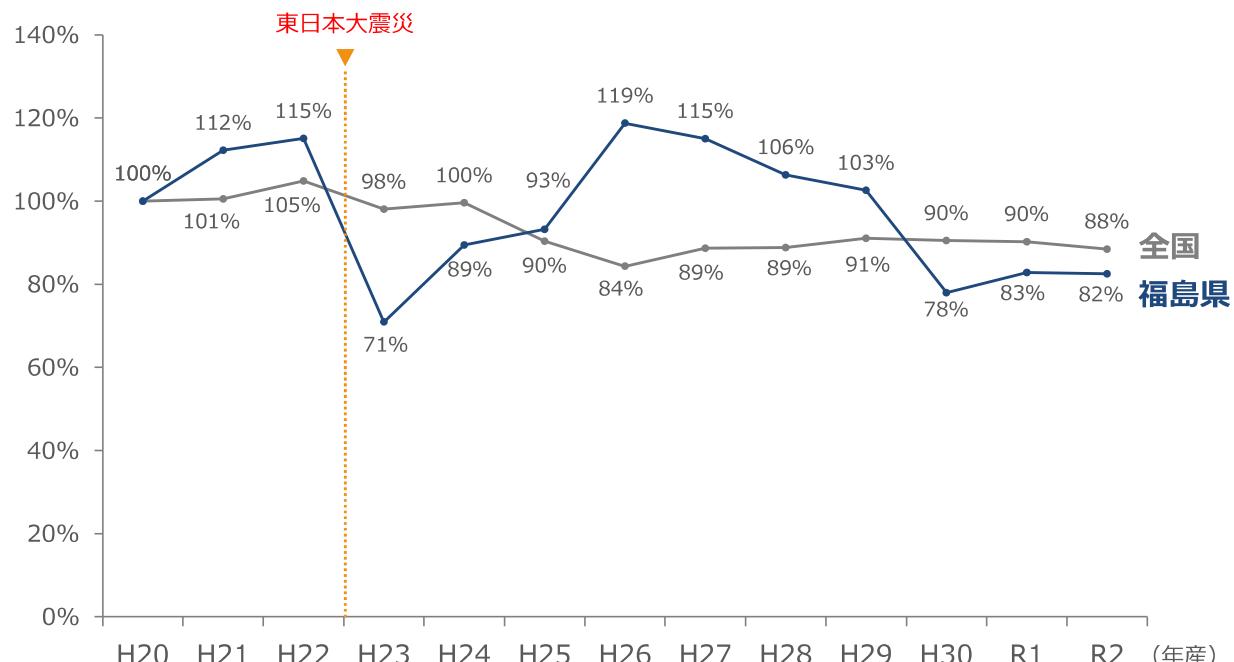
※福島県産しいたけを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。

499

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移

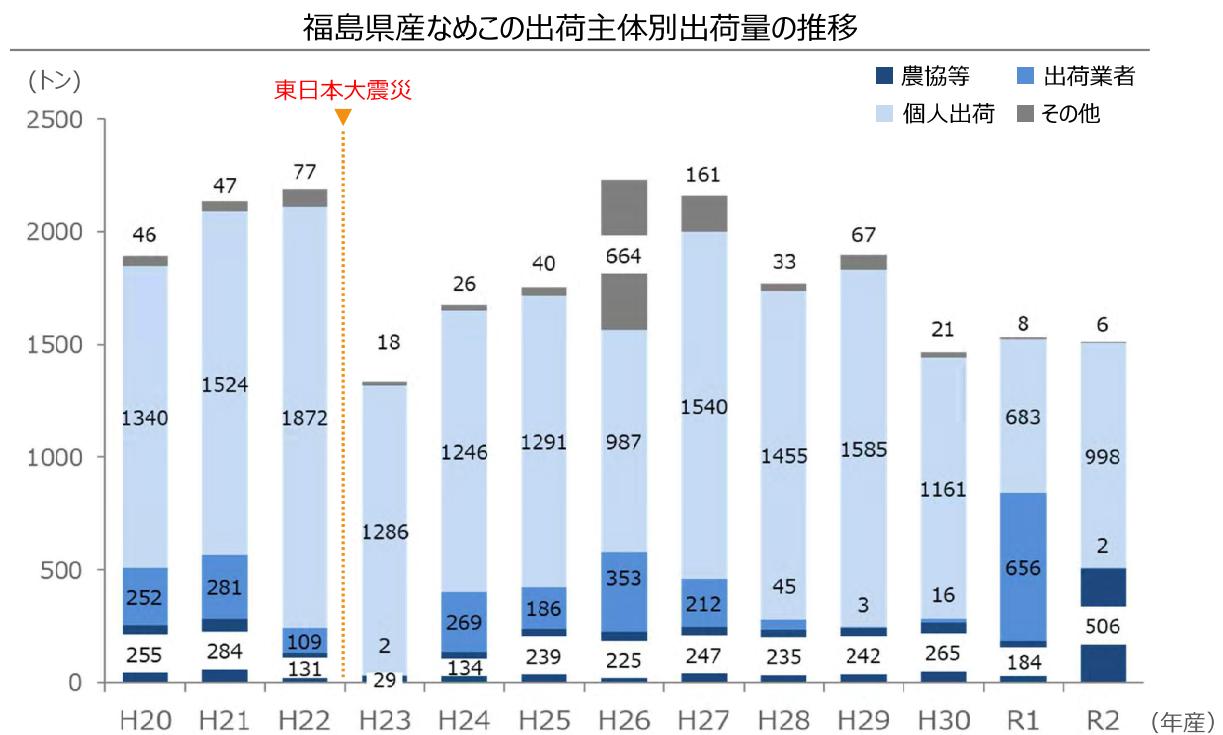
全国的ななめこの生産量が減少している中、福島県産なめこの生産量は震災後回復してきていたが、平成30年産以降で全国平均を下回っている。

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)



福島県産なめこの出荷主体別出荷量の推移

福島県産なめこは震災前より個人出荷が占める割合が大きかったが、令和2年は農協等による出荷の割合が増加している。

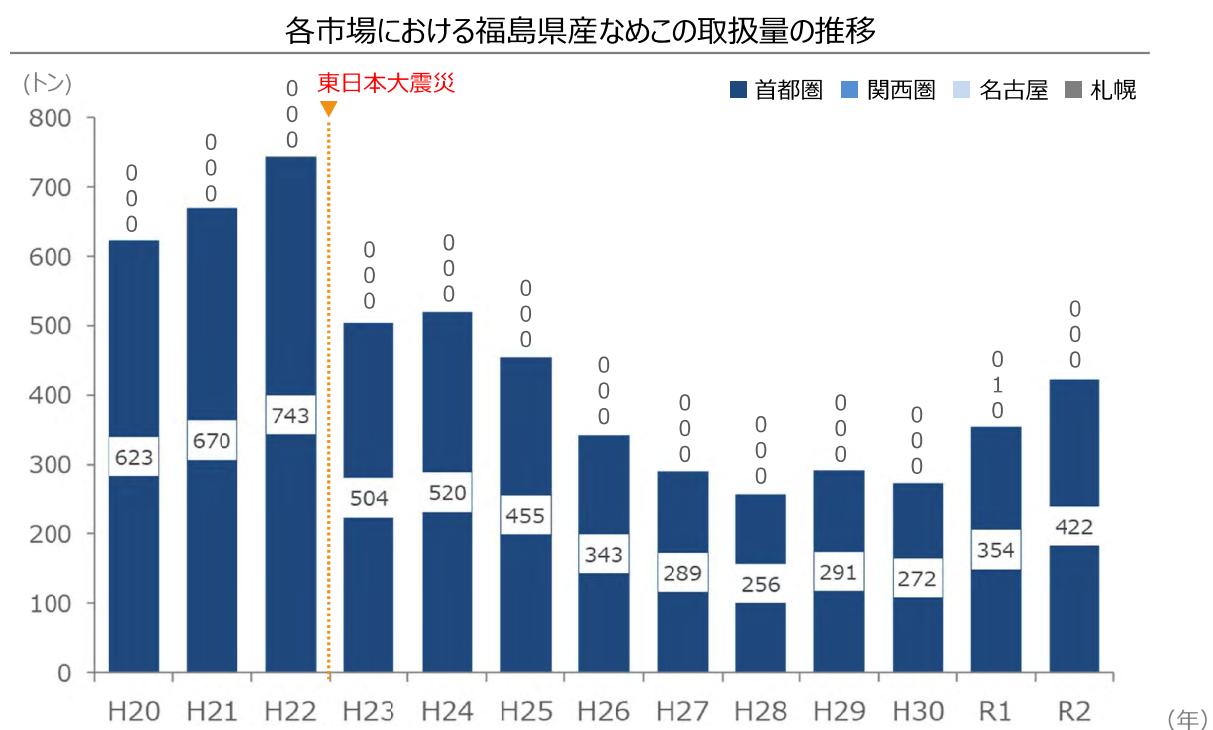


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

501

各市場における福島県産なめこの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産なめこは、令和元年の名古屋を除き首都圏のみで取り扱われている。震災以降取扱量は減少傾向にあったものの、令和元年以降は上昇している。



データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

502

各市場におけるなめこの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では3月から5月、12月においてシェア3位であった。横浜市中央卸売市場では年間を通して福島県産なめこの取扱いがあった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	10%	10%	12%	14%	11%	12%	11%	12%	10%	10%	11%	12%	365
山形	28%	29%	29%	30%	35%	27%	27%	30%	31%	30%	33%	30%	979
長野	25%	25%	23%	23%	22%	27%	26%	24%	26%	25%	24%	27%	812
新潟	15%	13%	12%	11%	11%	14%	13%	14%	12%	11%	9%	10%	386
群馬	9%	10%	10%	11%	9%	9%	10%	8%	10%	13%	12%	11%	334
総量	256	270	281	242	280	289	256	252	289	301	273	269	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	5%	6%	5%	6%	7%	5%	6%	6%	5%	5%	5%	5%	57
長野	36%	38%	46%	41%	45%	44%	44%	38%	42%	42%	47%	40%	440
山形	34%	30%	28%	27%	26%	23%	24%	27%	28%	26%	29%	31%	290
群馬	15%	15%	14%	19%	14%	11%	12%	14%	12%	14%	14%	15%	147
新潟	8%	11%	5%	5%	5%	15%	11%	13%	11%	12%	3%	6%	90
総量	83	90	97	89	85	89	80	76	86	100	80	90	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

503

各市場におけるなめこの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産なめこの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	73%	73%	52%	47%	53%	51%	31%	53%	48%	53%	49%	36%	216
新潟	0%	0%	26%	32%	25%	26%	52%	26%	25%	21%	28%	45%	124
長野	12%	14%	12%	11%	13%	14%	11%	13%	18%	14%	13%	11%	55
和歌山	15%	13%	10%	10%	10%	9%	6%	9%	9%	9%	8%	7%	40
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	2%	1%	2
総量	24	27	37	38	32	35	52	33	35	38	35	50	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	93%	93%	93%	91%	92%	93%	93%	86%	93%	93%	93%	93%	94
和歌山	7%	7%	7%	8%	7%	7%	7%	14%	7%	7%	7%	7%	8
三重	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
山形	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	8	9	9	7	8	8	8	7	9	9	9	11	

データ出所：各卸売市場の提供データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

504

各市場におけるなめこの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して福島県産なめこの取扱いが見られなかった。
札幌市中央卸売市場では、4月に福島県産なめこのシェア3位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	71%	70%	71%	62%	71%	72%	69%	72%	68%	71%	67%	67%	438
長野	28%	29%	27%	37%	27%	26%	30%	27%	31%	27%	31%	31%	186
新潟	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	7
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1
総量	42	49	50	53	50	51	52	50	57	64	58	58	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
北海道	99%	99%	99%	90%	99%	99%	99%	97%	99%	99%	100%	99%	286
山形	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	1%	2
長野	0%	0%	0%	6%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	2
新潟	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	21	27	26	23	26	24	22	20	21	29	25	26	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

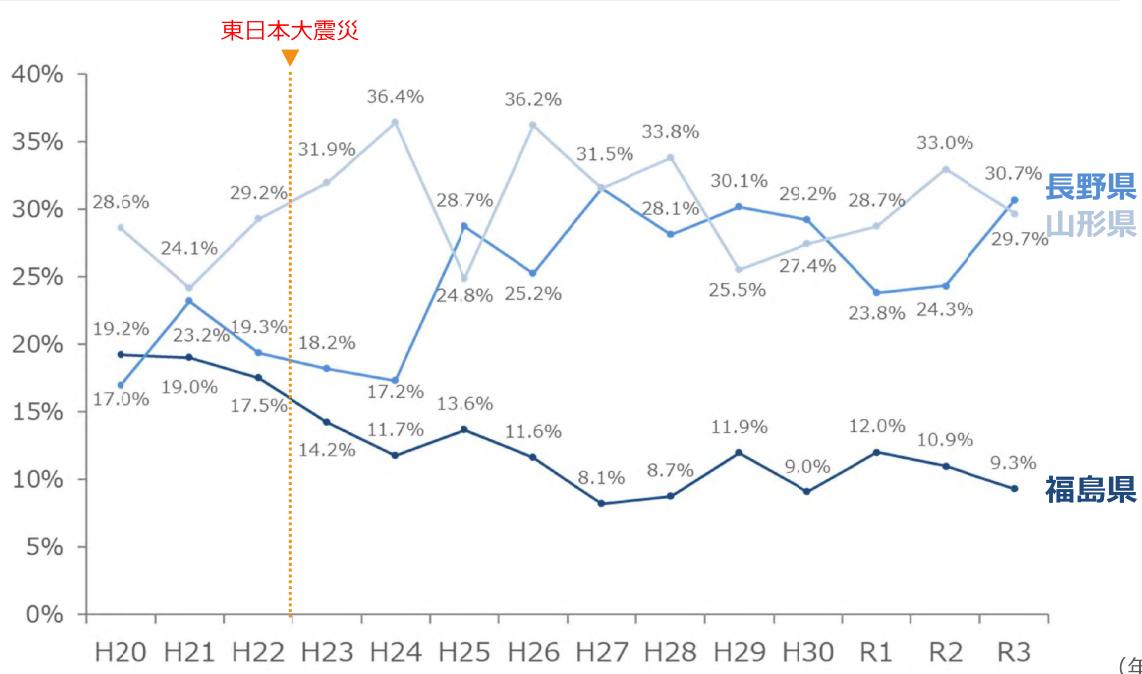
※総量・合計の単位はトン(札幌のみキログラム)。

505

東京都中央卸売市場における福島県産なめこのシェアの推移

東京都中央卸売市場の11月の福島県産なめこは、平成27年までシェアが減少傾向にあったが、近年は10%前後を推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(11月)



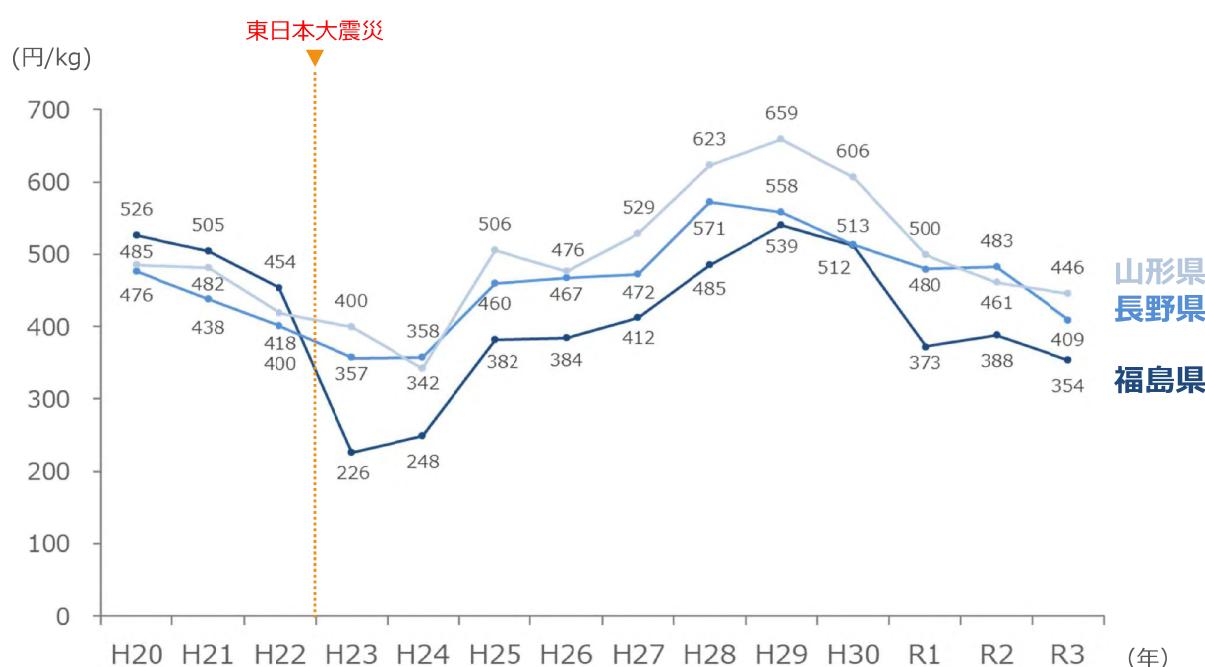
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

506

東京都中央卸売市場における福島県産なめこの単価の推移

東京都中央卸売市場の11月の福島県産なめこの平均単価は、震災後大きく下落し、山形県産や長野県産を下回った。平成30年にかけて単価は上昇したものの、平成30年以降は減少傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(11月)



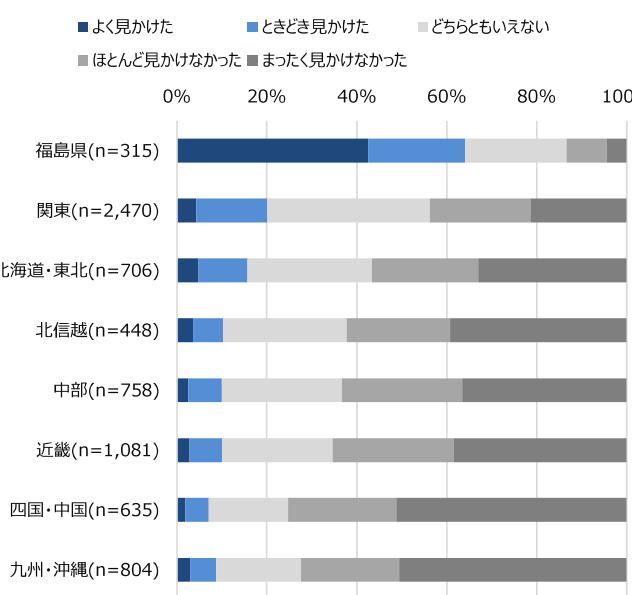
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

507

福島県産なめこを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

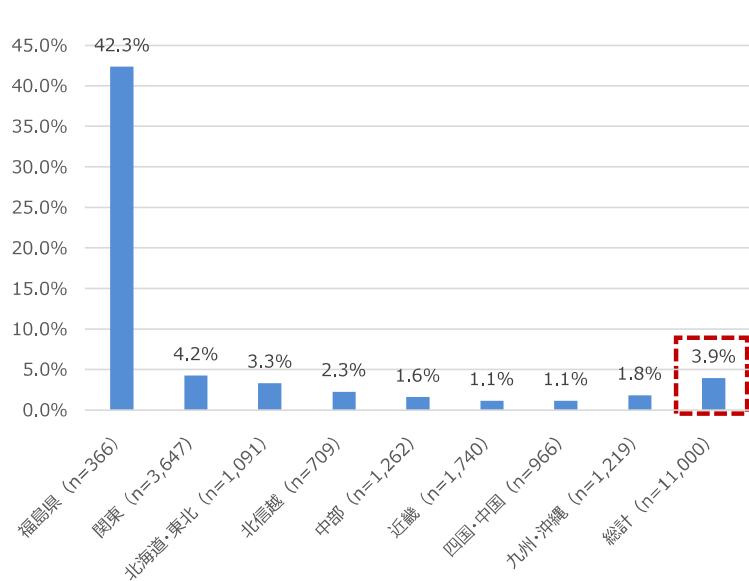
福島県産なめこをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産なめこを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.9%であった。

福島県産なめこを店頭で見たか



※過去1~2年に、店頭で福島県産なめこを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産なめこの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、产地を認識せずに買っていれば購買経験なしとなる。

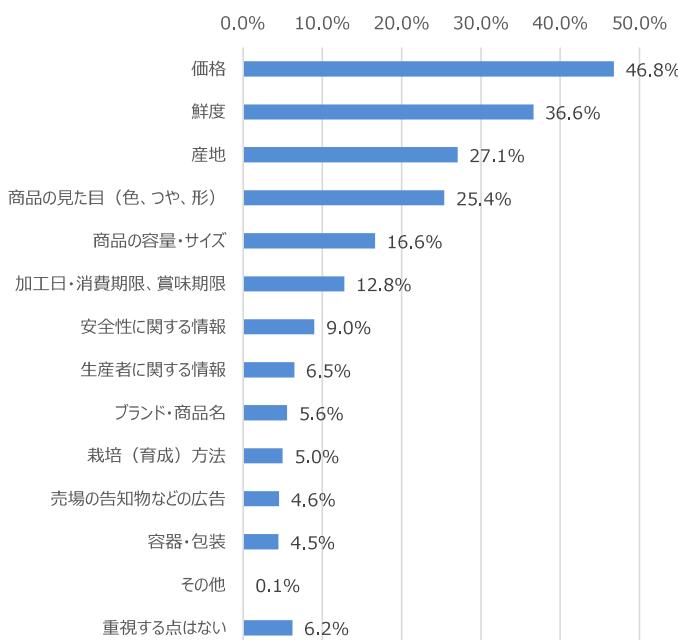
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

508

なめこ購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

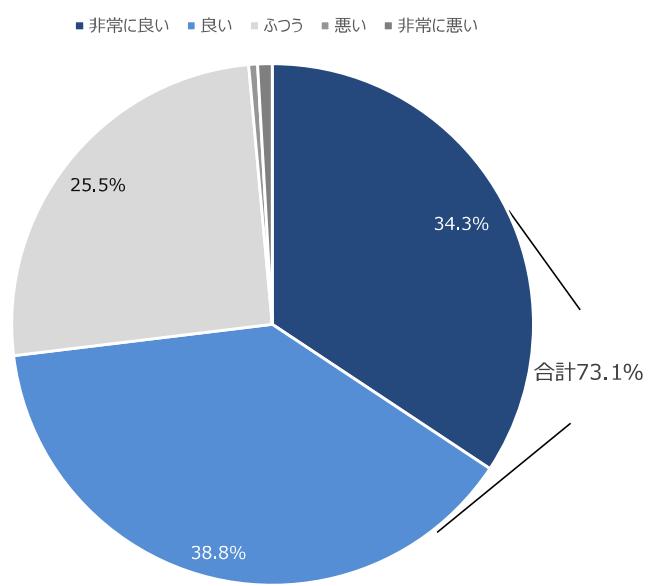
福島県産に限らず、なめこ購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産なめこの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が73.1%であった。

なめこ購買時の重視点 (n=5,883、複数回答)



※なめこ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上なめこを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産なめこ購買者の評価 (n=437)



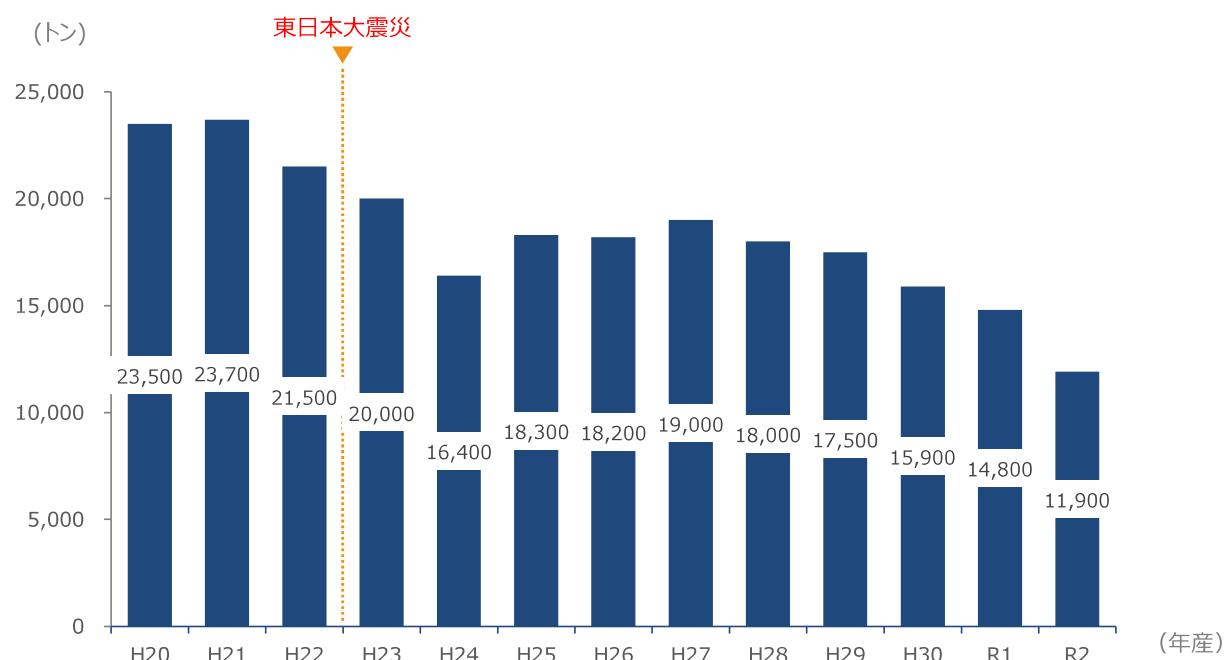
※福島県産なめこを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

509

福島県産日本梨の出荷量の推移

福島県産日本梨の出荷量は、平成22年産から平成24年産にかけて大きく減少し、平成27年産まで増加していたが、それ以降減少傾向であり、令和2年産は11,900トンであった。

福島県産日本梨の出荷量の推移



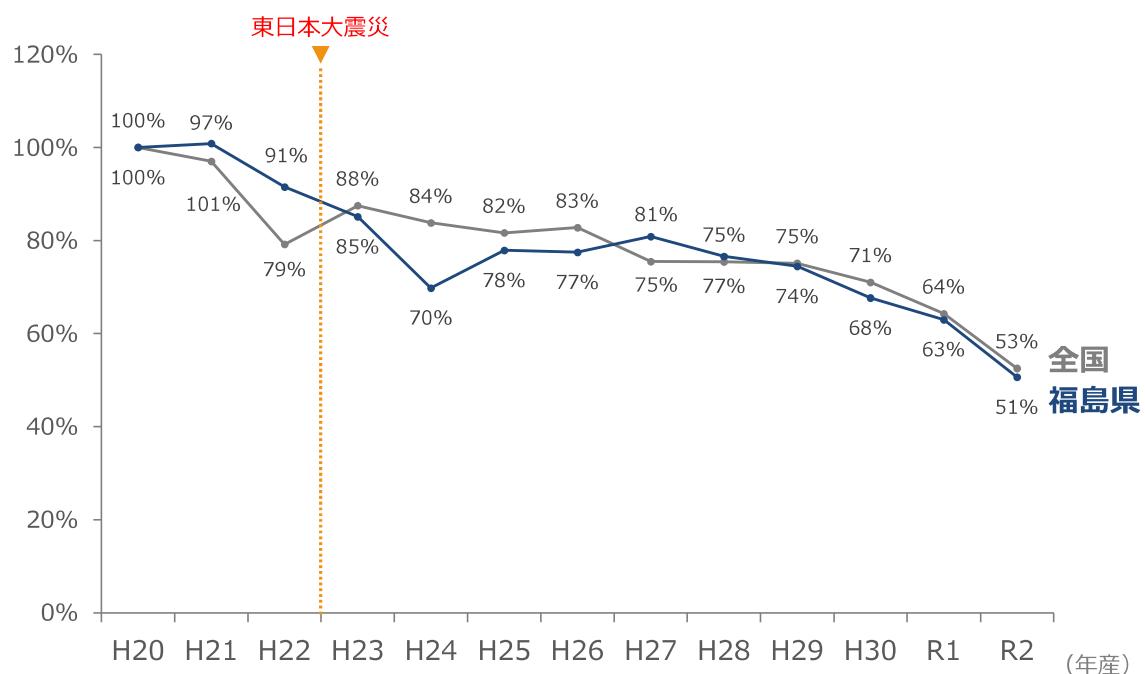
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

510

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移

全国の日本梨の出荷量については、平成24年産以降減少傾向にある。福島県産日本梨も震災前から減少しており、令和2年産の出荷量は、平成20年産の約51%であった。

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



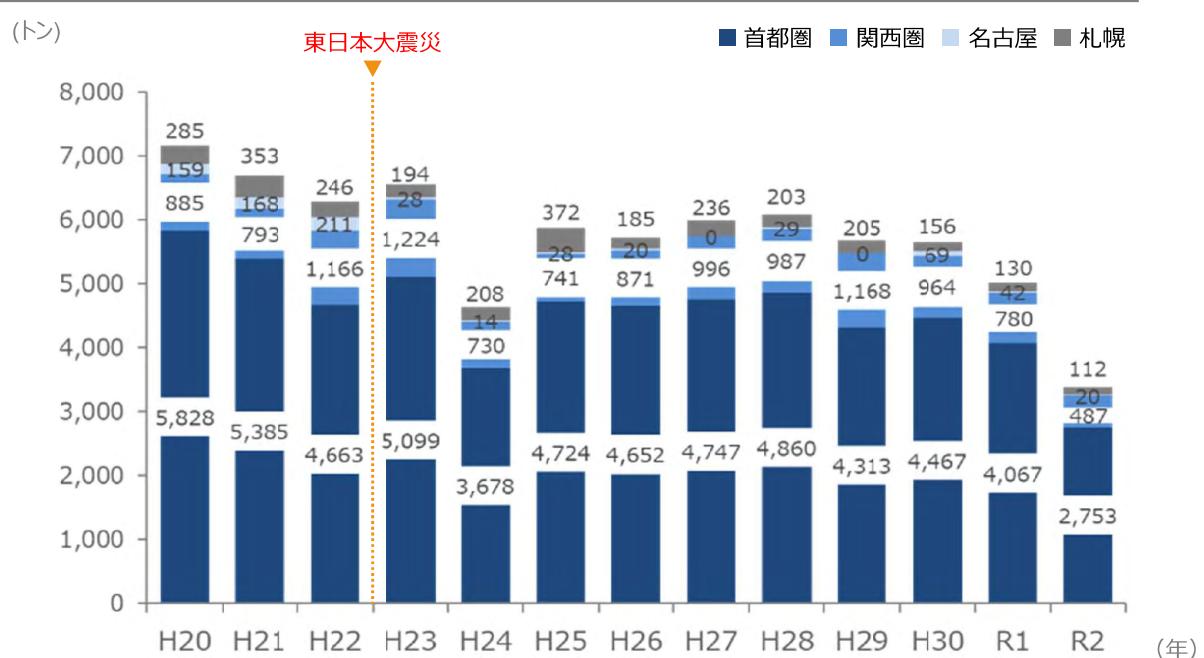
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

511

各市場における福島県産梨の取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産梨の取扱量は、震災前から継続して首都圏での取扱いが最も多い。また、震災後の取扱量は、平成24年以外は震災前に近い水準を推移していたが、令和2年は大幅に減少した。

各市場における福島県産梨の取扱量の推移



数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ

512

各市場における梨の産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場においては、9月から10月にかけて福島県産梨のシェアは2位であった。横浜市中央卸売市場においては10月にシェアが1位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	52%	81%	93%	81%	2%	0%	0%	8%	23%	24%	5%	34%	2,437
栃木	39%	0%	0%	0%	73%	13%	3%	23%	27%	29%	13%	15%	3,731
千葉	1%	0%	0%	0%	0%	15%	26%	13%	3%	3%	1%	1%	2,545
茨城	6%	0%	0%	0%	0%	14%	23%	15%	2%	2%	1%	1%	2,460
新潟	0%	0%	0%	0%	26%	0%	0%	3%	5%	16%	52%	7%	979
総量	47	6	6	1	8	21	654	6,103	5,847	2,186	265	79	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	100%	-	-	-	-	0%	0%	10%	24%	26%	10%	0%	316
茨城	0%	-	-	-	-	0%	43%	57%	36%	12%	0%	0%	727
栃木	0%	-	-	-	-	0%	0%	10%	12%	14%	2%	0%	192
秋田	0%	-	-	-	-	0%	0%	0%	11%	25%	31%	0%	149
千葉	0%	-	-	-	-	0%	0%	12%	5%	0%	0%	0%	116
総量	5	0	0	0	0	0	89	681	752	242	24	14	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

513

各市場における梨の産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場においては、10月に福島県産梨のシェアは2位であった。京都市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産梨の取扱いは見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	62%	-	0%	-	0%	0%	0%	5%	18%	21%	3%	0%	487
徳島	0%	-	0%	-	0%	0%	24%	46%	6%	1%	0%	0%	903
鳥取	0%	-	0%	-	0%	0%	0%	17%	29%	1%	12%	0%	756
長野	0%	-	0%	-	0%	0%	0%	4%	19%	20%	35%	1%	487
新潟	0%	-	0%	-	100%	0%	0%	4%	7%	23%	1%	0%	298
総量	15	0	0	0	0	1	126	1,661	1,601	462	55	18	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	-	-	-	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	0%	0%	-	-	-	0%	0%	16%	37%	13%	0%	0%	180
徳島	0%	0%	-	-	-	0%	30%	48%	2%	0%	0%	0%	172
鳥取	100%	100%	-	-	-	0%	0%	17%	22%	5%	56%	78%	158
富山	0%	0%	-	-	-	0%	0%	11%	16%	33%	0%	0%	111
京都	0%	0%	-	-	-	0%	0%	2%	14%	39%	44%	22%	91
総量	6	2	0	0	0	0	10	333	311	74	25	10	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

514

各市場における梨の産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では福島県産梨の取扱いはほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、8月～9月に主力産地の一つとなっており、取扱量は少ないものの12月～2月のシェアは高かった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	-	-	-	-	0%	0%	0%	1%	0%	1%	33%	20
長野	0%	-	-	-	-	0%	0%	46%	63%	54%	8%	0%	1,456
佐賀	0%	-	-	-	-	0%	87%	23%	0%	0%	0%	0%	423
新潟	0%	-	-	-	-	0%	0%	10%	12%	26%	28%	3%	370
愛知	0%	-	-	-	-	0%	11%	16%	10%	3%	20%	57%	344
秋田	0%	-	-	-	-	0%	0%	0%	6%	14%	12%	0%	131
総量	1	0	0	0	0	0	173	1,197	1,094	399	61	9	

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	77%	96%	-	-	-	0%	0%	11%	18%	2%	0%	93%	112
新潟	0%	0%	-	-	-	0%	0%	64%	62%	82%	89%	0%	494
茨城	3%	4%	-	-	-	0%	30%	14%	11%	3%	2%	0%	76
長野	0%	0%	--	--	--	0%	0%	1%	4%	5%	0%	0%	22
栃木	0%	0%	-	-	-	0%	0%	2%	3%	1%	0%	0%	15
総量	18	7	0	0	0	0	8	258	249	179	31	16	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

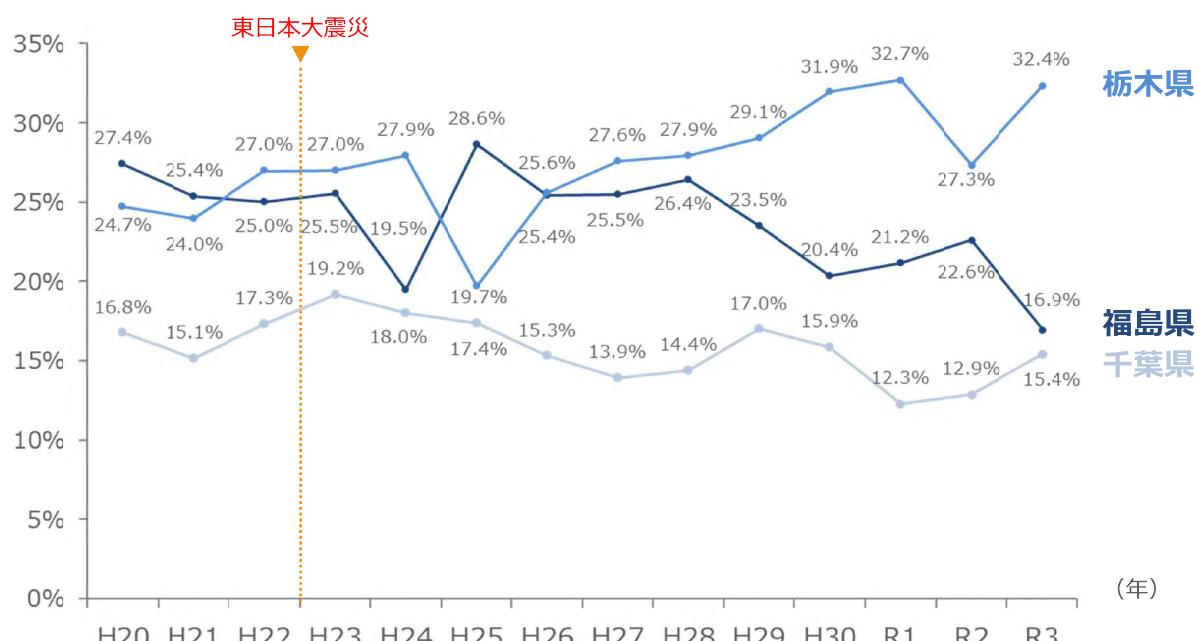
データ出所：各卸売市場の統計データ

515

東京都中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産梨のシェアは、平成25年に震災前を上回るシェアとなったものの、その後は減少傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)



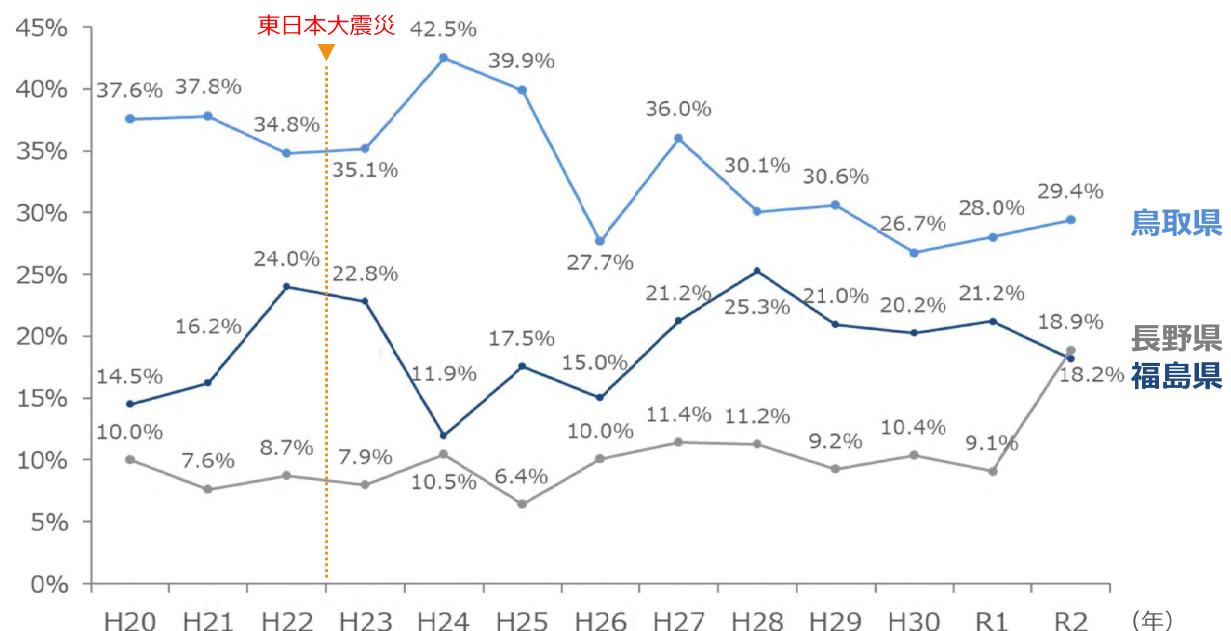
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

516

大阪市中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

大阪市中央卸売市場の9月の福島県産梨は、平成24年にシェアが大きく下落したが、以降は回復傾向にあり、震災前の水準を維持していたが、令和2年は減少している。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)



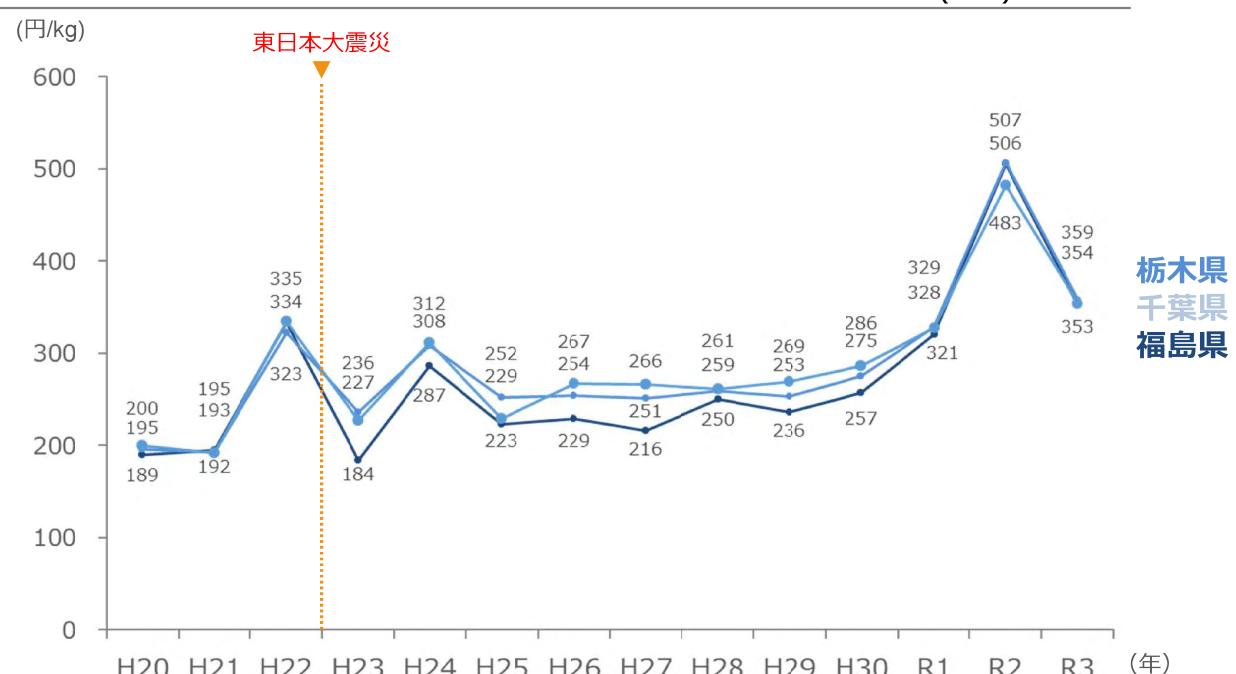
データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

517

東京都中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

東京都中央卸売市場の9月の福島県産梨の平均単価は、千葉県産や栃木県産よりも低い水準で推移していたものの、令和元年以降はほぼ同水準となっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)



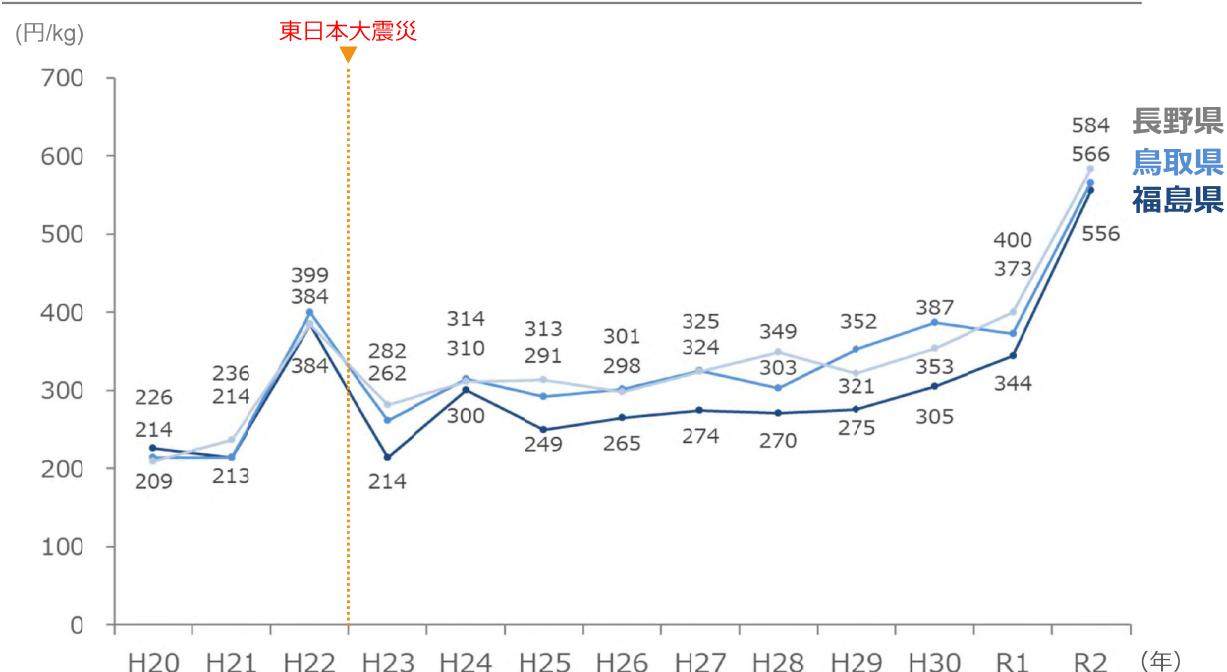
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

518

大阪市中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

大阪市中央卸売市場の9月の福島県産梨の平均単価は、震災後、鳥取県産や長野県産との差が拡大していたが、令和2年はその差が縮小した。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)



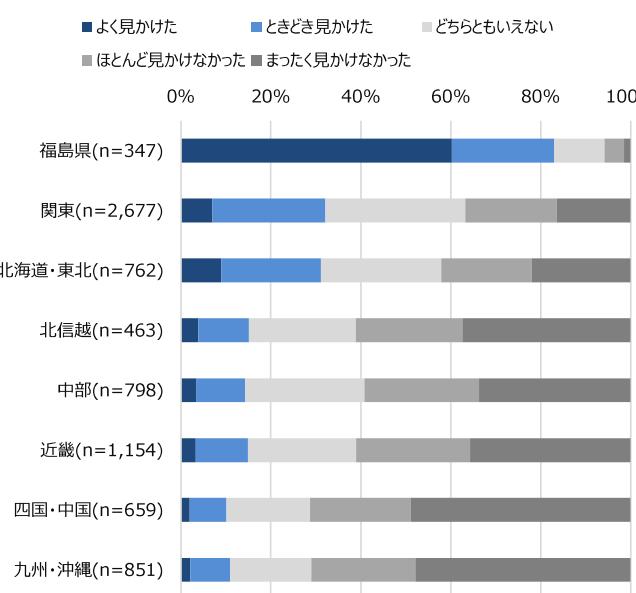
データ出所：大阪市中央卸売市場からの提供データ

519

福島県産梨を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

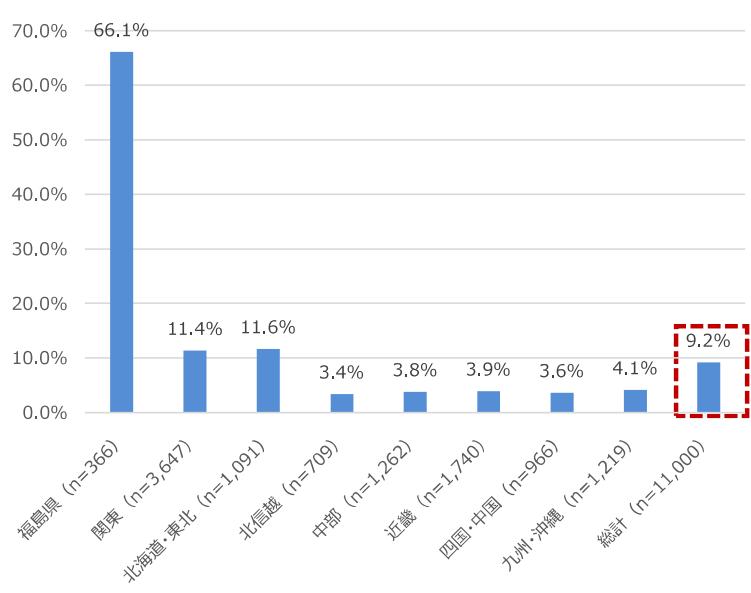
福島県産梨をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産梨を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では9.2%であった。

福島県産梨を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産梨を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産梨の購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、产地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

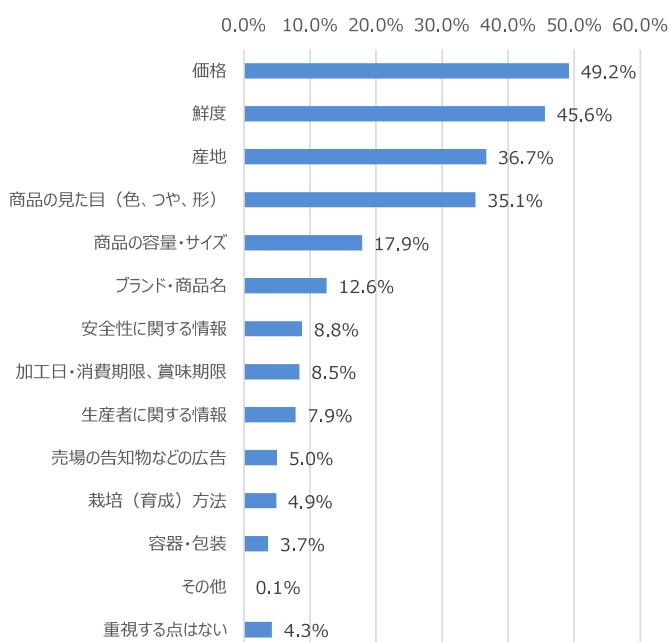
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

520

梨購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

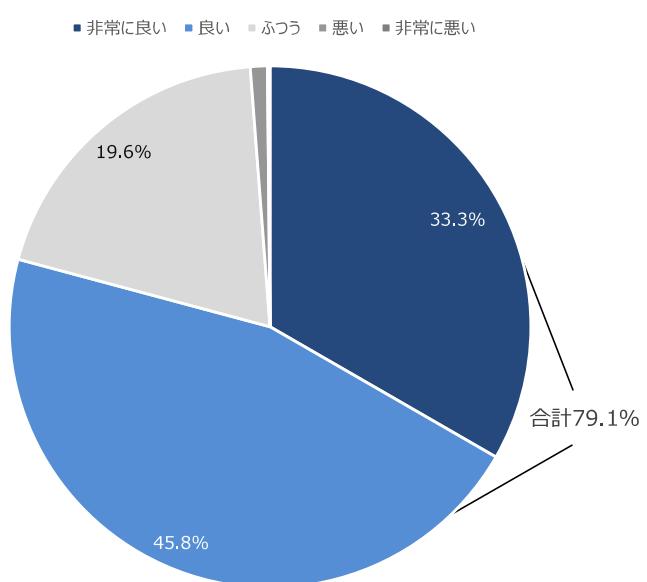
福島県産に限らず、梨購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産梨の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が79.1%であった。

梨購買時の重視点（n=5,854、複数回答）



※梨購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上梨を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産梨購買者の評価（n=1,020）



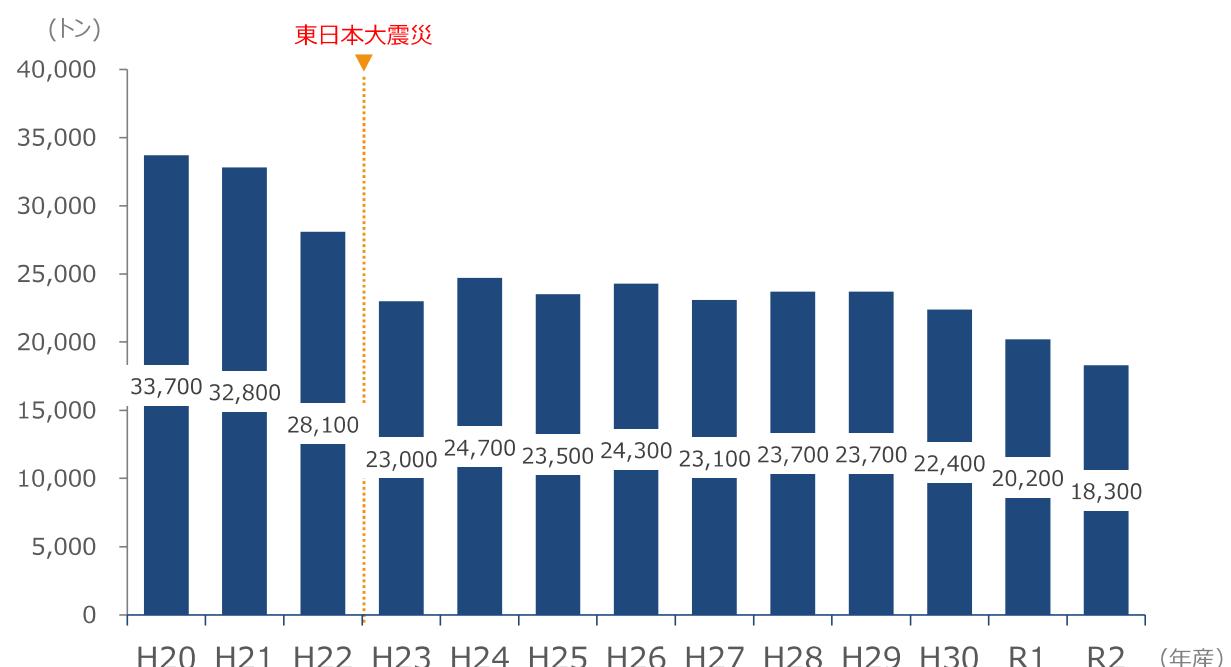
※福島県産梨を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

521

福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後の平成23年産に減少し、その後はおおむね横ばいで推移していたが、平成30年産以降は減少傾向にある。

福島県産りんごの出荷量の推移



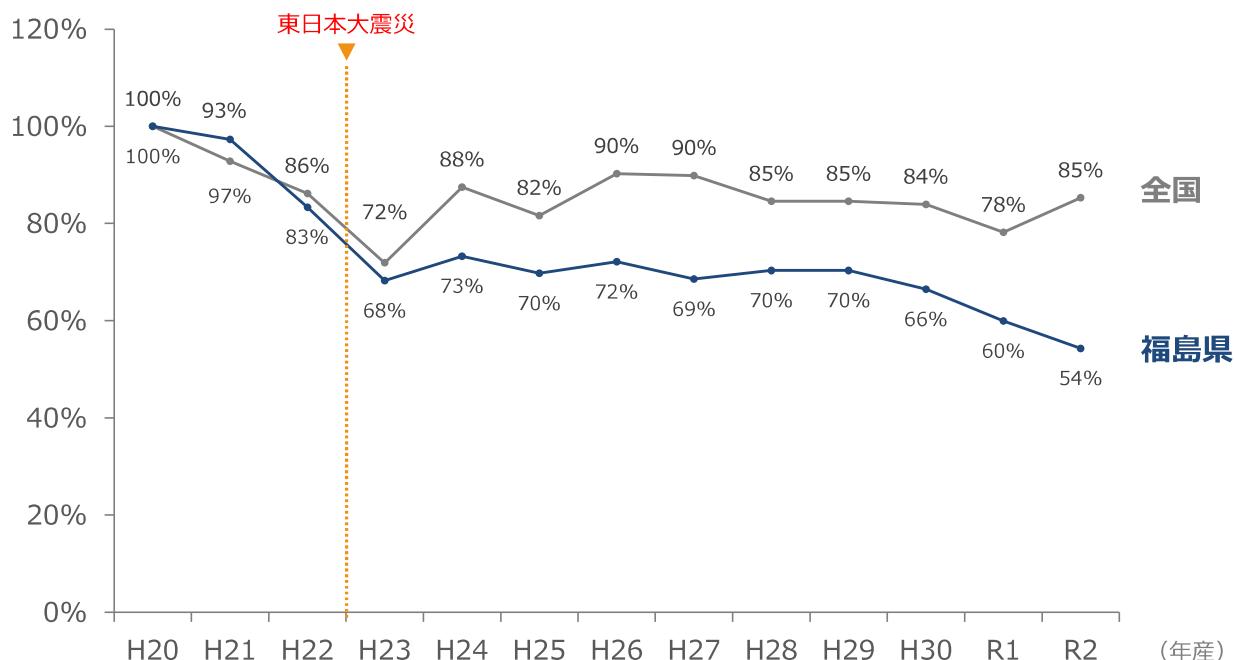
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

522

全国・福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後の平成23年産まで、全国のりんごと同様に減少していた。全国の出荷量が平成24年産以降横ばいで推移する一方で、福島県産りんごは平成30年以降減少傾向にある。

全国・福島県産りんごの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



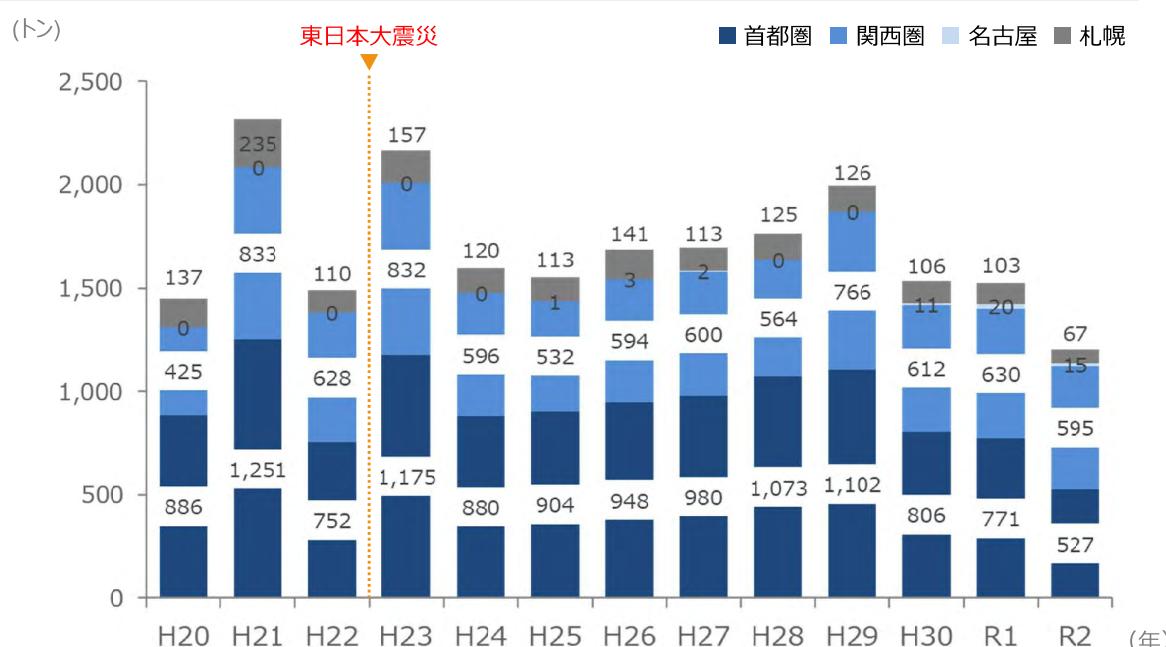
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

523

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産りんごは、主に首都圏、関西圏で取り扱われているが、首都圏の取扱量は、平成30年以降減少傾向にあり、令和2年は関西圏の取扱量を下回った。

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

524

各市場におけるりんごの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、8月～12月に福島県産りんごのシェアが全体の1%から3%程度を占めていた。横浜市中央卸売市場では、10月から12月にかけて僅かながら取扱いが見られた。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	3%	1%	499
青森	87%	96%	98%	98%	98%	96%	94%	38%	70%	56%	48%	64%	43,388
長野	2%	1%	1%	0%	0%	0%	1%	42%	12%	22%	20%	8%	5,824
山形	2%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	13%	9%	14%	19%	12%	4,528
岩手	5%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	8%	5%	9%	11%	2,566
秋田	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	3%	639
総量	4,819	5,828	6,069	4,549	2,967	1,972	1,316	2,023	4,806	8,629	8,125	6,624	

横浜市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

525

各市場におけるりんごの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、11月に福島県産りんごが市場シェア3位であった。京都市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産りんごの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	8%	5%	595
青森	89%	99%	100%	100%	97%	97%	95%	54%	74%	59%	53%	66%	25,185
長野	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	38%	17%	26%	24%	14%	3,564
岩手	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	7%	10%	8%	9%	1,436
秋田	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	3%	4%	583
総量	2,729	2,876	2,931	2,635	1,955	1,533	1,159	1,141	2,535	4,375	3,946	4,090	

京都市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

526

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるりんごの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産りんごの取扱いがほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、7,8,12月に福島県産りんごが市場シェア3位以内であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	15
青森	94%	96%	100%	100%	99%	100%	99%	16%	55%	43%	33%	48%	9,984
長野	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	84%	42%	53%	62%	41%	3,924
岩手	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	4%	9%	347
秋田	2%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	120
総量	1,466	1,494	1,572	1,164	738	338	267	450	1,337	2,180	1,867	1,525	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	0%	0%	2%	9%	67
青森	82%	84%	94%	98%	94%	90%	97%	88%	48%	31%	31%	58%	3,613
北海道	16%	12%	6%	0%	0%	0%	0%	6%	50%	68%	60%	24%	1,439
秋田	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	4%	64
ニュージーランド	0%	0%	0%	2%	6%	10%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	64
総量	415	563	556	458	397	254	148	177	458	834	588	469	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

527

東京都中央卸売市場における福島県産りんごのシェアの推移

東京都中央卸売市場の11月の福島県産りんごは、平成23年度以降5%程度のシェアを維持していたが、近年減少傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(11月)



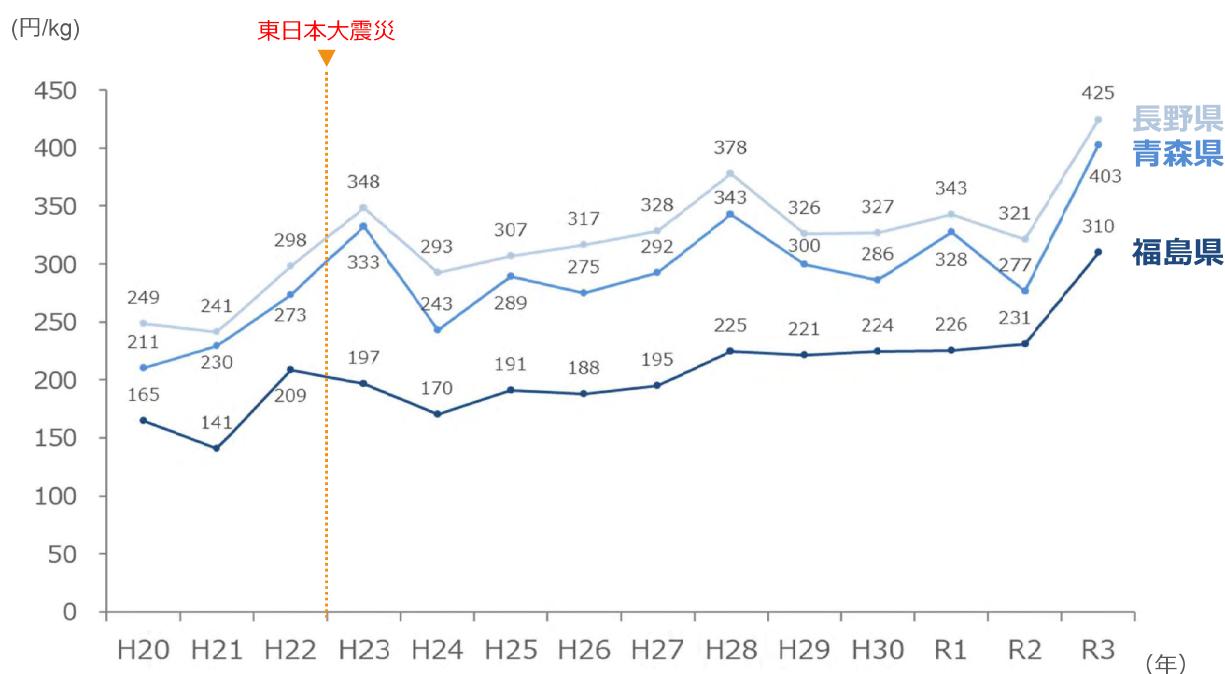
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

528

東京都中央卸売市場における福島県産りんごの単価の推移

東京都中央卸売市場の11月の福島県産りんごの平均単価は、平成25年から上昇傾向で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(11月)



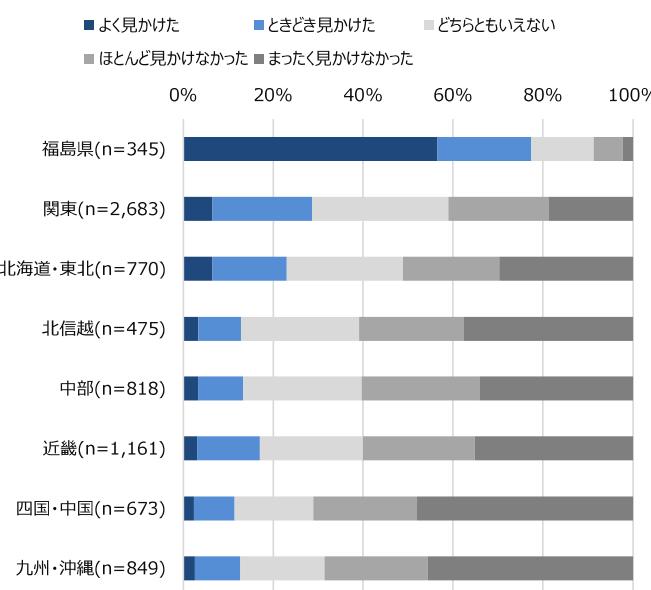
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

529

福島県産りんごを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

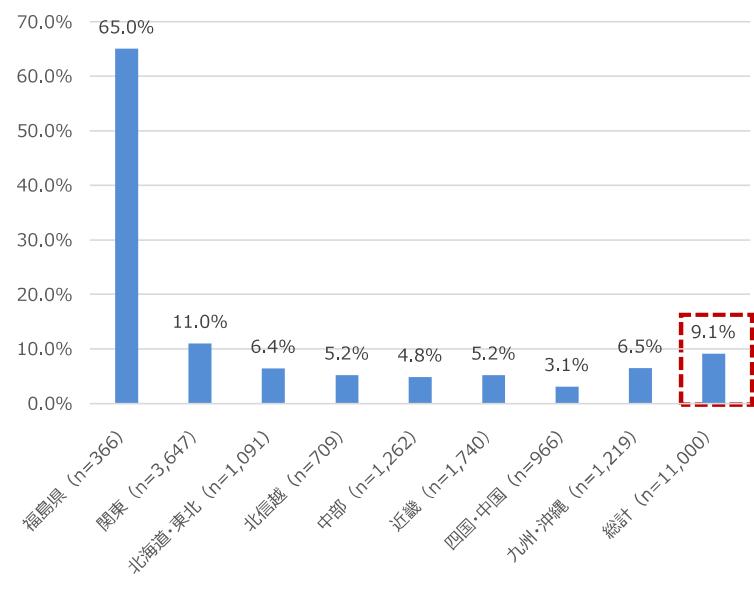
福島県産りんごをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産りんごを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では9.1%であった。

福島県産りんごを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産りんごを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産りんごの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、产地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

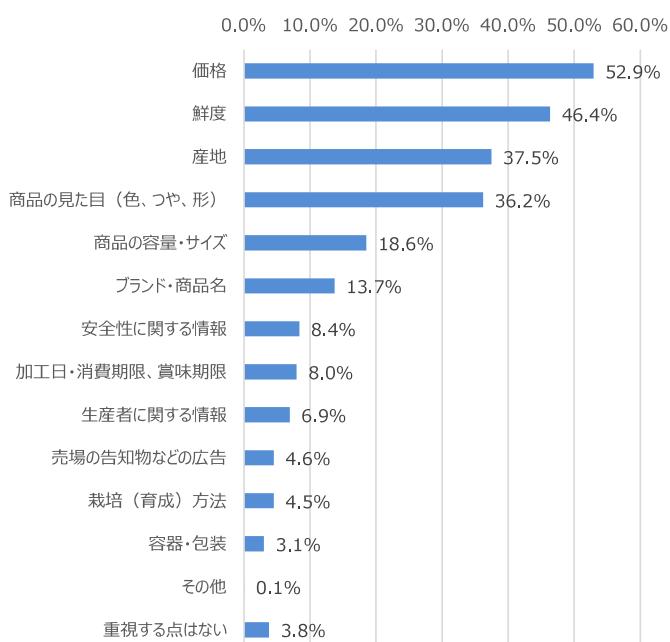
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

530

りんご購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

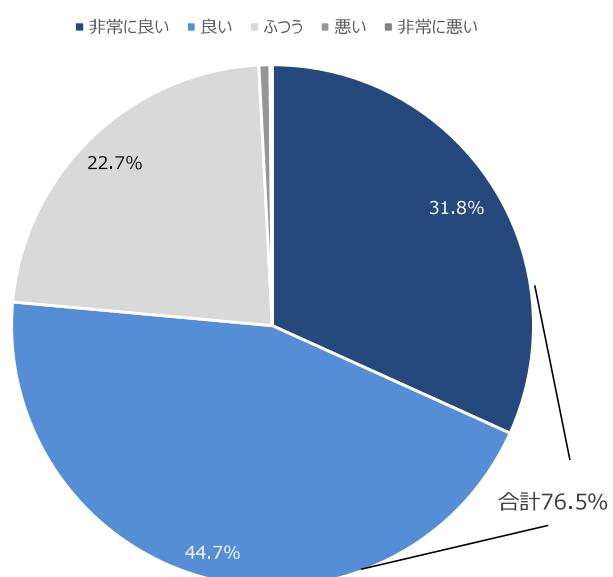
福島県産に限らず、りんご購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産りんごの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が76.5%であった。

りんご購買時の重視点 (n=8,878、複数回答)



※りんご購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上りんごを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産りんご購買者の評価 (n=1,021)



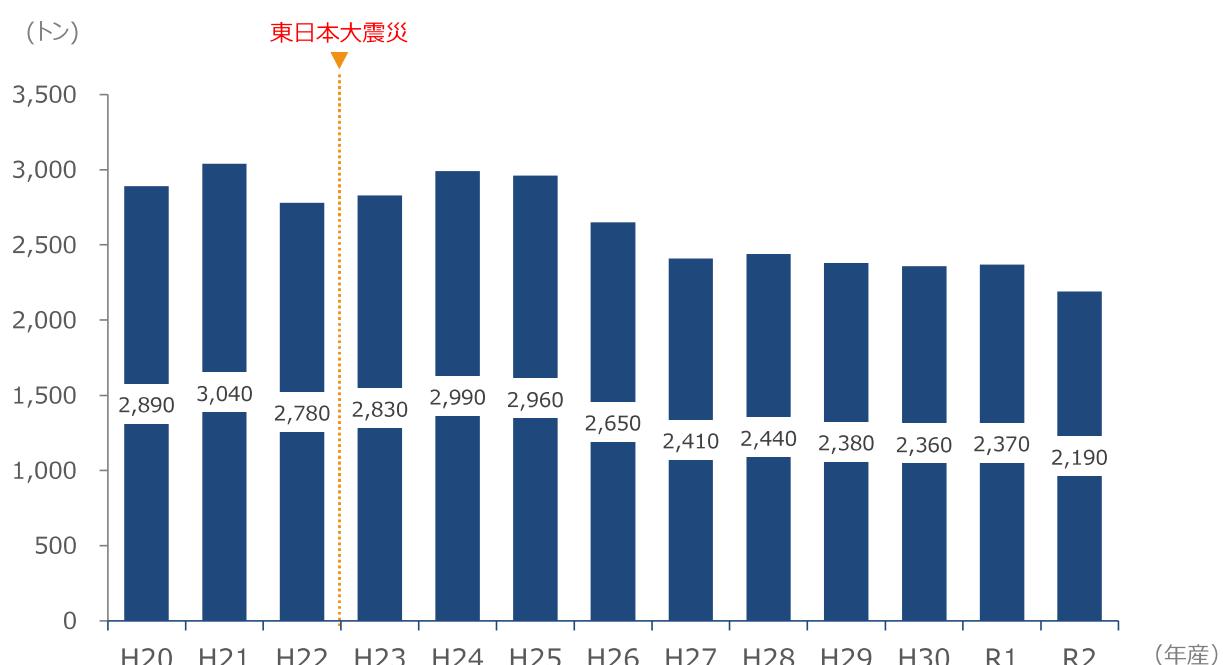
※福島県産りんごを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

531

福島県産ぶどうの出荷量の推移

福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産から平成27年産にかけて減少した後、近年はおおむね横ばいで推移していたが、令和2年は前年比約8%減少した。

福島県産ぶどうの出荷量の推移



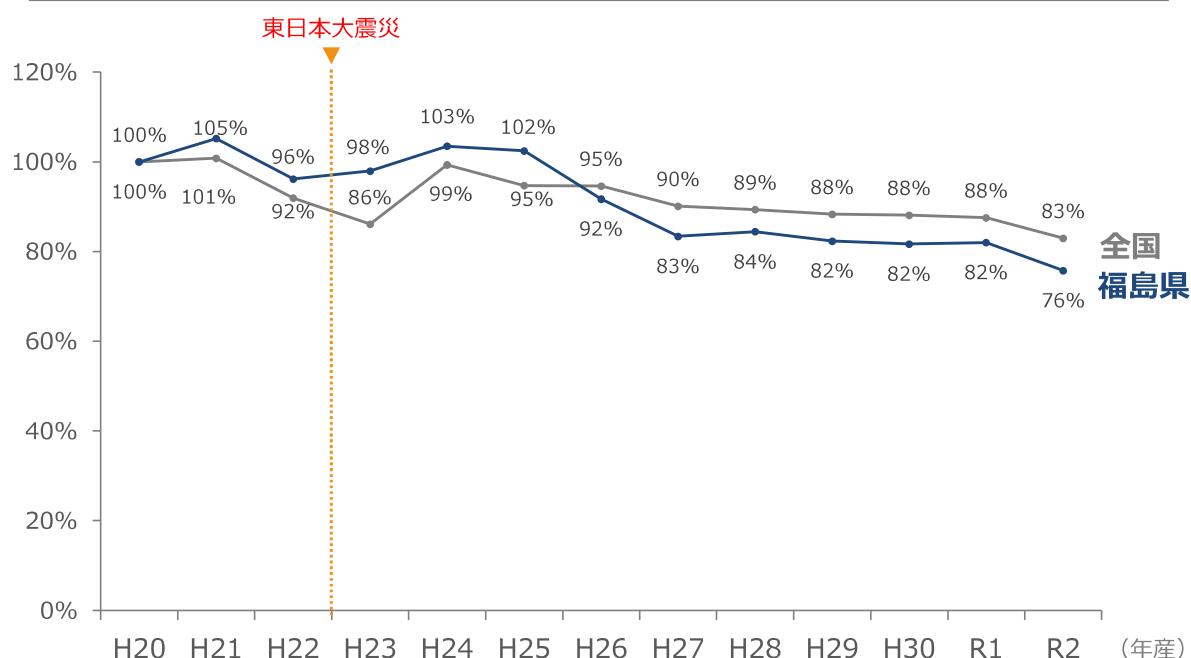
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

532

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移

全国のぶどうの出荷量は、平成24年に増加した以降は減少傾向にある。福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産・平成27年産に大幅に減少した後、横ばいで推移していたが、令和2年産は減少し、平成20年の約76%となっている。

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



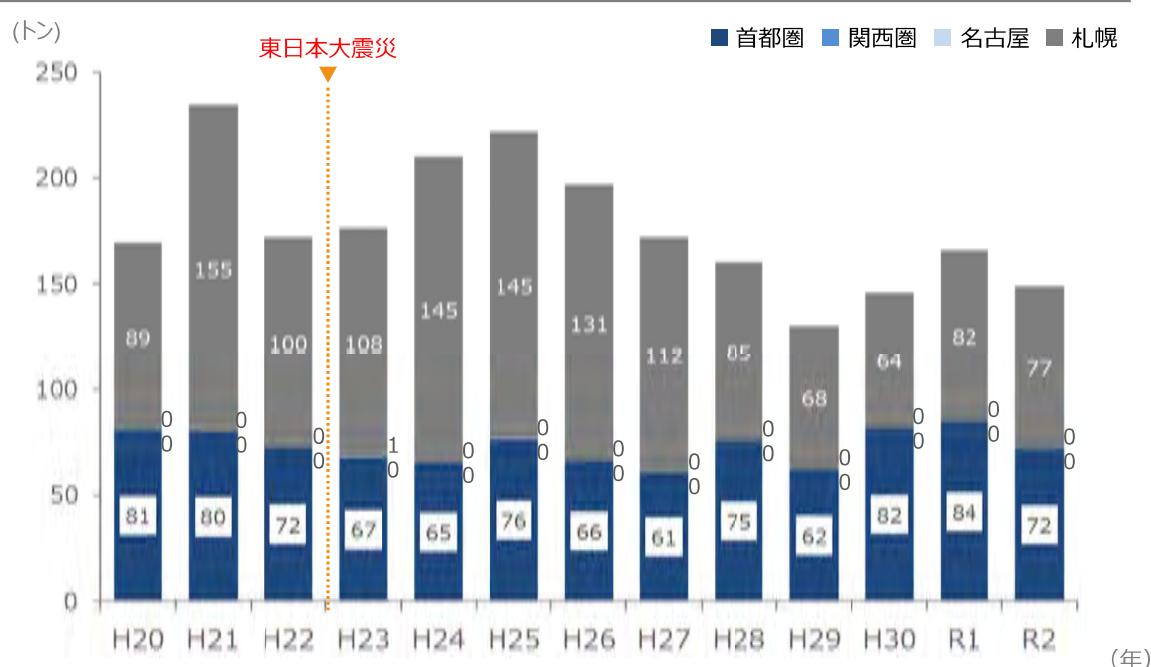
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

533

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産ぶどうは、首都圏や札幌に多く出荷されており、関西圏、名古屋においては平成23年を除き、取り扱っていない。

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

534

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産ぶどうの取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	1%	66
山梨	1%	0%	0%	1%	12%	13%	24%	62%	51%	22%	5%	3%	4,956
長野	36%	1%	0%	0%	3%	3%	6%	9%	31%	55%	59%	55%	3,746
山形	3%	0%	0%	0%	0%	5%	45%	21%	8%	7%	6%	6%	1,755
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	5%	8%	6%	8%	10%	4%	2%	926
チリ	9%	60%	86%	79%	45%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	565
総量	107	93	195	210	233	546	1,158	2,873	4,302	2,579	707	382	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	6
山梨	0%	0%	0%	0%	8%	20%	32%	62%	54%	29%	2%	0%	623
長野	14%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	5%	24%	40%	36%	29%	287
山形	1%	0%	0%	0%	0%	7%	45%	24%	9%	6%	0%	4%	220
他外国	9%	71%	89%	81%	71%	9%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	134
アメリカ	27%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	6%	12%	42%	42%	132
総量	12	18	44	49	48	60	165	351	475	261	94	46	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

535

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産ぶどうの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
アメリカ	89%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	72%	93%	98%	100%	100%	977
チリ	8%	99%	97%	78%	75%	55%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	623
オーストラリア	0%	0%	2%	20%	25%	36%	13%	1%	0%	0%	0%	0%	159
メキシコ	0%	0%	0%	0%	0%	8%	78%	19%	2%	0%	0%	0%	89
山梨	2%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	4%	1%	0%	0%	0%	8
総量	65	54	172	189	221	144	75	81	120	213	316	225	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	1%	9%	41%	32%	15%	0%	0%	127
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	7%	45%	46%	6%	12%	113
米国	69%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	13%	36%	83%	83%	92
福岡	0%	0%	0%	0%	3%	27%	21%	22%	7%	0%	0%	0%	80
チリ	24%	85%	66%	65%	52%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	77
総量	10	11	27	36	39	57	88	155	140	65	23	19	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

536

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産ぶどうの取扱いが見られなかった。
札幌市中央卸売市場では、9月～11月の間、福島県産ぶどうのシェアは3位以内であつた。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	-	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	73%	100%	-	0%	3%	2%	6%	10%	64%	92%	92%	86%	1,058
山梨	0%	0%	-	0%	5%	6%	16%	43%	30%	8%	0%	1%	541
山形	0%	0%	-	0%	0%	0%	43%	34%	4%	0%	0%	0%	325
島根	0%	0%	-	100%	77%	56%	13%	1%	0%	0%	0%	0%	171
愛知	0%	0%	-	0%	3%	11%	12%	11%	2%	0%	0%	1%	124
総量	10	0	0	1	41	181	250	560	719	421	72	67	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	11%	9%	9%	11%	77
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	29%	46%	69%	56%	7%	401
チリ	25%	81%	95%	100%	93%	41%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	271
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	7%	14%	34%	18%	9%	0%	0%	134
アメリカ	35%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	4%	20%	42%	84
総量	31	57	61	88	61	33	52	175	240	236	128	65	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

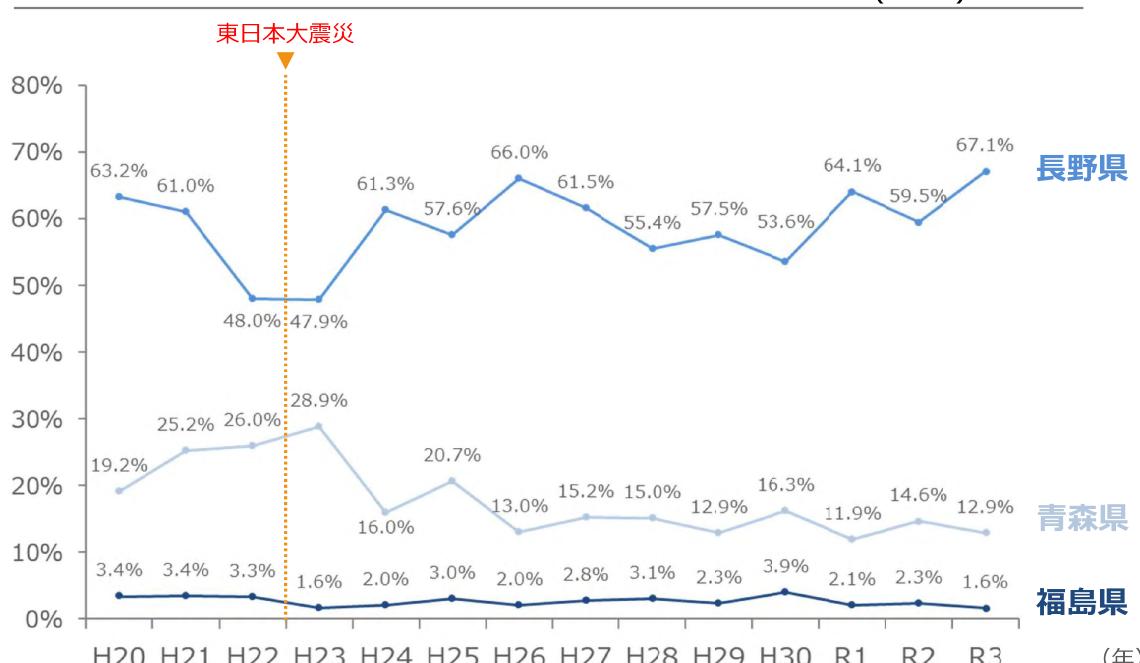
※総量・合計の単位はトン。

537

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうのシェアの推移

東京都中央卸売市場の11月の福島県産ぶどうは、震災以降、シェアが微減したが、その後横ばいで推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(11月)



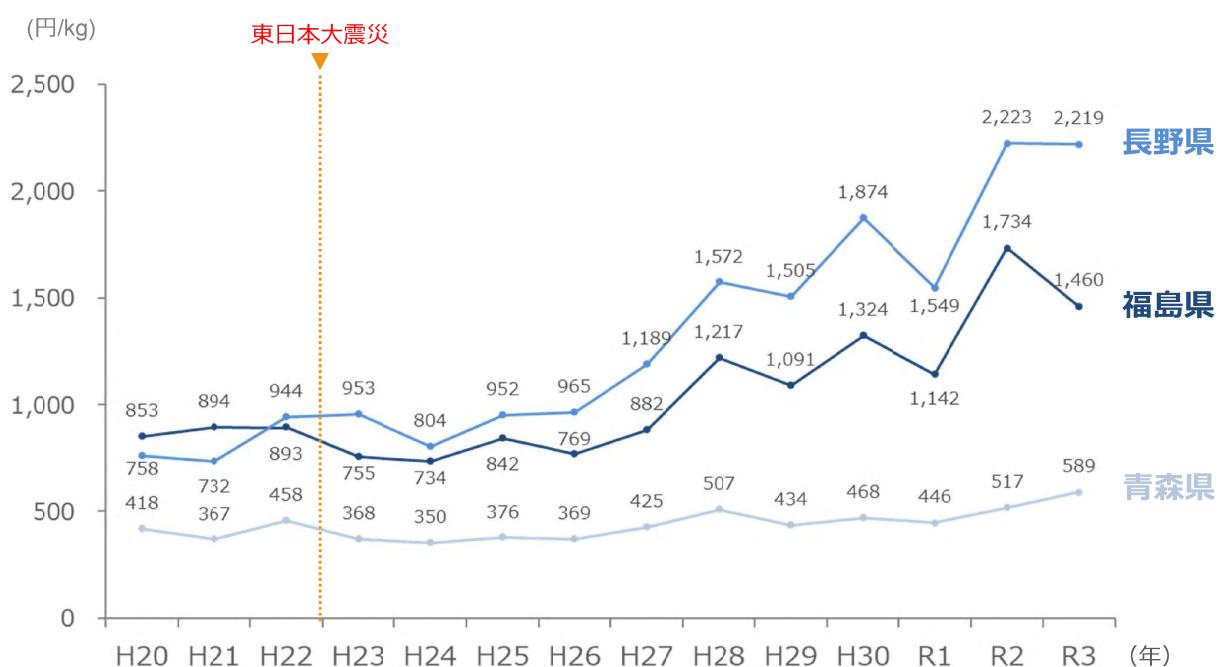
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

538

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうの単価の推移

東京都中央卸売市場の11月の福島県産ぶどうの平均単価は、震災後の数年間は震災前よりも安かったものの、平成28年以降は震災前より高くなっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(11月)



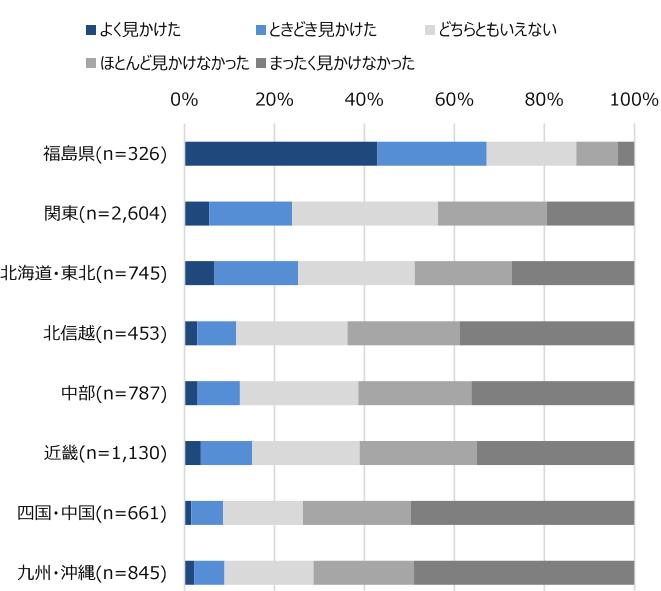
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

539

福島県産ぶどうを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産ぶどうをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ぶどうを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.8%であった。

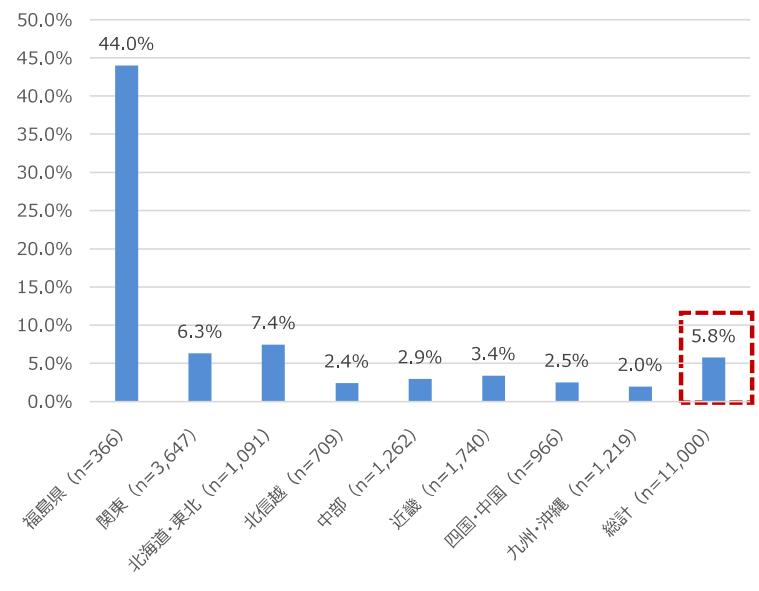
福島県産ぶどうを店頭で見たか



※過去1ヶ月間に、店頭で福島県産ぶどうを見たことがあります。

※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ぶどうの購買経験率



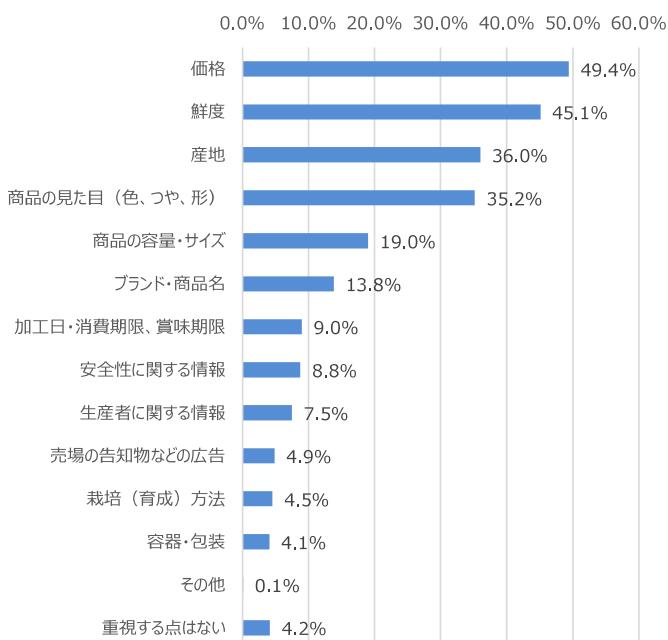
※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数

※記憶に関する質問であるため、产地を認識せずに買っていれば購買経験なしとなる。

ぶどう購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

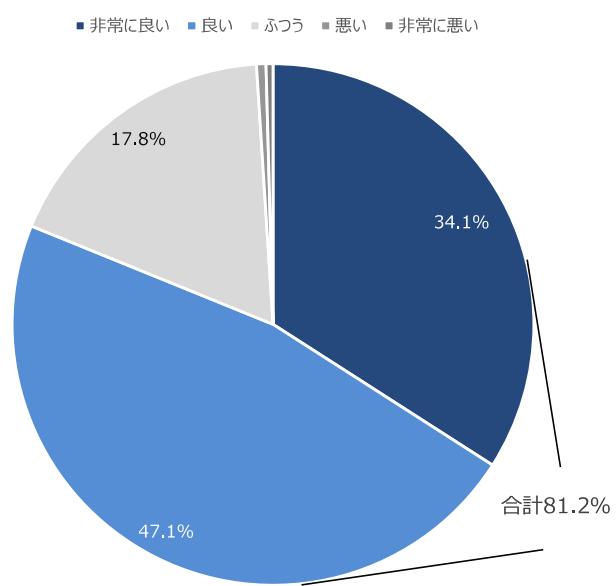
福島県産に限らず、ぶどう購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産ぶどうの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.2%であった。

ぶどう購買時の重視点（n=5,970、複数回答）



※ぶどう購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上ぶどうを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ぶどう購買者の評価（n=627）



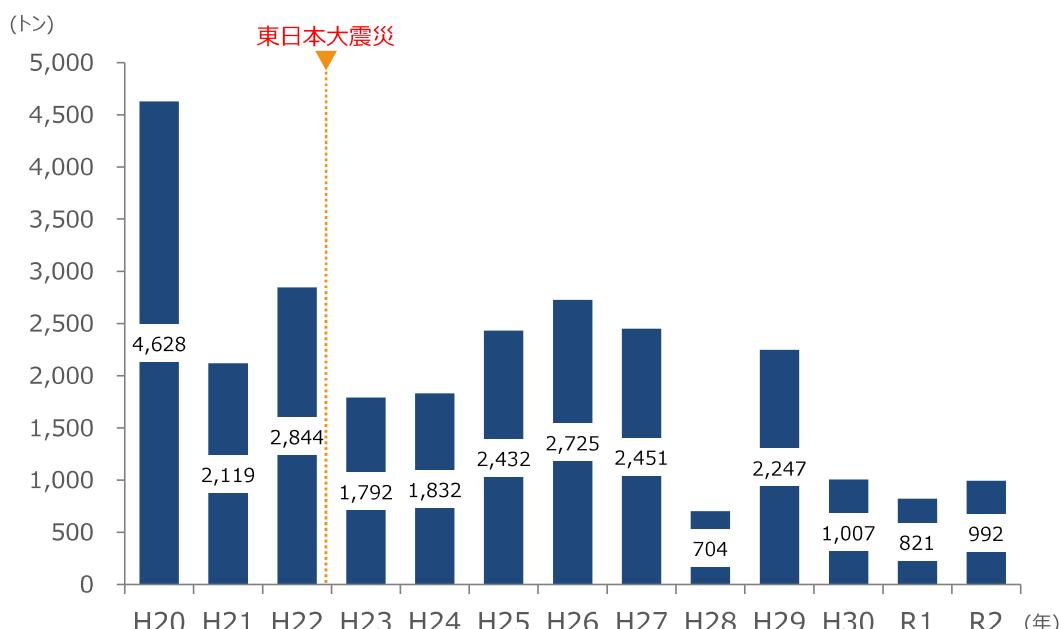
※福島県産ぶどうを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。

541

福島県におけるカツオ漁獲量の推移

福島県内の漁協に所属する船によるカツオの漁獲量は、平成28年に一時的に大きく減少した後、平成29年には大きく回復したが、平成30年以降は1,000トン前後を推移している。

福島県におけるカツオ漁獲量の推移



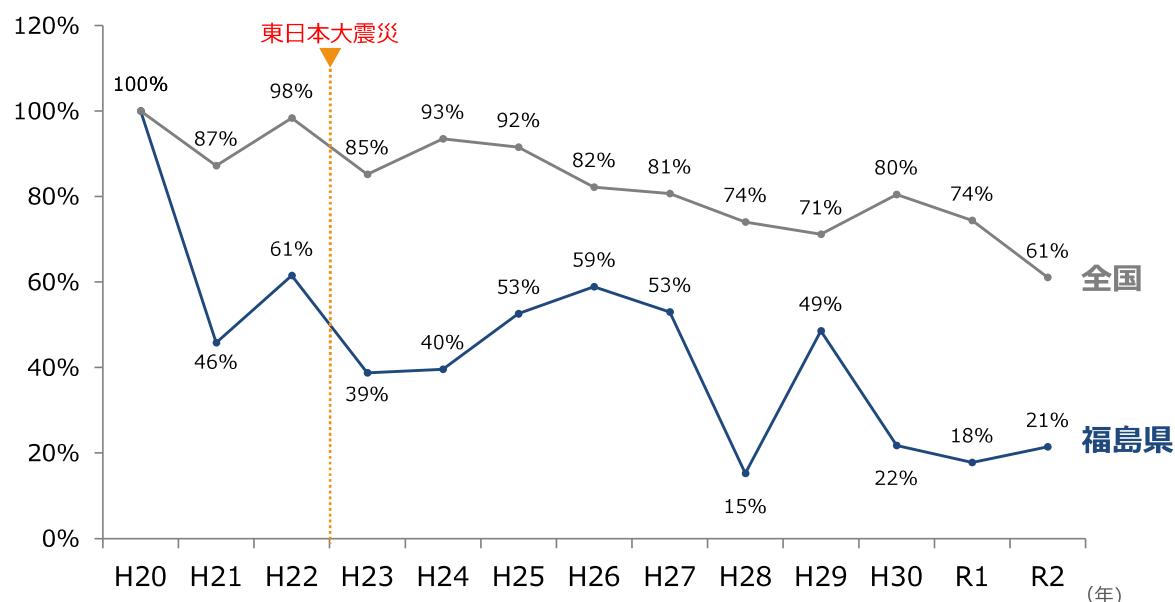
数値は属人(福島県内の漁協に所属する船による)の漁獲量
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

542

全国と福島県におけるカツオ漁獲量の推移

全国のカツオの漁獲量は、平成30年を除き、平成24年以降減少傾向にあるが、福島県内の漁協に所属する船による漁獲量は、全国よりも減少幅が大きく、平成30年以降は平成20年と比べて20%前後を推移している。

全国・福島県におけるカツオ漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



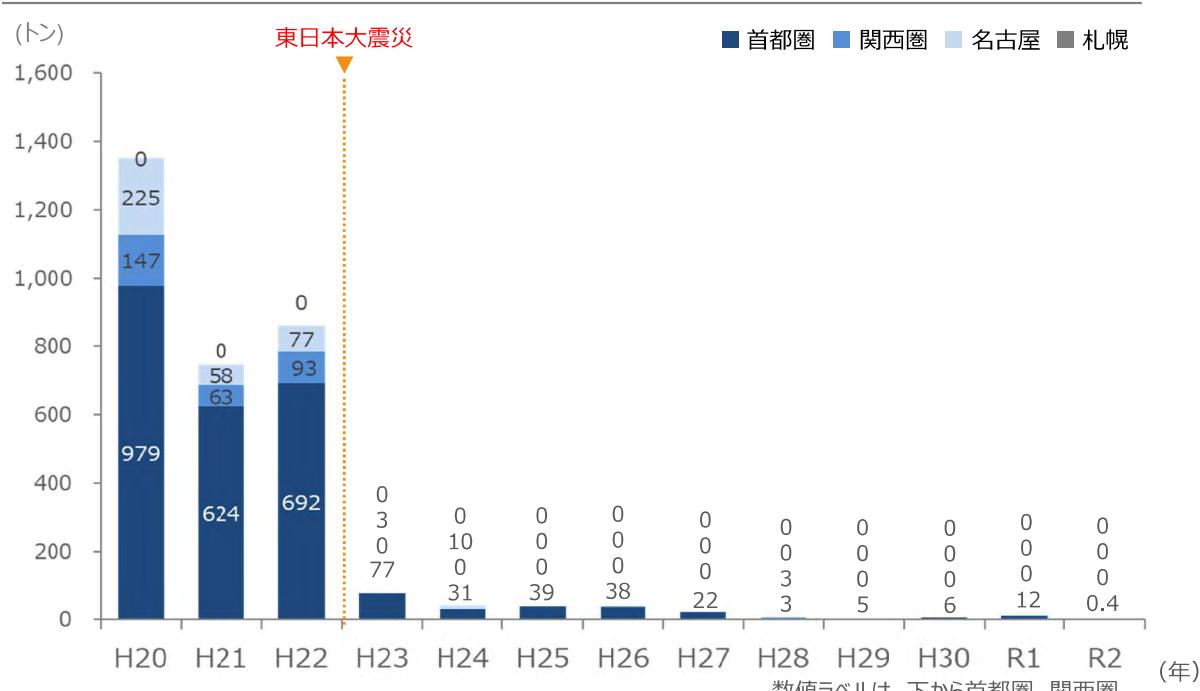
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

543

各市場における福島県産カツオの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産カツオは、震災前には首都圏、関西圏、名古屋で取り扱われていたが、震災後は出荷が大きく減少し、近年では取扱いがほとんどない。

各市場における福島県産カツオの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

544

各市場におけるカツオの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、年間を通して、福島県産カツオの取扱いがほとんど見られなかつた。横浜市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産カツオの取扱いが見られなかつた。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	13%	43%	74%	66%	39%	14%	0%	1,653
千葉	2%	12%	15%	31%	41%	45%	22%	10%	4%	7%	3%	4%	916
鹿児島	9%	17%	27%	23%	20%	5%	6%	1%	8%	16%	29%	21%	573
宮崎	1%	18%	27%	25%	15%	9%	0%	0%	1%	6%	11%	2%	354
東京	14%	16%	10%	7%	7%	7%	5%	4%	5%	7%	10%	9%	325
総量	31	101	274	246	346	713	743	725	626	627	318	139	

横浜市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

545

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカツオの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産カツオの取扱いが見られなかつた。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	25%	55%	59%	59%	51%	18%	28%	19%	20%	20%	17%	12%	381
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	5%	28%	50%	54%	36%	7%	0%	270
高知	25%	1%	5%	0%	8%	23%	4%	2%	9%	19%	36%	20%	138
千葉	0%	8%	2%	10%	17%	20%	12%	16%	5%	4%	0%	0%	128
宮崎	4%	11%	24%	26%	10%	13%	8%	5%	3%	3%	6%	1%	123
総量	8	30	115	99	106	176	165	165	149	131	71	35	

京都市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

546

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるカツオの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産カツオの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
高知	47%	0%	15%	4%	25%	30%	7%	0%	24%	48%	59%	42%	290	
鹿児島	4%	35%	41%	44%	37%	10%	15%	16%	16%	10%	6%	5%	233	
宮崎	0%	17%	36%	28%	5%	11%	27%	22%	11%	4%	10%	15%	207	
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	4%	18%	39%	24%	18%	0%	0%	171	
千葉	1%	3%	3%	13%	15%	17%	6%	15%	7%	6%	0%	0%	115	
総量	5	19	82	87	97	177	178	177	141	153	88	55		

札幌市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	2%	0%	0%	8%	40%	80%	97%	99%	75%	63%	0%	0%	30
東京	0%	0%	37%	24%	20%	31%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4
千葉	0%	0%	0%	0%	0%	16%	6%	0%	0%	12%	5%	38%	3	
宮崎	0%	30%	45%	69%	67%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3
福岡	14%	3%	5%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	10%	31%	36%	2	
総量	0	0	1	1	2	9	11	6	5	6	2	1		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

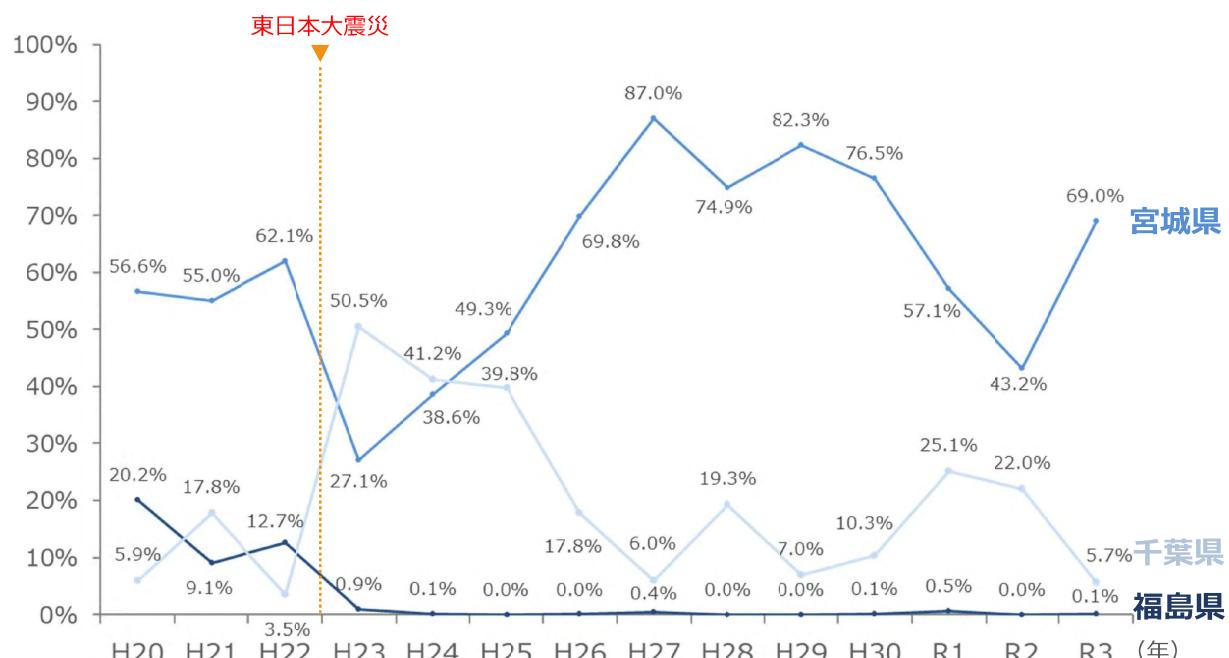
※総量・合計の単位はトン。

547

東京都中央卸売市場における福島県産カツオのシェアの推移

東京都中央卸売市場の7月の福島県産カツオは、震災前は10～20%程度のシェアであったが、震災後はほとんどなくなった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(7月)



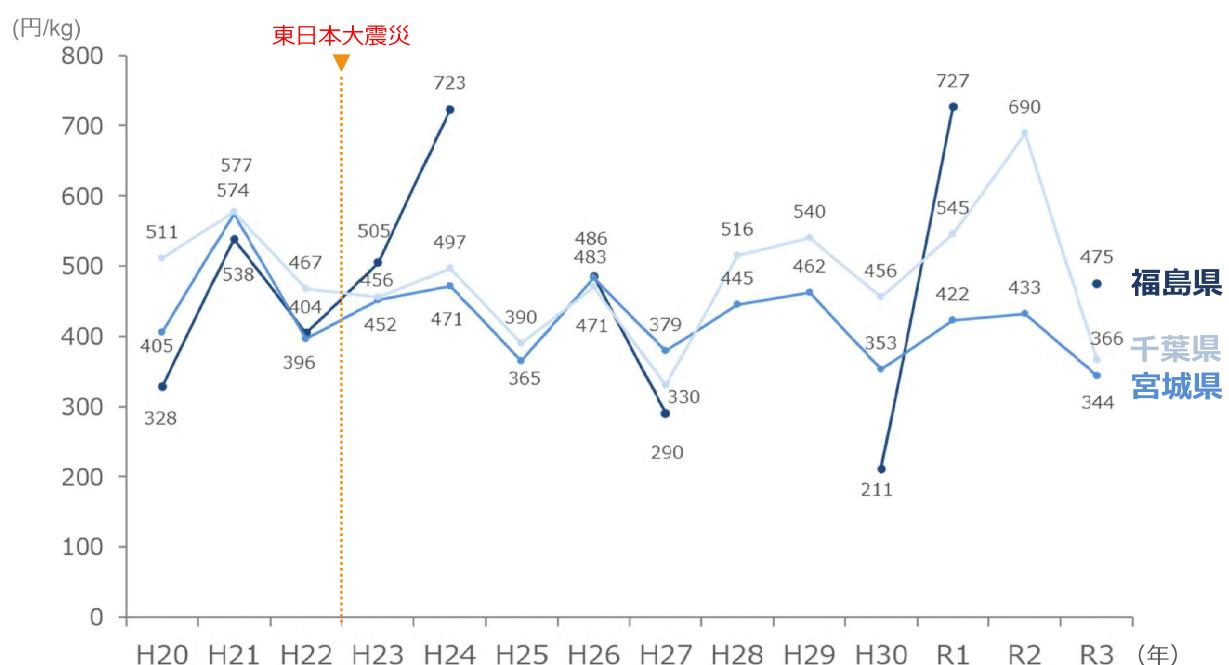
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

548

東京都中央卸売市場における福島県産カツオの単価の推移

東京都中央卸売市場の7月の福島県産カツオの平均単価は、震災前は300円から500円前後を推移していたが、震災後は大きく変動している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(7月)



※平均単価の数値がない箇所は、東京都中央卸売市場への出荷がなかった。

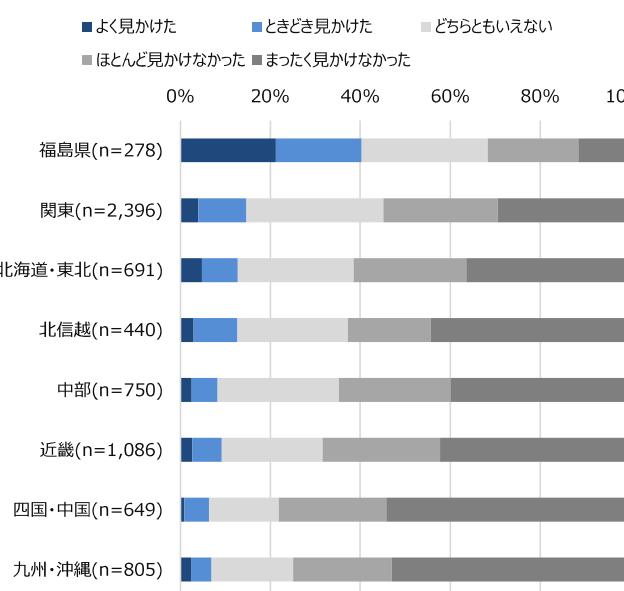
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

549

福島県産カツオを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

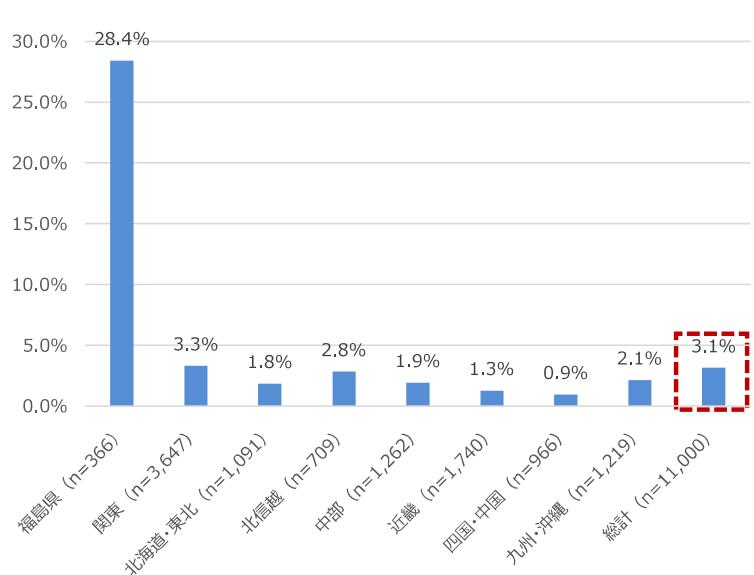
福島県産カツオをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産カツオを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.1%であった。

福島県産カツオを店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産カツオを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カツオの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、产地を認識せずに買っていれば購買経験なしとなる。

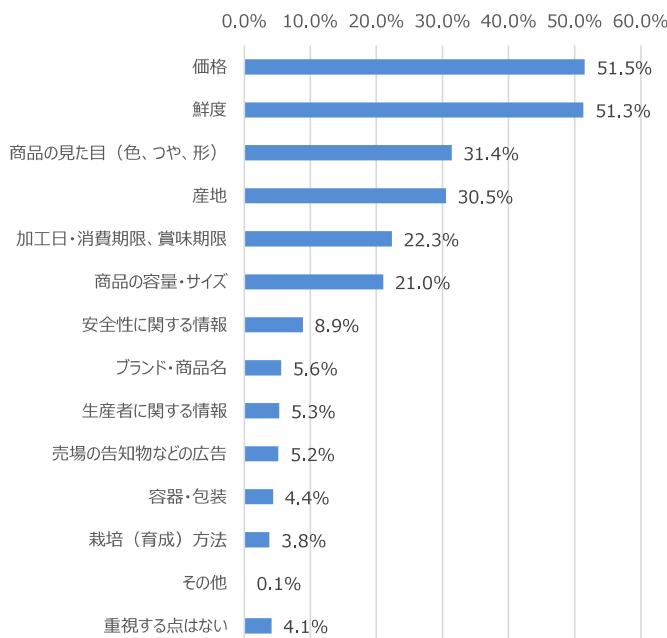
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

550

カツオ購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

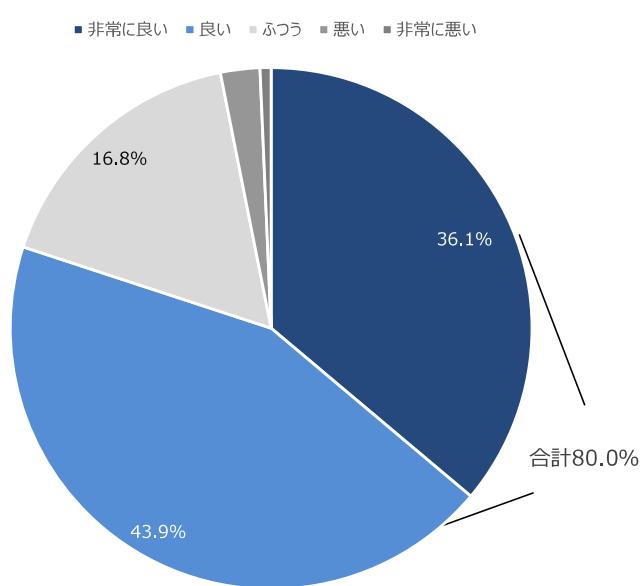
福島県産に限らず、カツオ購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがり、次いで「商品の見た目」と「産地」があがった。福島県産カツオの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が80.0%であった。

カツオ購買時の重視点（n=6,268、複数回答）



※カツオ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上カツオを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カツオ購買者の評価（n=349）



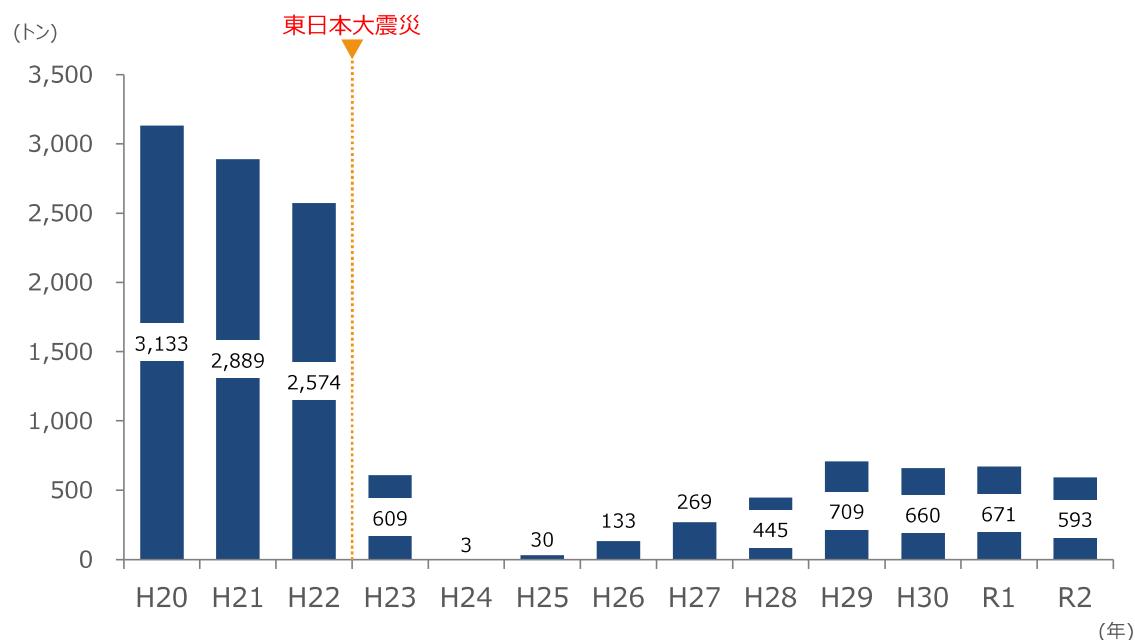
※福島県産カツオを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。

551

福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

福島県におけるカレイ類の漁獲量は、震災後の平成23年、平成24年に大幅に減少した。平成25年以降は回復傾向にあったものの、令和2年は減少した。

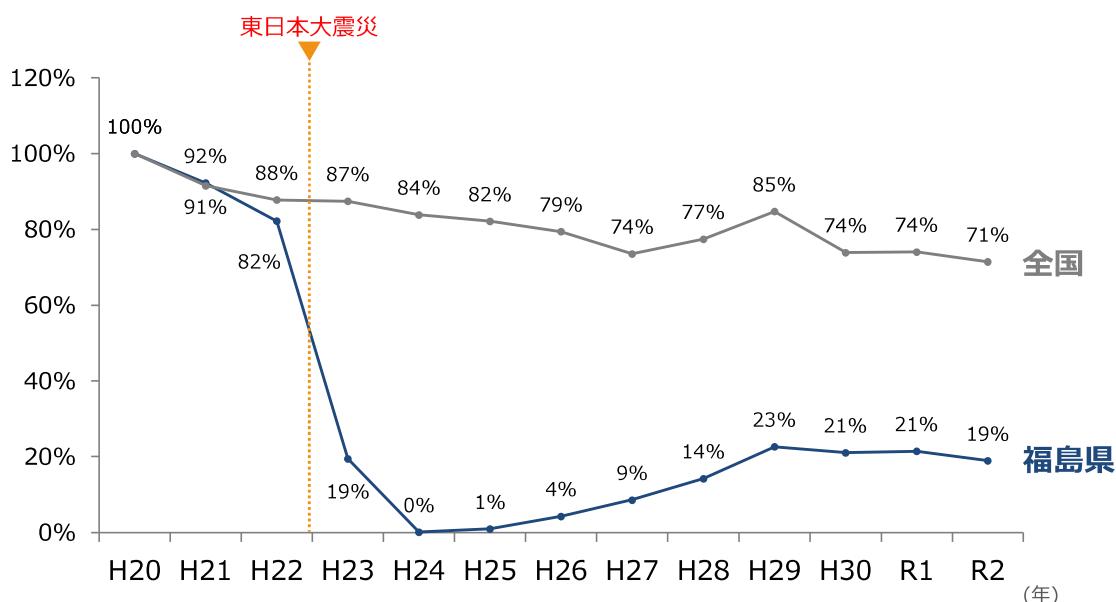
福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移



全国と福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

カレイ類の漁獲量は、全国的には平成29年以降は緩やかな減少傾向にある。福島県産カレイ類は、平成25年以降緩やかな回復傾向で推移していたが、平成30年以降ほぼ横ばいで推移している。

全国・福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



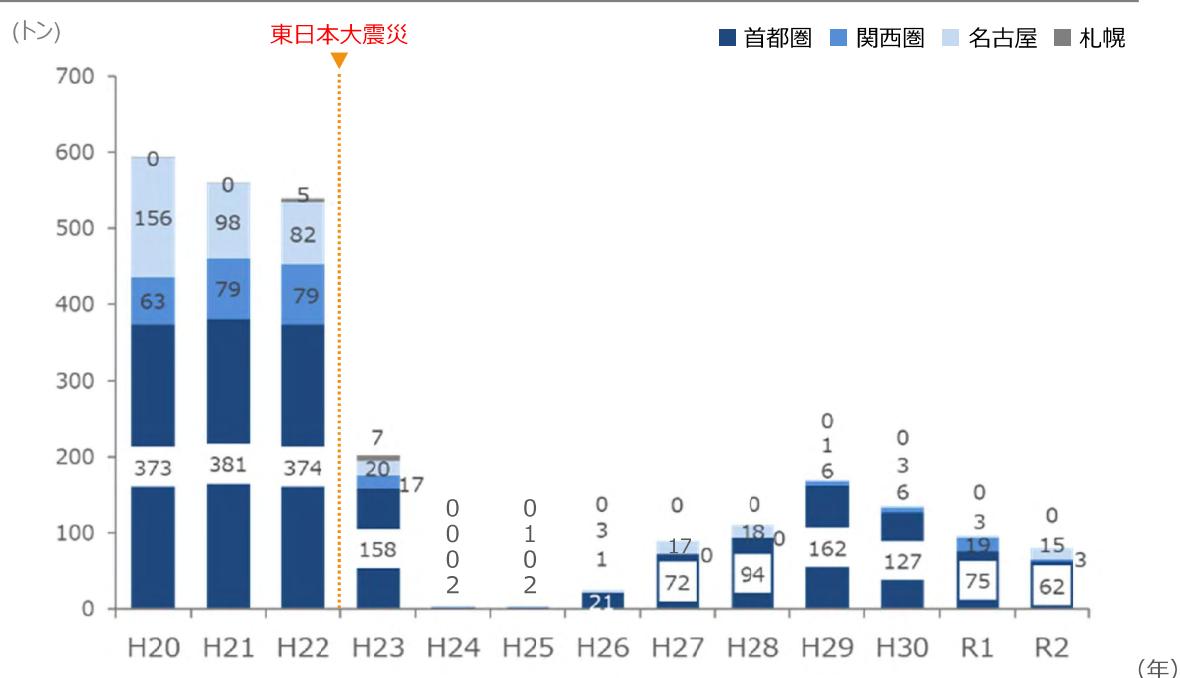
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

553

各市場における福島県産カレイ類の取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産カレイ類は、震災前は首都圏、関西圏及び名古屋を中心に取り扱われていたが、震災後は首都圏以外での取扱いがほとんどなくなっている。

各市場における福島県産カレイ類の取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。

554

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、福島県産カレイ類は、7月8月以外は年間を通して、少量ながら取り扱われていた。横浜市中央卸売市場においても、9月を除き年間を通して少量ながら流通が見られた。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	2%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	1%	2%	2%	1%	41
北海道	77%	51%	71%	81%	77%	76%	67%	69%	81%	77%	84%	88%	2,858
青森	5%	9%	7%	5%	5%	4%	6%	7%	4%	4%	3%	3%	192
宮城	4%	5%	7%	3%	5%	4%	8%	7%	4%	4%	3%	1%	170
千葉	3%	3%	3%	4%	4%	4%	9%	10%	2%	1%	2%	2%	143
東京	2%	2%	1%	4%	4%	4%	3%	2%	3%	4%	2%	2%	111
総量	299	280	484	496	441	410	233	174	182	170	240	379	

横浜市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

555

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場は、年間を通して、福島県産カレイ類の取扱いがほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産カレイ類の取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3
鳥取	23%	26%	39%	41%	41%	5%	1%	0%	19%	33%	8%	3%	152
福井	31%	30%	31%	29%	23%	0%	0%	0%	17%	10%	42%	32%	138
北海道	6%	3%	3%	3%	10%	76%	80%	87%	11%	9%	4%	5%	96
兵庫	18%	13%	12%	17%	13%	2%	0%	0%	28%	31%	16%	28%	90
島根	6%	18%	5%	3%	2%	0%	0%	0%	9%	9%	14%	11%	39
総量	53	67	85	78	73	32	24	29	31	49	38	28	

京都市中央卸売市場

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

556

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場は、1月から6月にかけて、少量ながら福島県産カレイ類の取扱いが見られた。札幌市中央卸売市場においては、年間を通して、福島県産の取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	5%	2%	2%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	15
北海道	59%	30%	46%	56%	42%	44%	42%	45%	50%	51%	54%	75%	670
愛知	4%	3%	13%	6%	20%	28%	33%	25%	3%	6%	3%	3%	167
宮城	11%	7%	6%	11%	12%	15%	12%	9%	7%	7%	7%	8%	128
東京	0%	0%	0%	1%	0%	1%	0%	11%	25%	27%	26%	1%	85
石川	6%	16%	12%	7%	11%	1%	1%	0%	3%	0%	2%	2%	81
総量	103	115	177	153	153	119	86	80	76	94	111	98	

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	99%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3,082
青森	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5
東京	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
秋田	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	217	195	368	366	317	314	262	239	135	155	227	292	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

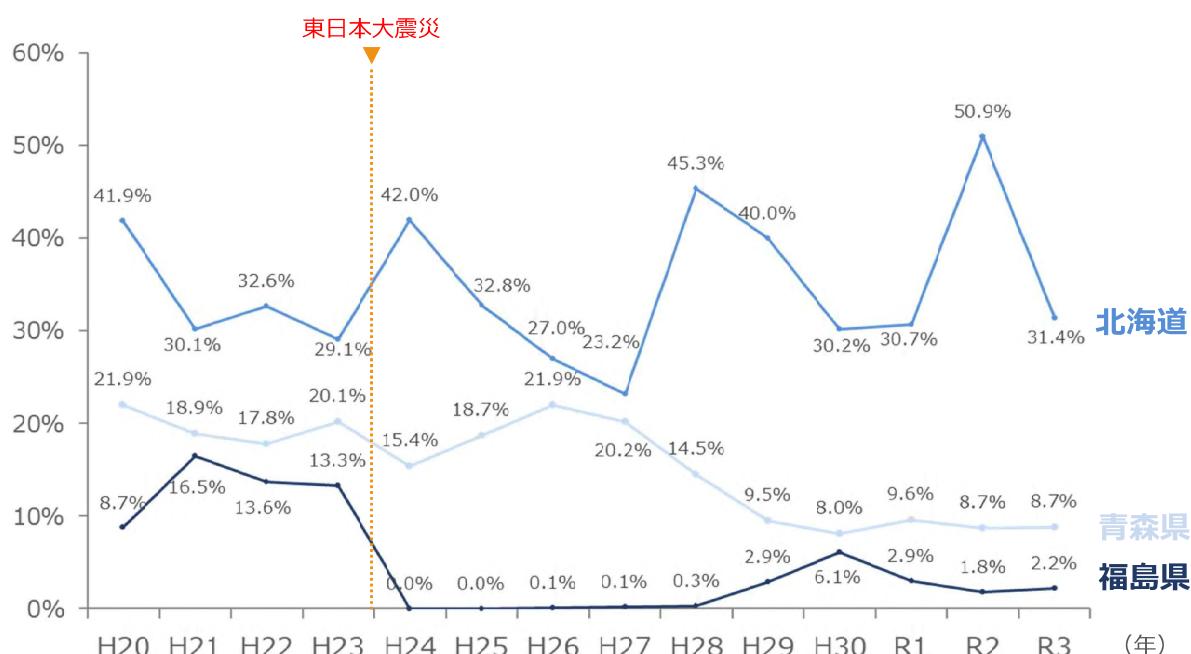
※総量・合計の単位はトン。

557

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類のシェアの推移

東京都中央卸売市場の2月の福島県産カレイ類は、震災前は10%以上のシェアを占めていたが、現在は2%程度である。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(2月)



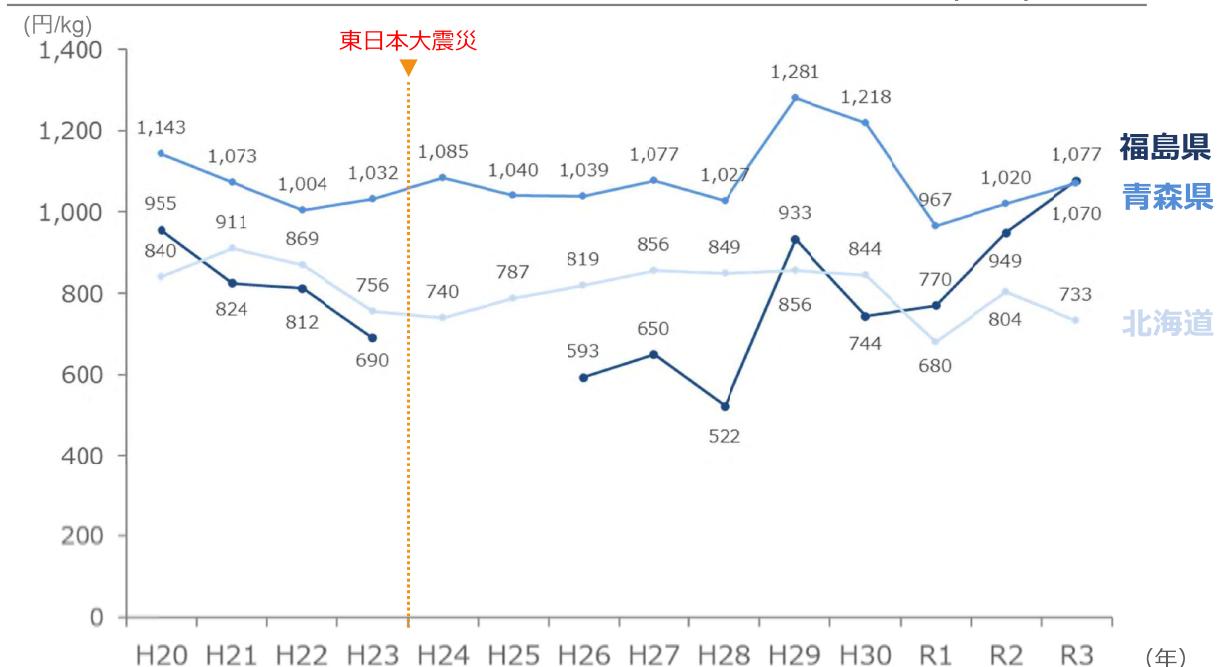
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

558

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類の単価の推移

東京都中央卸売市場の2月の福島県産カレイ類の平均単価は、震災前は青森県、北海道を下回っていたが、令和3年にこれらの道県を上回った。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(2月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※平均単価の数値がない箇所は、東京都中央卸売市場への出荷がなかった。

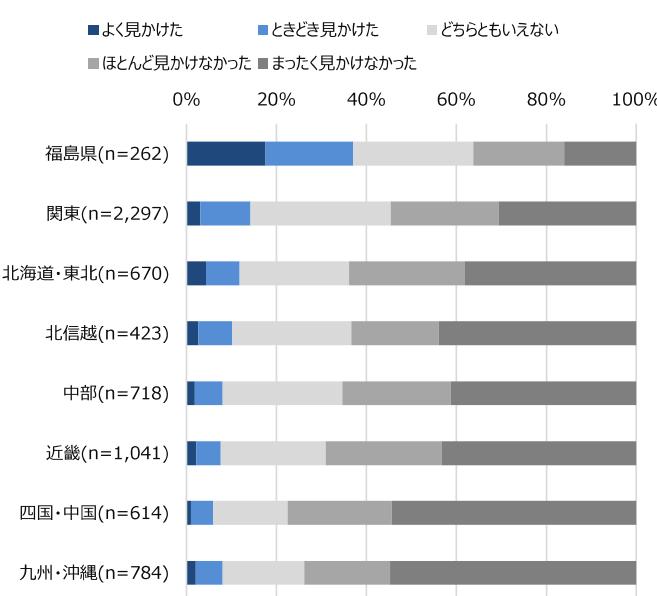
※カレイ類は、平成24年以降魚種ごとに順次試験操業の対象魚種となり出荷が再開されたが、市場での取り扱いはなかった。

559

福島県産カレイ類を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

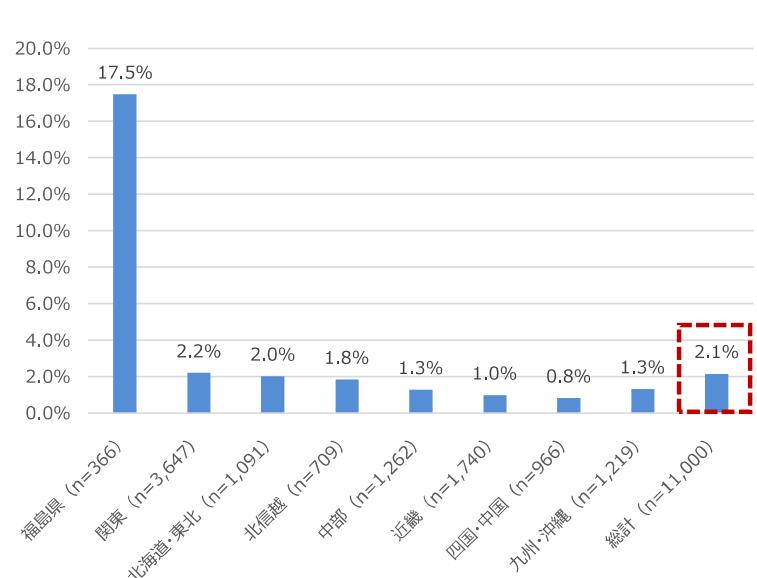
福島県産カレイ類をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産カレイ類を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では2.1%であった。

福島県産カレイ類を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産カレイ類を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カレイ類の購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、产地を認識せずに買っていれば購買経験なしとなる。

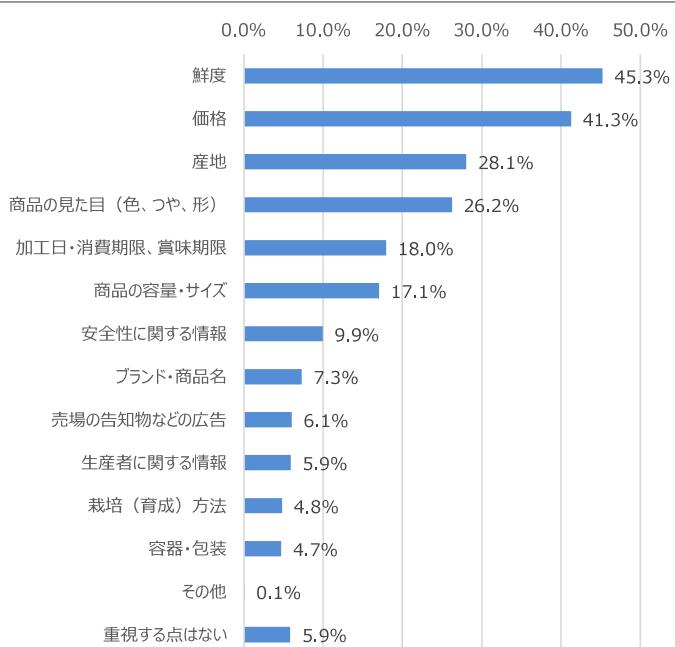
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

560

カレイ類購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

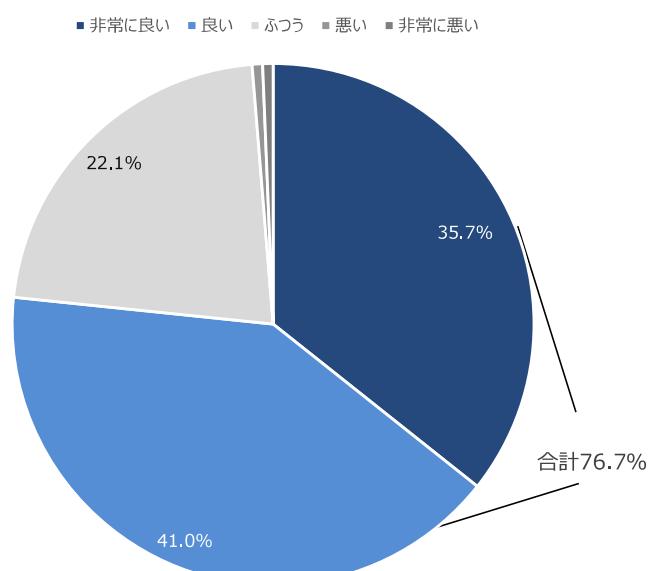
福島県産に限らず、カレイ類購買時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産カレイ類の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が76.7%であった。

カレイ類購買時の重視点（n=3,395、複数回答）



※カレイ類購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上カレイ類を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カレイ類購買者の評価（n=242）



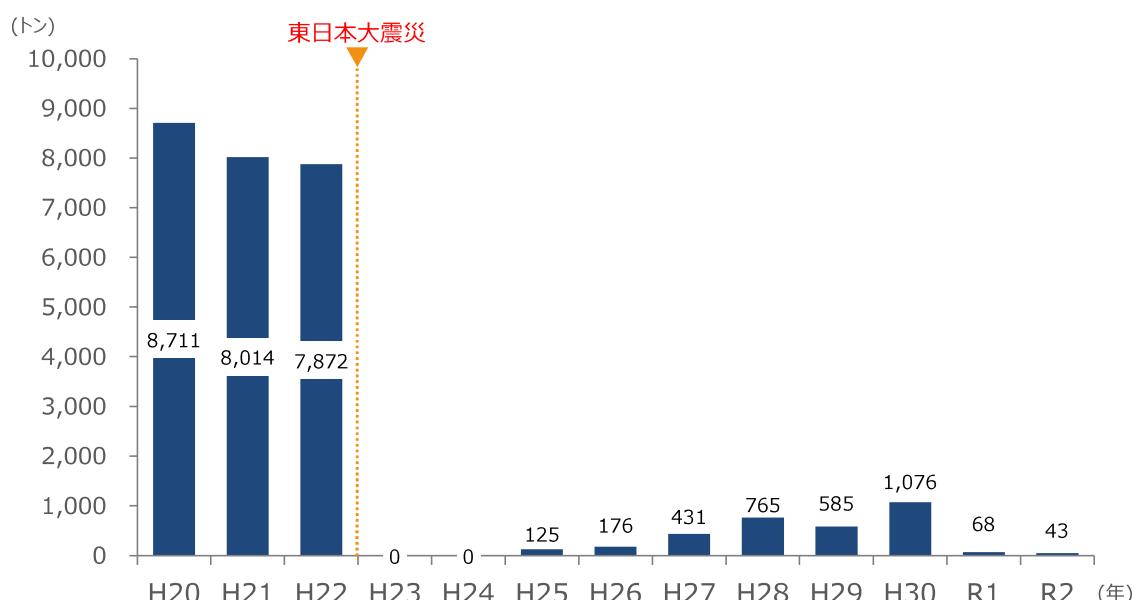
※福島県産カレイ類を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。
※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。

561

福島県におけるイカナゴの漁獲量の推移

福島県におけるイカナゴの漁獲量は、震災後の平成23年に前年から大幅に減少し、以降緩やかな回復傾向で推移していたが、令和元年は再び大幅に減少し、令和2年も微減している。

福島県におけるイカナゴの漁獲量の推移



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

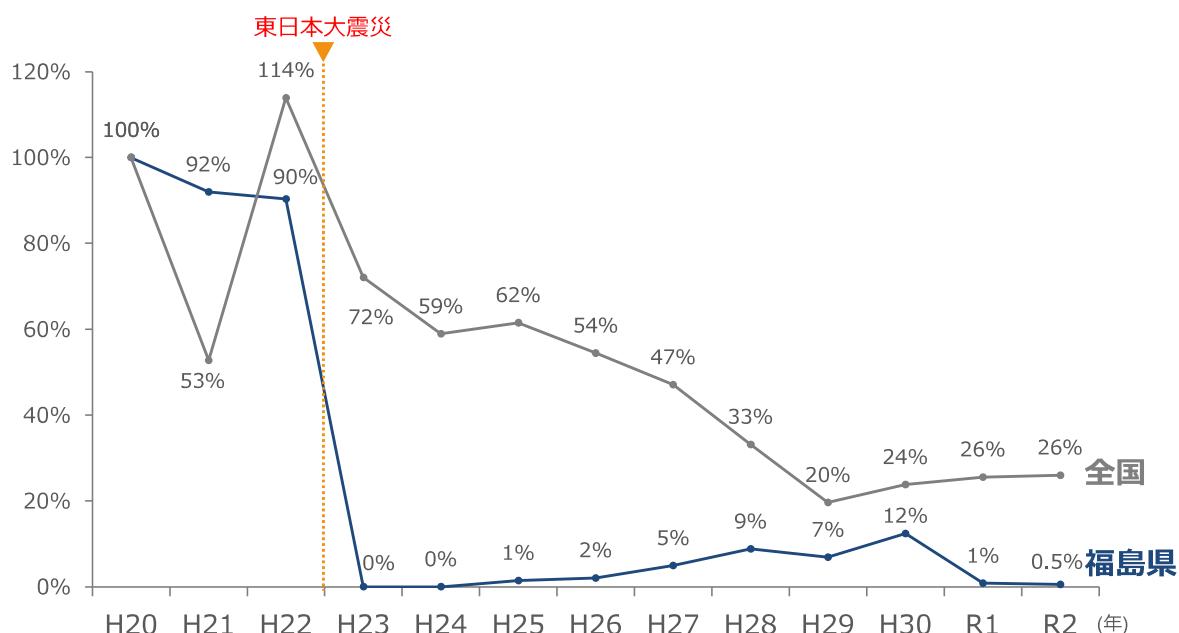
※「イカナゴ」のデータ。
※「コウナゴ」は「イカナゴ」の稚魚のこと。

562

全国と福島県におけるイカナゴの漁獲量の推移

イカナゴの漁獲量は、禁漁等の影響で、平成29年にかけて全国的に大幅な減少傾向にある一方で、福島県産イカナゴは少しずつ回復傾向にはあったが、令和元年以降の漁獲量は大きく減少している。

全国・福島県におけるイカナゴの漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

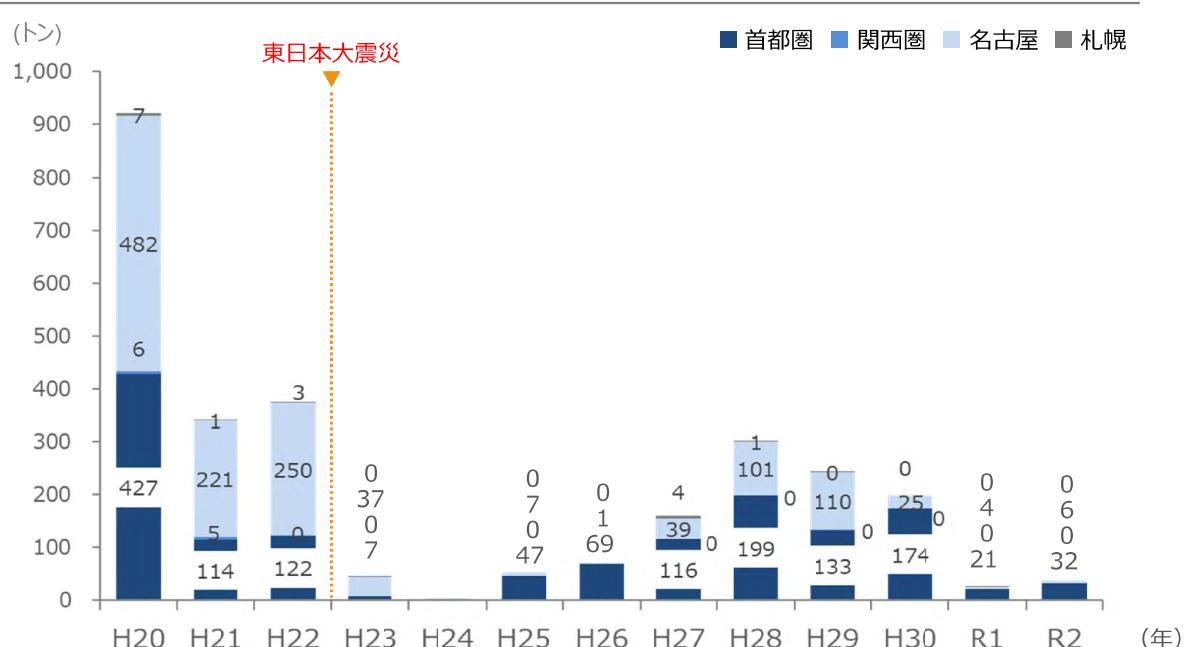
※「イカナゴ」のデータ。
※「コウナゴ」は「イカナゴ」の稚魚のこと。

563

各市場における福島県産コウナゴの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産コウナゴは、震災前後を通じて、首都圏を中心に取り扱われている。

各市場における福島県産コウナゴの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、
名古屋、札幌の取扱量を表す。
※コウナゴは、平成25年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

564

各市場におけるコウナゴの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、一年のうち1月、2月、5月、8月で福島県産コウナゴがシェア1位であった。横浜市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産コウナゴの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	37%	38%	4%	2%	36%	30%	7%	51%	7%	12%	9%	1%	32
東京	36%	24%	5%	52%	15%	3%	50%	27%	11%	71%	45%	47%	37
兵庫	0%	3%	46%	17%	5%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	21
北海道	11%	2%	1%	3%	17%	42%	21%	4%	3%	3%	8%	2%	19
香川	0%	2%	37%	14%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	0%	15
総量	3	3	28	31	56	14	5	5	7	4	1	1	

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
神奈川	0%	88%	0%	81%	88%	0%	61%	92%	66%	68%	64%	53%	1
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	97%	29%	8%	34%	21%	11%	26%	0
茨城	100%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	26%	19%	0
東京	0%	12%	0%	19%	12%	3%	10%	0%	0%	11%	0%	0%	0
新潟	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0
総量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

※コウナゴは近年の全国的不漁のため参考値

データ出所：各卸売市場の統計データ

565

各市場におけるコウナゴの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して、福島県産コウナゴの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	0%	0%	-	0%	-	-	-	-	-	-	-	0
兵庫	-	49%	76%	-	0%	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪	-	51%	24%	-	0%	-	-	-	-	-	-	-	0
北海道	-	0%	0%	-	100%	-	-	-	-	-	-	-	0
総量	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	0%	0%	-	0%	-	-	-	-	-	-	-	0
東京	-	0%	0%	-	100%	-	-	-	-	-	-	-	0
岡山	-	0%	95%	-	0%	-	-	-	-	-	-	-	0
兵庫	-	100%	5%	-	0%	-	-	-	-	-	-	-	0
総量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

※コウナゴは近年の全国的不漁のため参考値

データ出所：各卸売市場の統計データ

566

各市場におけるコウナゴの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、5, 6月に福島県産コウナゴのシェアが3位であった。札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産コウナゴの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

名古屋市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	12%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6
宮城	0%	0%	6%	15%	63%	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	32
愛知	62%	0%	5%	58%	16%	44%	92%	62%	73%	47%	86%	0%	25
兵庫	21%	24%	70%	4%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	13
北海道	0%	0%	0%	0%	7%	45%	0%	5%	0%	0%	0%	0%	8
総量	1	1	17	6	48	11	7	0	0	0	1	0	

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	52%	38%	33%	53%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	91%	14
青森	9%	42%	67%	47%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
東京	39%	19%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	9%	0
総量	0	1	0	0	6	3	2	0	1	0	1	0	

※福島県及び年間取扱量上位県(北海道のみ独自の道内地域区分)を表示。

※総量・合計の単位はトン。

※コウナゴは近年の全国的不漁のため参考値

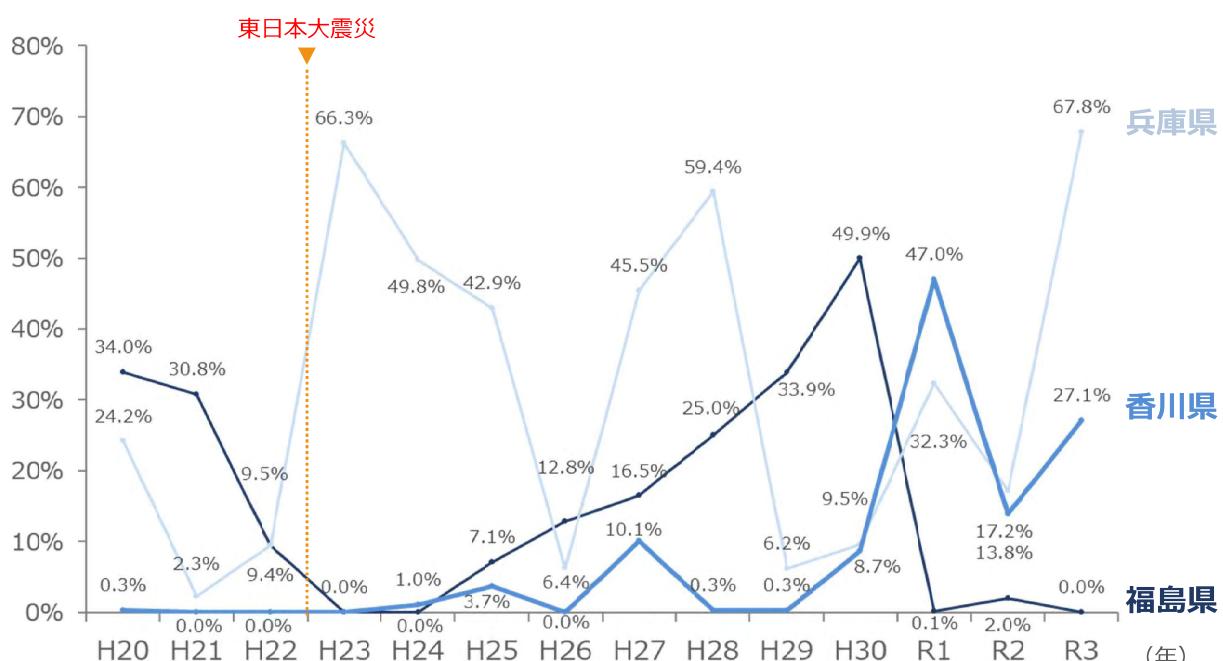
データ出所：各卸売市場の統計データ

567

東京都中央卸売市場における福島県産コウナゴのシェアの推移

東京都中央卸売市場の4月の福島県産コウナゴは、震災後に一度取扱いがなくなった後にシェアを回復し、平成30年には震災前以上のシェアとなった。しかし、令和元年以降は取扱いがほとんどなくなった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(4月)



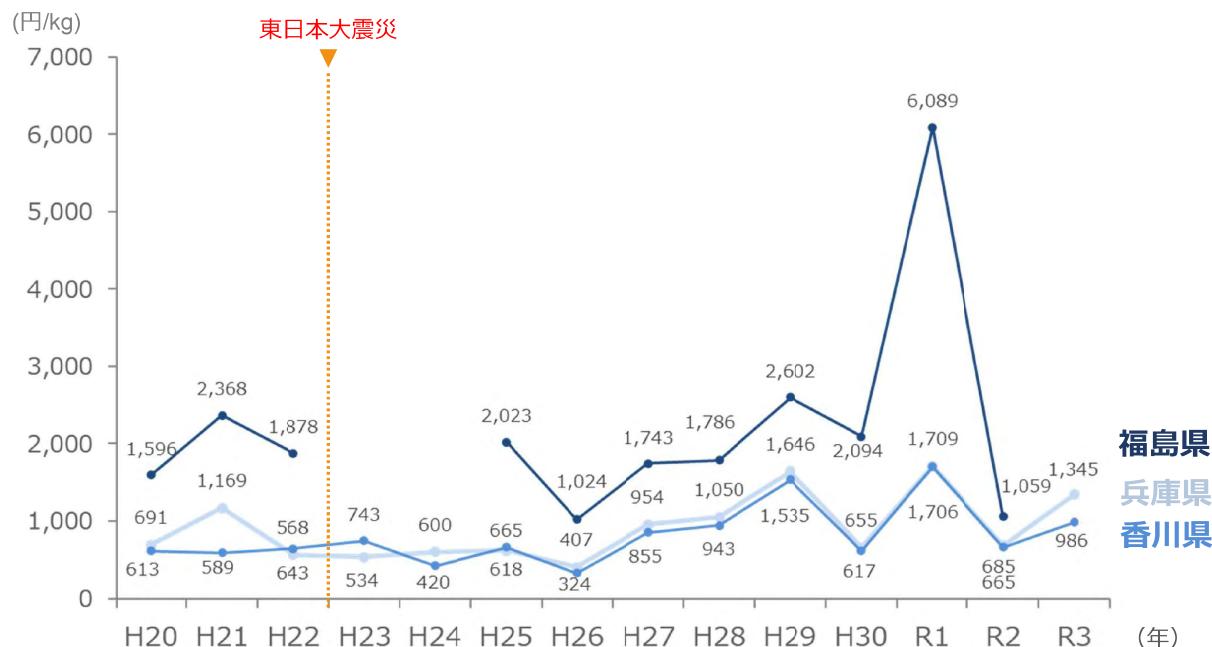
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

568

東京都中央卸売市場における福島県産コウナゴの単価の推移

東京都中央卸売市場の4月の福島県産コウナゴの平均単価は、震災後においても他県産を上回っているが、令和3年においては東京都中央卸売市場への出荷がなかった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(4月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

569

※平均単価の数値がない箇所は、東京都中央卸売市場への出荷がなかった。

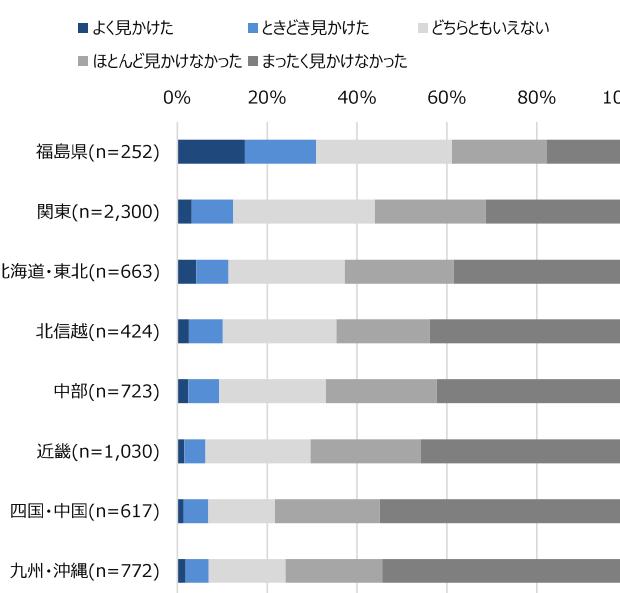
※コウナゴは、平成25年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

※コウナゴは近年の全国的不漁のため参考値。

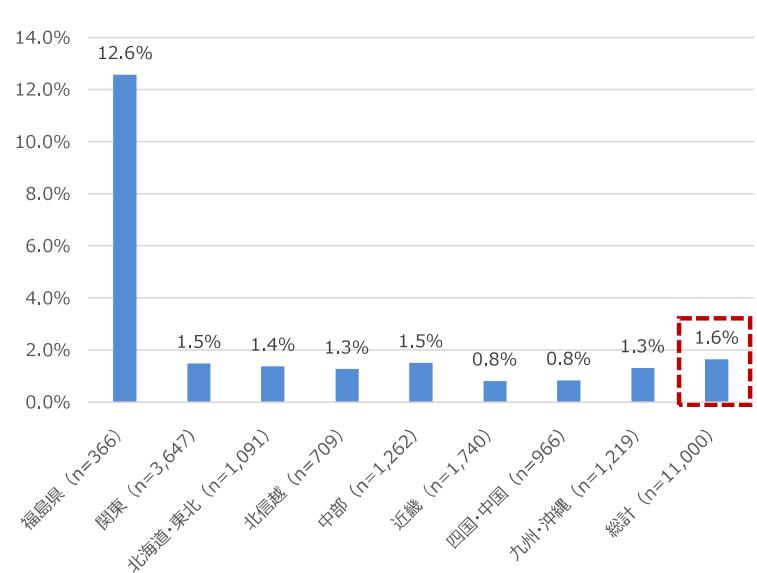
福島県産コウナゴを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産コウナゴをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産コウナゴを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では1.6%であった。

福島県産コウナゴを店頭で見たか



福島県産コウナゴの購買経験率



※過去1~2年に、店頭で福島県産コウナゴを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、产地を認識せずに買っていれば購買経験なしとなる。

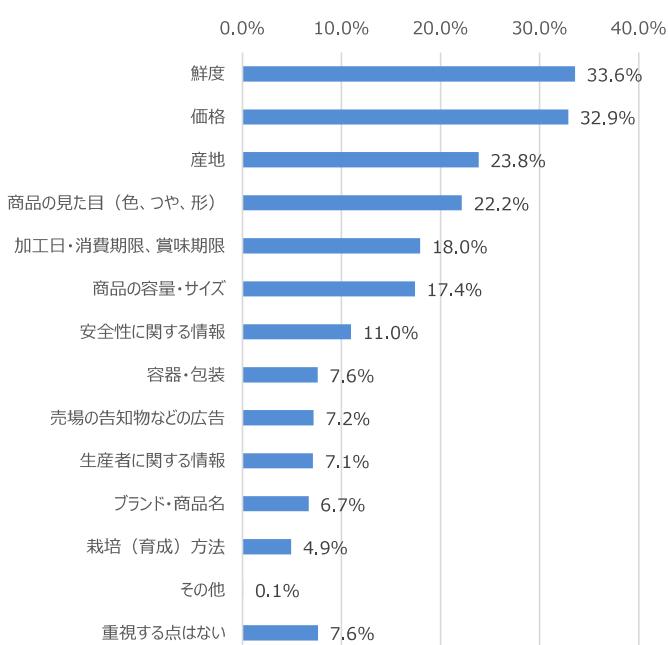
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

570

コウナゴ購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らず、コウナゴ購買時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産コウナゴの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.9%であった。

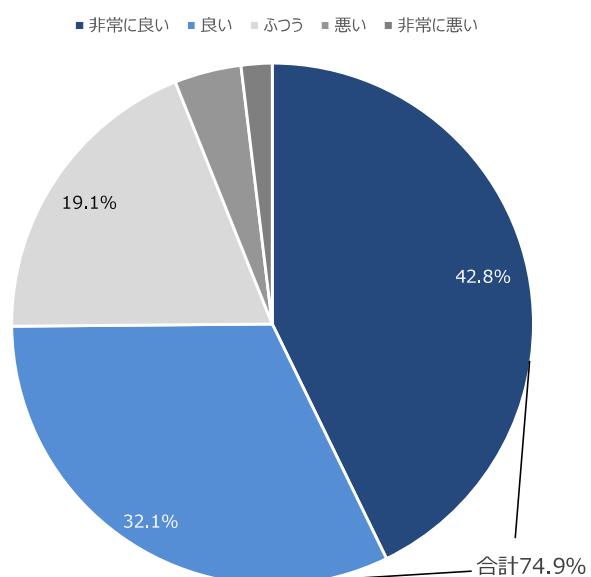
コウナゴ購買時の重視点（n=2,275、複数回答）



※コウナゴ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。

※月に1回以上コウナゴを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産コウナゴ購買者の評価（n=185）



※福島県産コウナゴを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

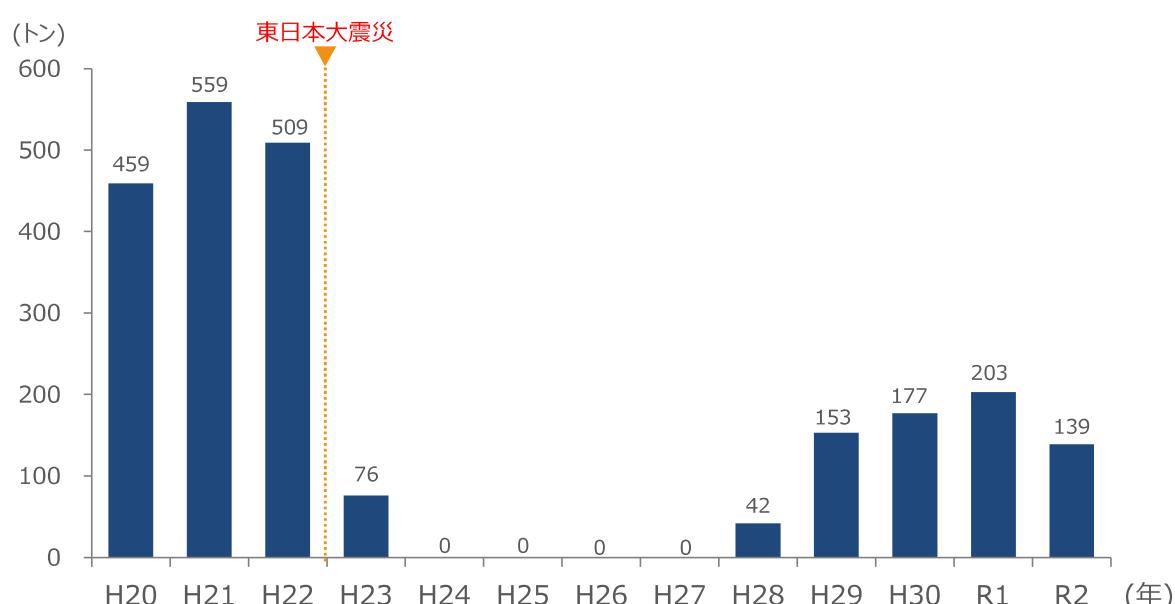
※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。

571

福島県におけるアナゴの漁獲量の推移

福島県におけるアナゴの漁獲量については、平成28年から令和元年まで回復傾向にあつたが、令和2年は減少した。

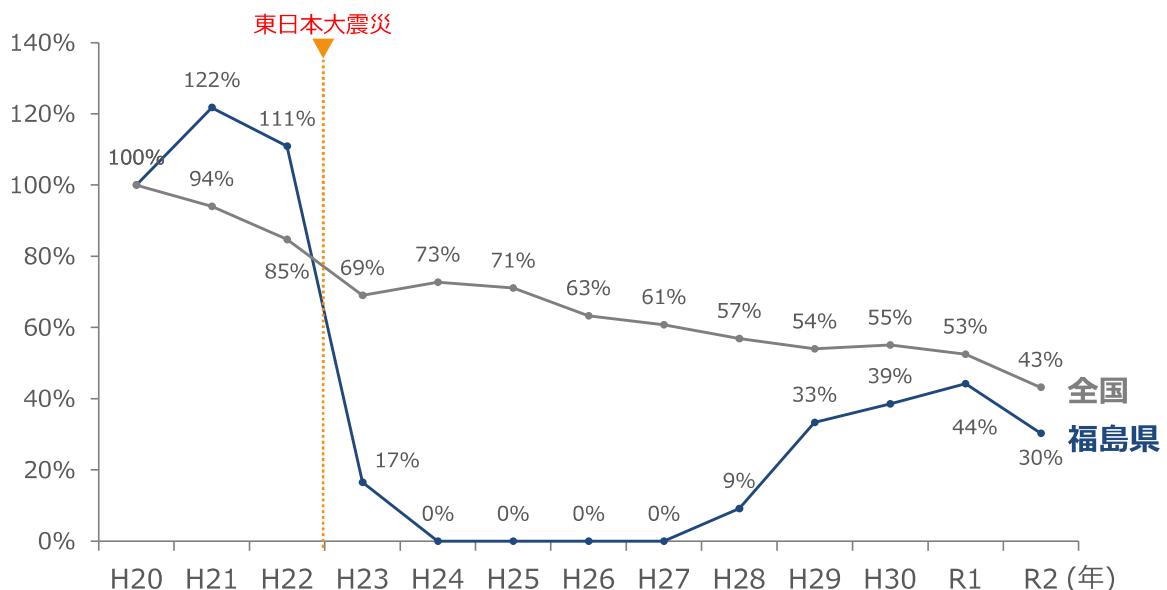
福島県におけるアナゴの漁獲量の推移



全国と福島県におけるアナゴの漁獲量の推移

アナゴの漁獲量は、全国では減少傾向にあり、近年では平成20年の50%程度で推移している。福島県においては4年間漁獲量がなかったが、平成28年から令和元年にかけて回復傾向にあった。令和2年の漁獲量は平成20年の約30%であった。

全国・福島県におけるアナゴの漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

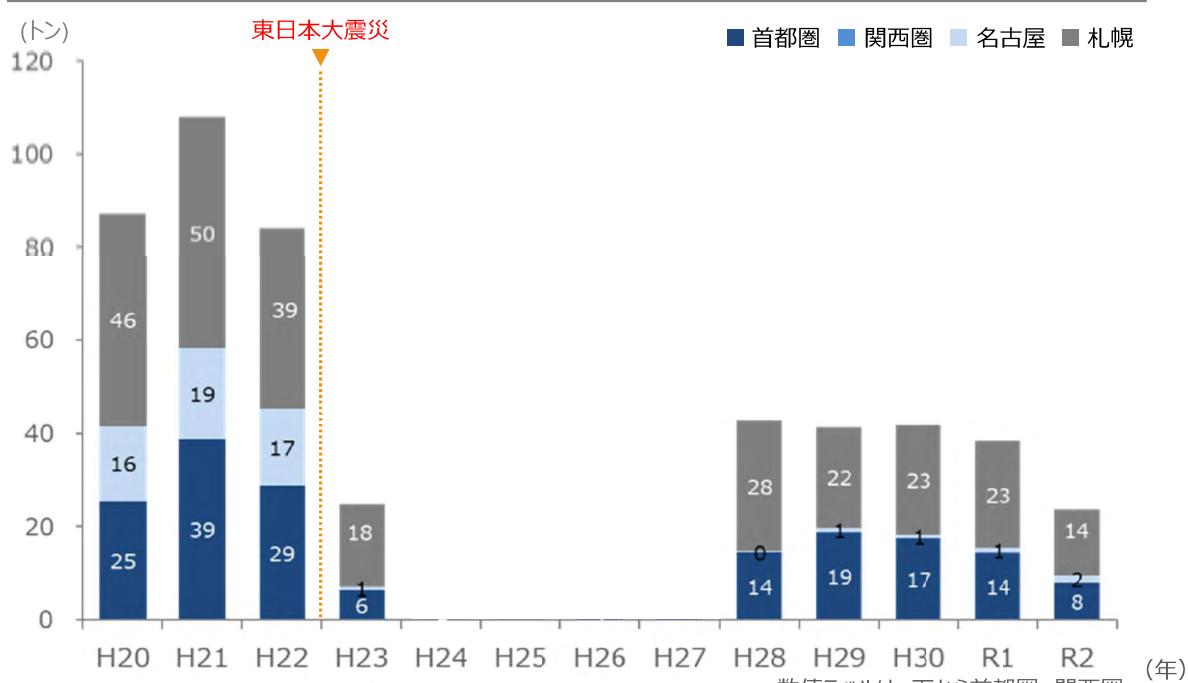
※「アナゴ」のデータ。

573

各市場における福島県産アナゴの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産アナゴは、震災前は札幌、首都圏及び名古屋に流通していたが、震災後は全体的に取扱量が減少している。近年は、名古屋における取扱いがわずかであり、令和2年は首都圏・札幌における取扱いも前年より減少している。

各市場における福島県産アナゴの取扱量の推移



※首都圏は「マアナゴ」、それ以外は「アナゴ」のデータ。

数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場の統計データ ※マアナゴは、平成28年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

574

各市場におけるアナゴの産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、年間を通して福島県産マアナゴの取扱いがあった。横浜市中央卸売市場では、8月を除き年間を通して福島県産アナゴの取扱いがあった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

東京都中央卸売市場		マアナゴのデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に ■ ■ ■ で色付け	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島		4%	3%	2%	7%	5%	4%	2%	1%	1%	1%	4%	2%	5	
大阪		23%	21%	26%	23%	19%	19%	28%	33%	26%	25%	23%	27%	42	
東京		24%	22%	20%	24%	21%	16%	20%	17%	13%	14%	20%	23%	34	
茨城		16%	24%	14%	15%	22%	28%	12%	4%	8%	5%	15%	14%	27	
福岡		6%	6%	7%	7%	7%	9%	18%	17%	16%	16%	12%	10%	19	
千葉		12%	9%	8%	4%	12%	19%	6%	7%	6%	6%	14%	13%	18	
総量		15	18	12	11	14	20	12	12	15	17	16	15		

横浜市中央卸売市場		アナゴのデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に ■ ■ ■ で色付け	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島		2%	3%	4%	27%	20%	4%	2%	0%	1%	1%	8%	4%	2	
福岡		28%	23%	39%	41%	26%	20%	41%	46%	35%	47%	26%	32%	14	
茨城		41%	28%	11%	3%	24%	33%	5%	0%	12%	6%	33%	32%	10	
千葉		6%	19%	7%	2%	4%	9%	11%	16%	14%	24%	13%	10%	5	
東京		7%	8%	8%	4%	6%	6%	9%	6%	8%	8%	4%	5%	3	
神奈川		1%	2%	6%	7%	7%	6%	10%	15%	13%	4%	1%	2%	2	
総量		4	4	3	2	3	5	3	3	3	3	5	5		

*市場によって商品分類が異なるため、アナゴで集計した市場と、マアナゴで集計した市場がある。

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

575

各市場におけるアナゴの産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して福島県産アナゴの取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

大阪市中央卸売市場		アナゴのデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に ■ ■ ■ で色付け	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
韓国		90%	91%	82%	95%	95%	94%	91%	93%	93%	94%	95%	95%	124	
宮城		5%	2%	3%	0%	1%	3%	6%	5%	4%	2%	3%	2%	4	
長崎		3%	4%	6%	2%	2%	3%	2%	2%	3%	2%	2%	2%	3	
兵庫		1%	1%	5%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	1	
島根		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
総量		7	6	5	10	10	13	13	14	13	15	12	15		

京都市中央卸売市場		アナゴのデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に ■ ■ ■ で色付け	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
大阪		33%	32%	42%	38%	35%	33%	43%	47%	39%	33%	42%	41%	29	
宮城		30%	21%	14%	17%	29%	42%	34%	23%	10%	12%	17%	21%	17	
兵庫		6%	7%	12%	12%	15%	6%	4%	7%	6%	12%	5%	6%	6	
山口		5%	2%	3%	3%	3%	4%	6%	8%	6%	7%	8%	9%	4	
島根		1%	1%	0%	1%	0%	1%	3%	1%	12%	12%	11%	14%	4	
総量		7	8	5	4	6	7	5	5	6	8	7	8		

*市場によって商品分類が異なるため、アナゴで集計した市場と、マアナゴで集計した市場がある。

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

※総量・合計の単位はトン。

576

各市場におけるアナゴの産地リレー(令和2年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産アナゴの取扱いがほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、年間を通して、福島県産アナゴのシェアが3位以内であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に ■ ■ ■ で色付け												
名古屋市中央卸売市場		アナゴのデータ										
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	1%	1%	2%	2%	1%	1%	0%	1%	1%	1%	2
大阪	47%	53%	49%	46%	40%	36%	40%	42%	45%	42%	47%	44%
福岡	17%	16%	21%	17%	26%	31%	28%	22%	16%	24%	24%	25%
兵庫	10%	11%	11%	11%	13%	7%	11%	10%	12%	7%	7%	10%
愛知	3%	3%	6%	5%	5%	11%	7%	7%	5%	5%	3%	3%
大分	8%	7%	2%	3%	1%	0%	3%	6%	9%	7%	7%	10
総量	14	15	12	11	11	18	16	17	15	20	16	18

札幌市中央卸売市場		アナゴのデータ										
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	68%	86%	78%	81%	63%	47%	28%	28%	9%	3%	46%	37%
北海道	16%	13%	18%	16%	29%	36%	38%	32%	17%	29%	32%	41%
岩手	0%	0%	0%	2%	7%	11%	34%	40%	71%	64%	17%	4%
千葉	14%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	0%	0%	4%	17%	1
長崎	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%
総量	2	2	1	2	3	3	4	2	2	3	4	3

※市場によって商品分類が異なるため、アナゴで集計した市場と、マアナゴで集計した市場がある。

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。

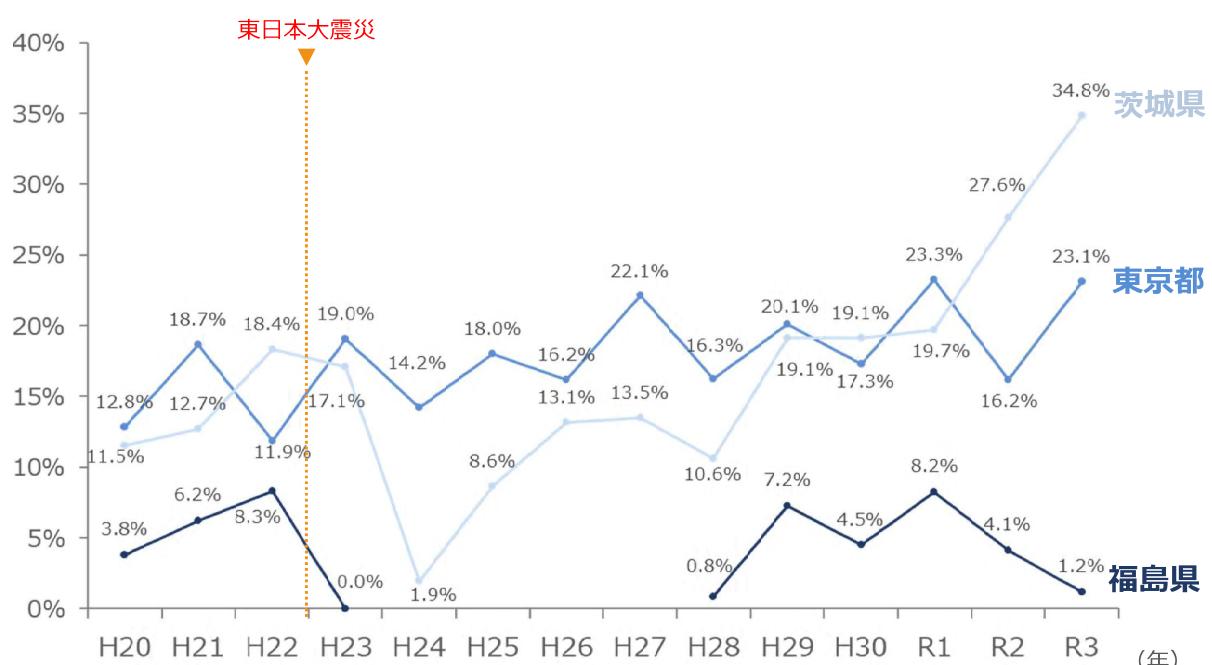
※総量・合計の単位はトン。

577

東京都中央卸売市場における福島県産マアナゴのシェアの推移

東京都中央卸売市場の6月の福島県産マアナゴのシェアは、令和2年以降は減少傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(6月)



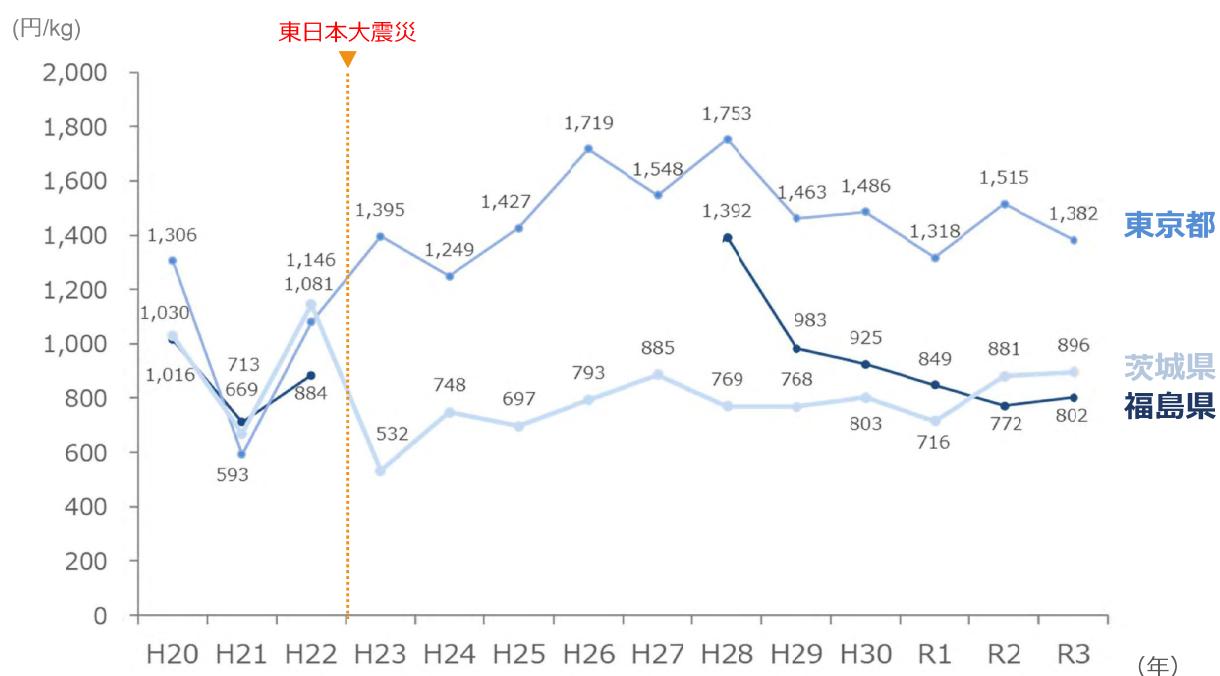
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※マアナゴは、平成28年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

578

東京都中央卸売市場における福島県産マアナゴの単価の推移

東京都中央卸売市場の6月の福島県産マアナゴの平均単価は、令和2年度以降、震災前には同程度であった茨城県産を下回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(6月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※平均単価の数値がない箇所は、東京都中央卸売市場への出荷がなかった。

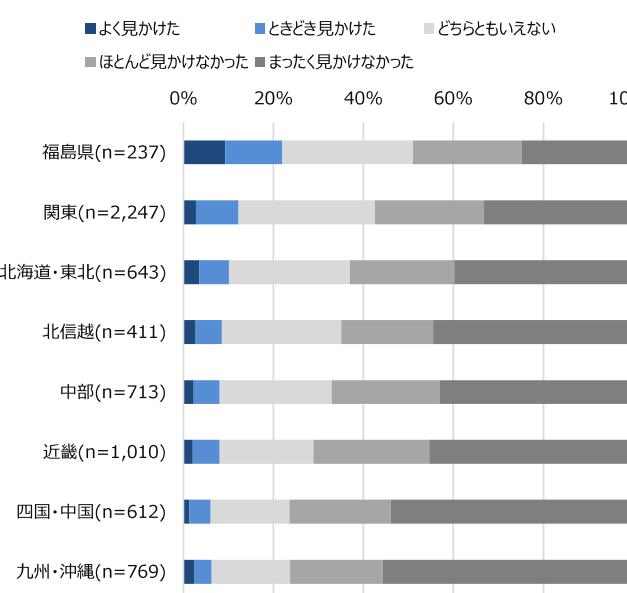
※マアナゴは、平成28年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

579

福島県産マアナゴを見た経験と購買経験（消費者アンケート）

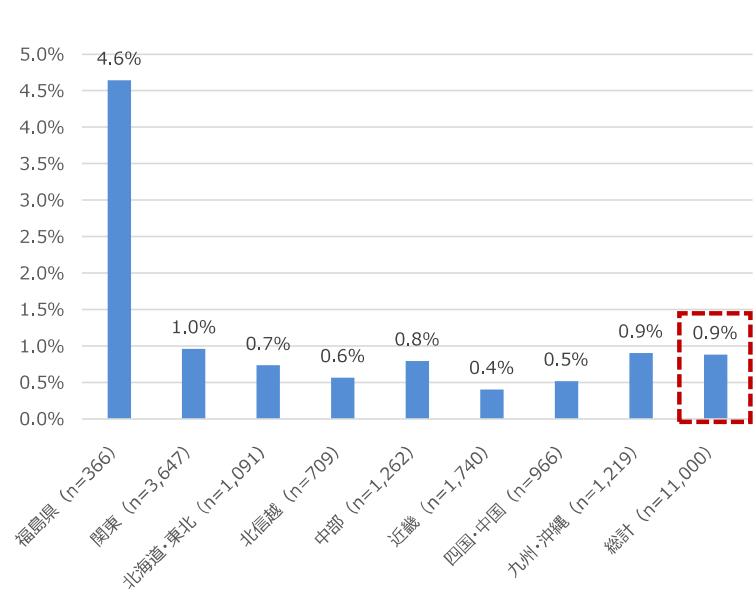
福島県産マアナゴをよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産マアナゴを買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では0.9%であった。

福島県産マアナゴを店頭で見たか



※過去1~2年に、店頭で福島県産マアナゴを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産マアナゴの購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、产地を認識せずに買っていれば購買経験なしとなる。

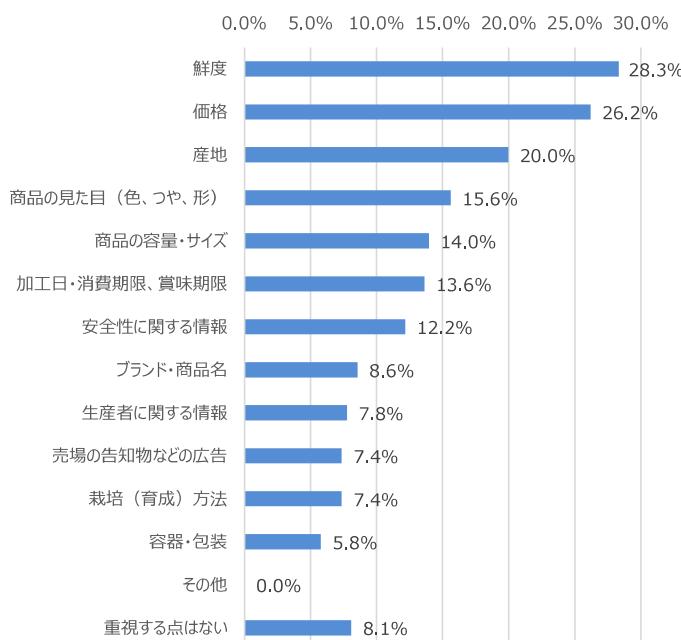
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

580

マアナゴ購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らず、マアナゴ購買時の重視点を尋ねたところ、「鮮度」と「価格」が上位にあがり、次いで「産地」と「商品の見た目」があがった。福島県産マアナゴの購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.4%であった。

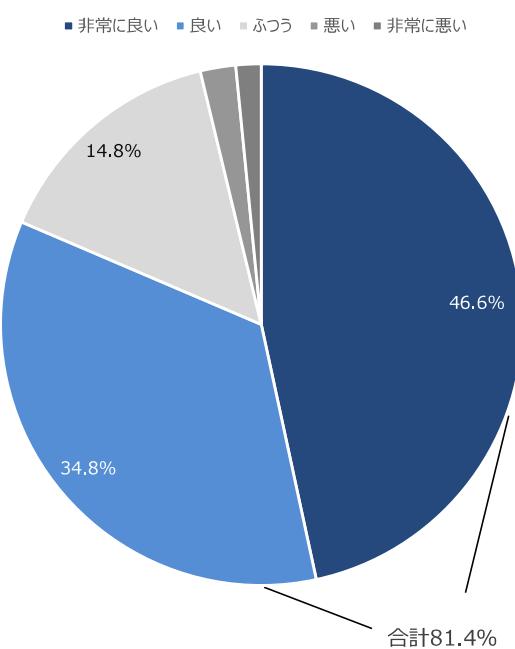
マアナゴ購買時の重視点（n=1,576、複数回答）



※マアナゴ購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。

※月に1回以上マアナゴを購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産マアナゴ購買者の評価（n=98）



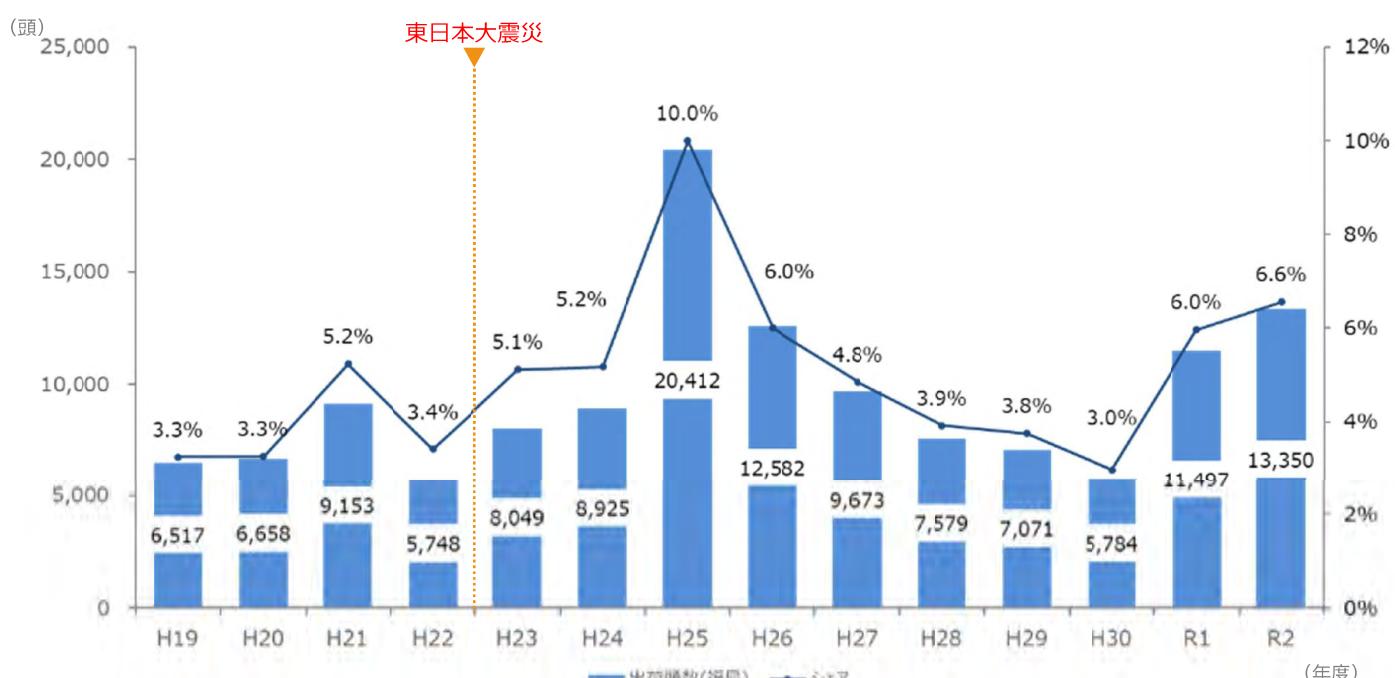
※福島県産マアナゴを買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

581

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数・シェア推移

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数と出荷頭数シェアは、震災後増加したものの、平成25年度をピークに下落傾向にあったが、令和元年以降は増加し、出荷頭数、シェア共に震災前以上の値となっている。

東京都中央卸売市場における全国・福島県産豚肉の出荷頭数シェア推移



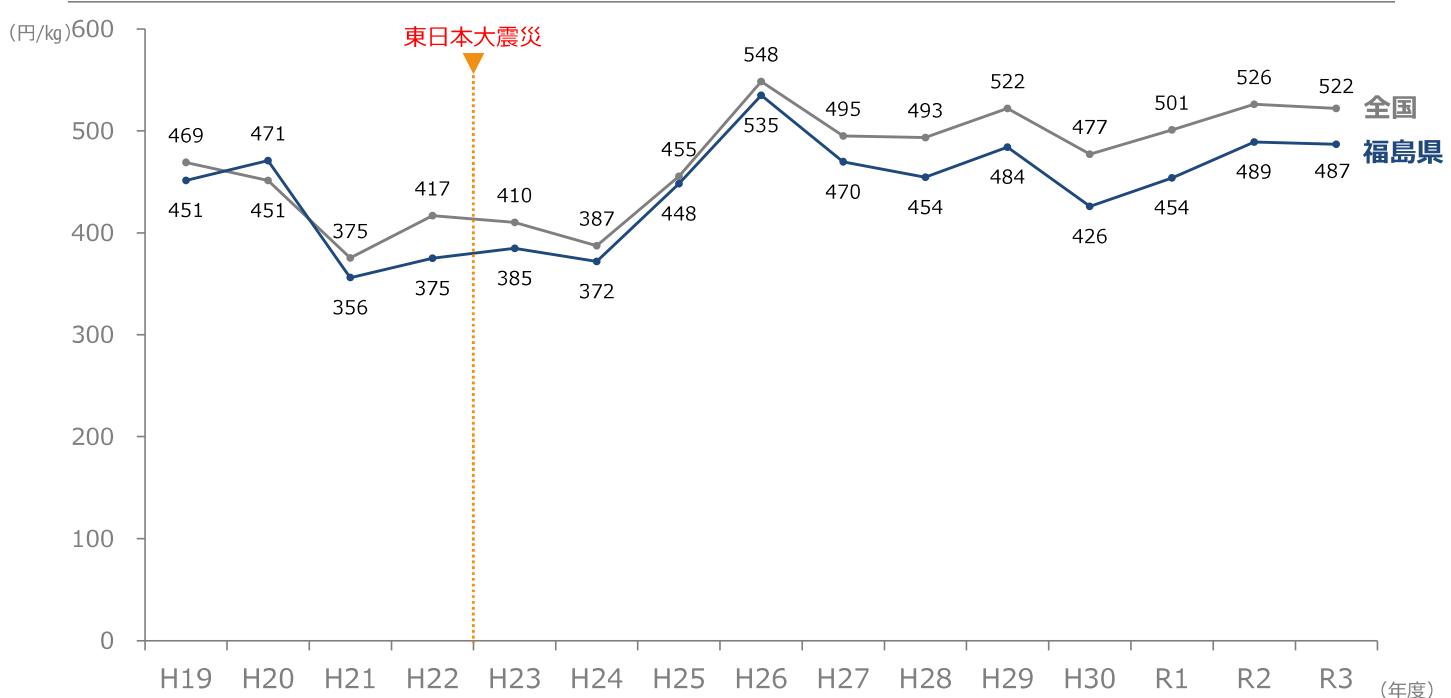
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

582

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉に関する平均価格の推移

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の平均価格は、平成27年以降、全国平均価格と比べて30円～50円/kg程度低い水準で推移しており、価格差が固定化している。

東京都中央卸売市場における全国・福島県産豚肉の平均価格の推移



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

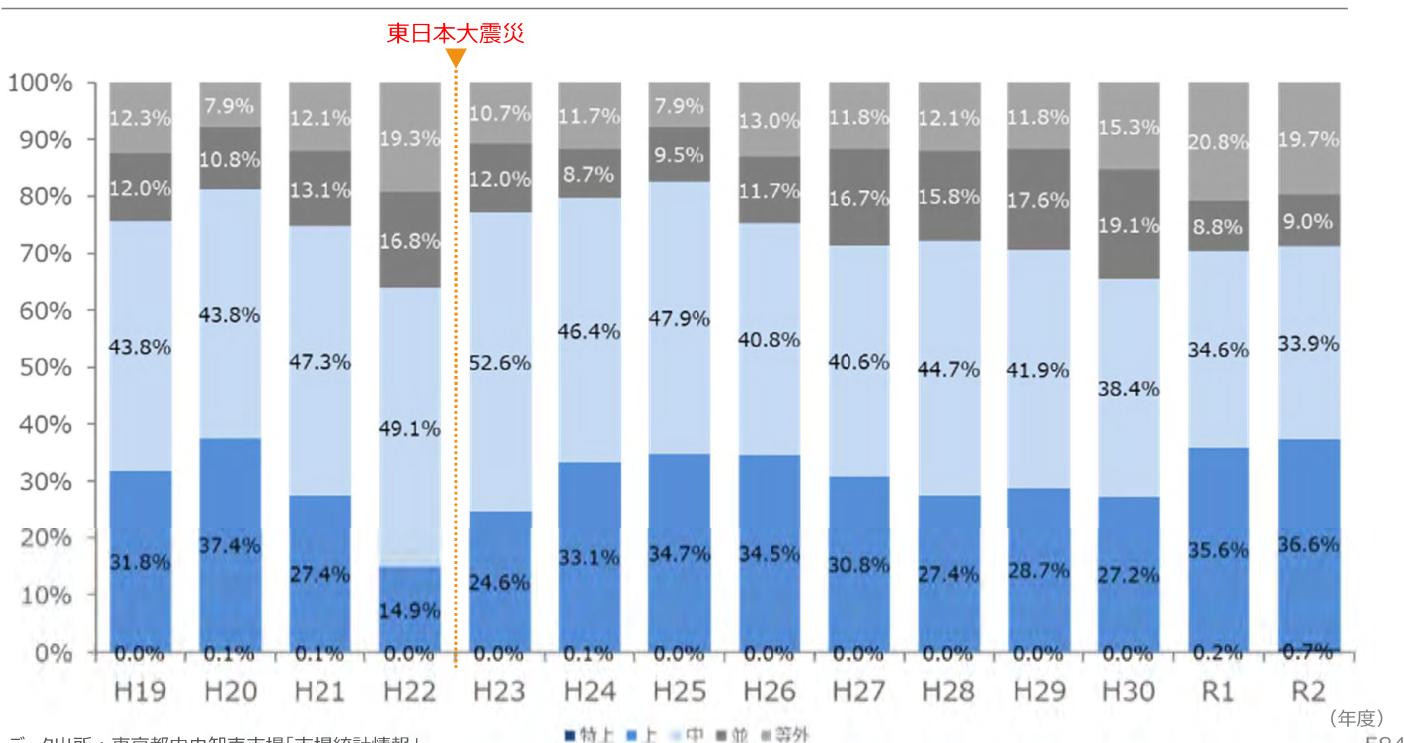
※それぞれ年度単位の数値であり、令和3年度は令和3年12月までのデータを使用。

583

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の等級別シェア

福島県産豚肉の等級別のシェアは出荷年によってばらつきが大きいが、令和2年度は震災以降で特上の等級が最大となった。

福島県産豚肉の等級別シェア推移



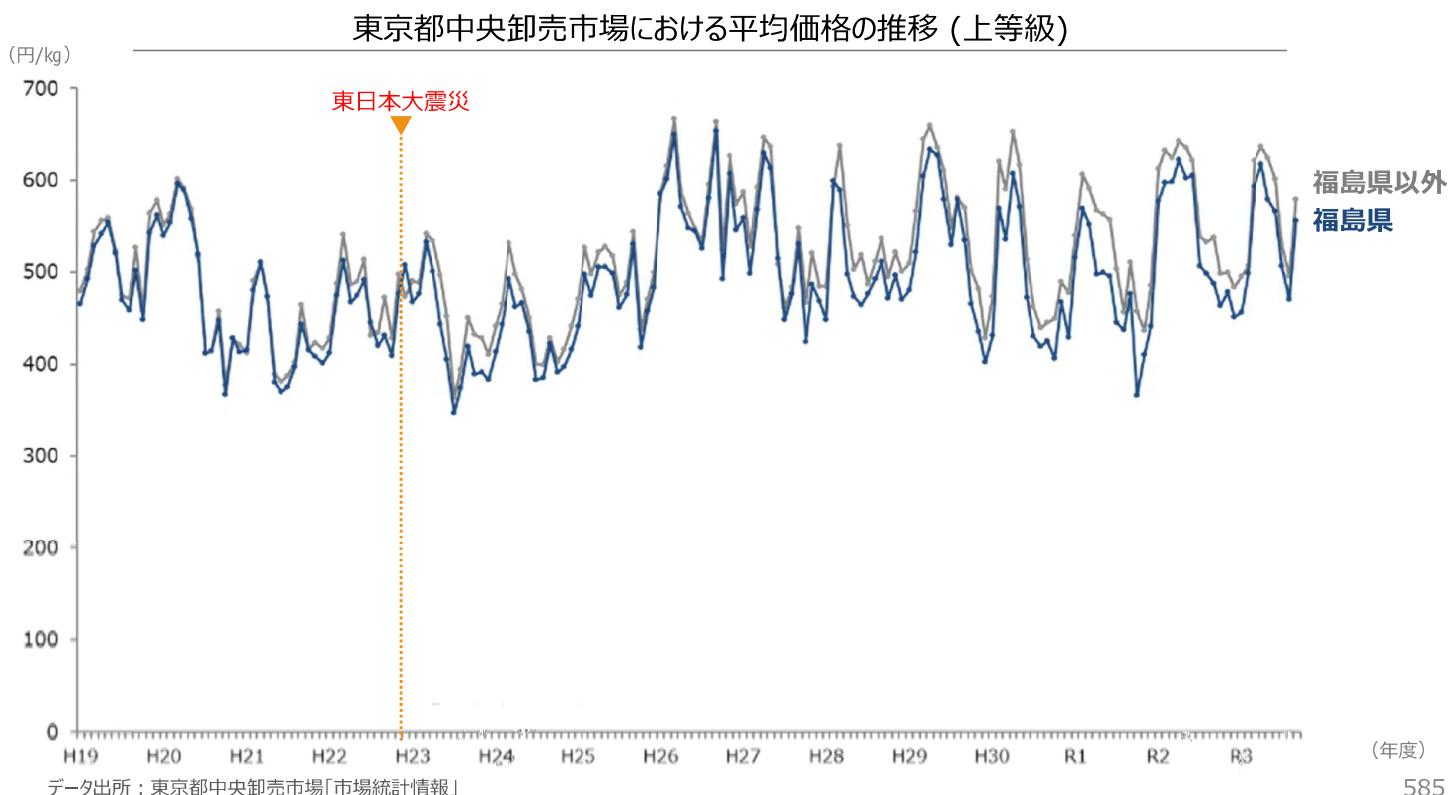
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

■特上 ■上 ■中 ■等外

584

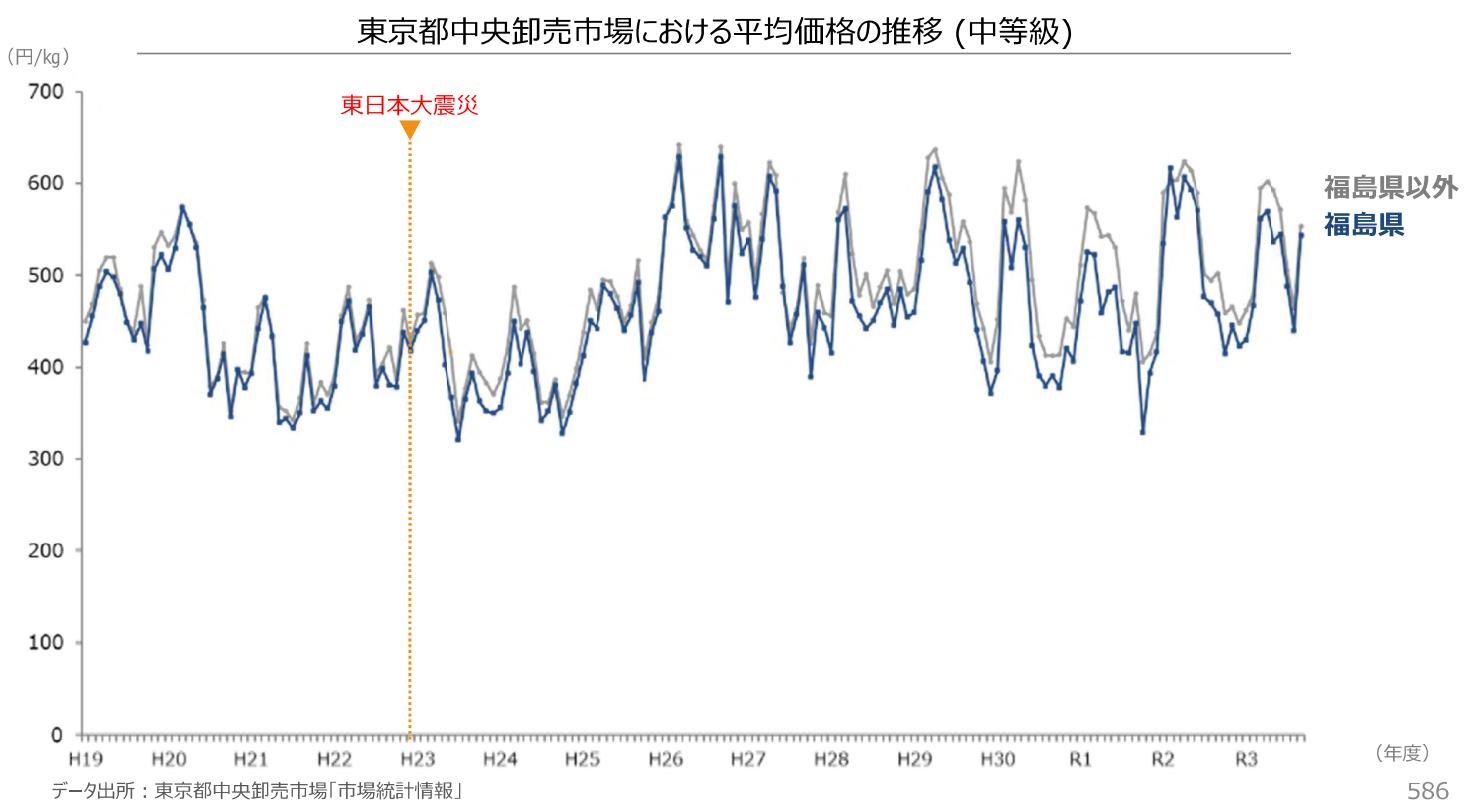
《参考》福島県産豚肉の月別平均価格の推移（東京都中央卸売市場・等級別（上等級））

上等級の福島県産豚肉と福島県産以外の平均価格は、ほぼ同水準で推移しているが、福島県産以外の方が福島県産よりも若干高値で推移している。



《参考》福島県産豚肉の月別平均価格の推移（東京都中央卸売市場・等級別（中等級））

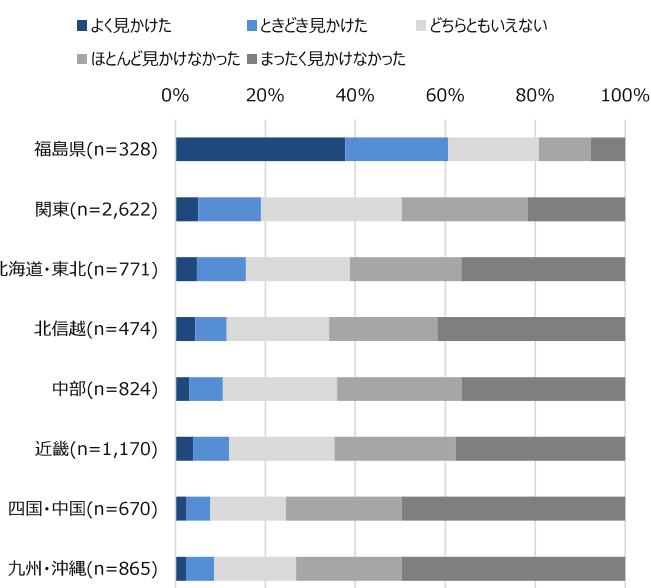
中等級の福島県産豚肉と福島県産以外の平均価格は、ほぼ同水準で推移しているが、福島県産以外の方が福島県産よりも若干高値で推移している。



福島県産豚肉を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産豚肉をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産豚肉を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.7%であった。

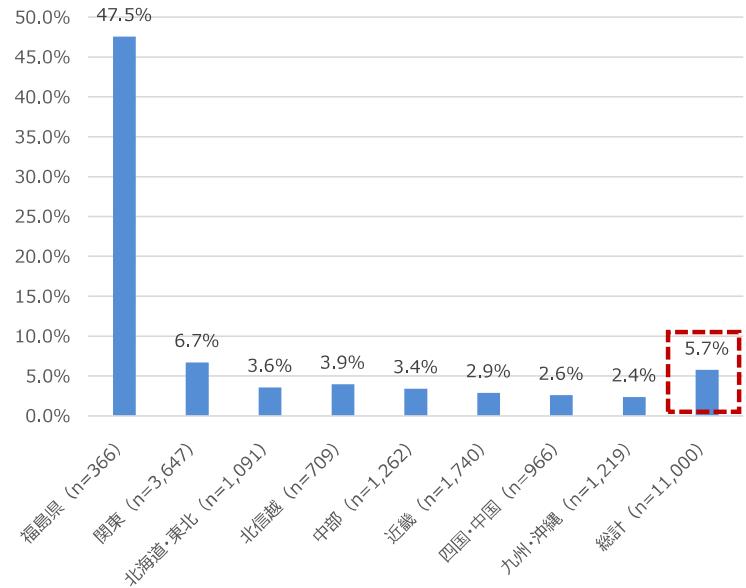
福島県産豚肉を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産豚肉を見た記憶を尋ねた。

※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産豚肉の購買経験率



※購買経験率＝1度でも購買したことがある人数／回答者数

※記憶に関する質問であるため、産地を認識せずに買っていれば購買経験なしとなる。

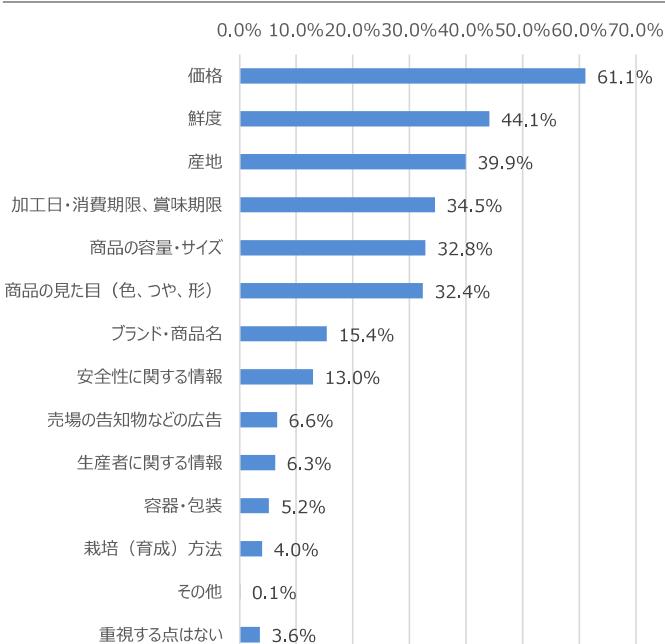
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

587

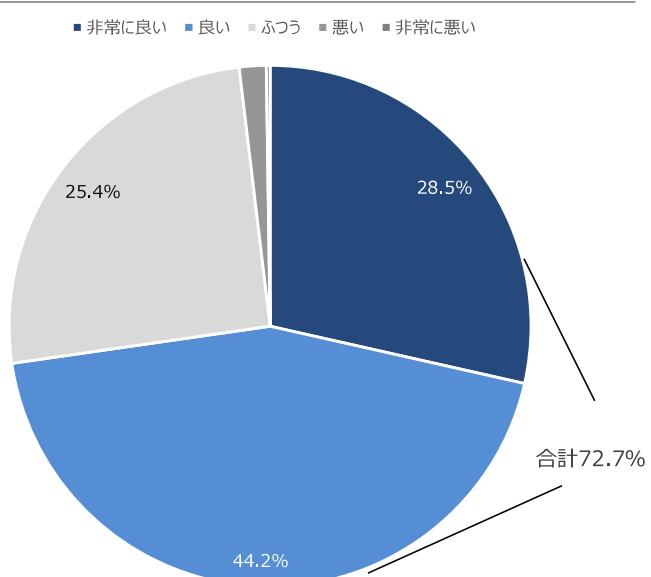
豚肉購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

福島県産に限らず、豚肉購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」が上位にあがり、次いで「鮮度」と「産地」があがった。福島県産豚肉の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が72.7%であった。

豚肉購買時の重視点（n=10,332、複数回答）



福島県産豚肉購買者の評価（n=641）



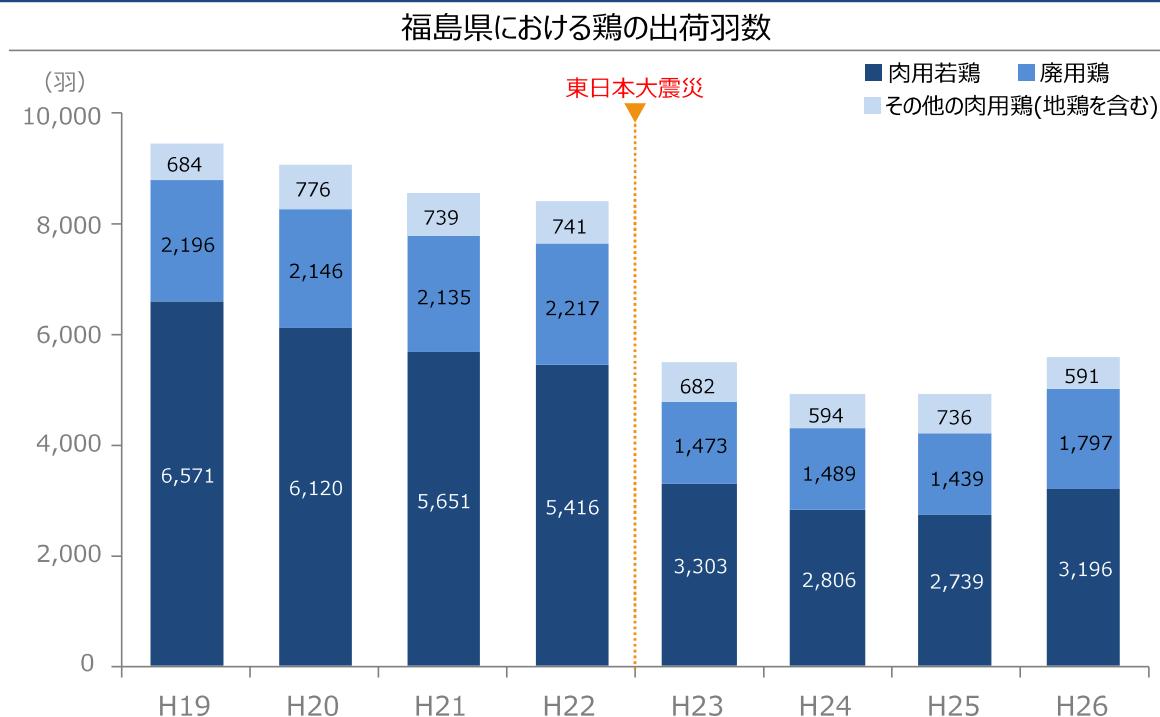
※豚肉購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上豚肉を購買している回答者のみに尋ねた質問。

※福島県産豚肉を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

588

福島県産鶏の出荷羽数の推移

福島県産鶏の出荷羽数は、平成23年以降、肉用若鶏を中心に大幅に減少。ただし、最後に都道府県別統計が公表された平成26年は前年よりやや増加した。



データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」

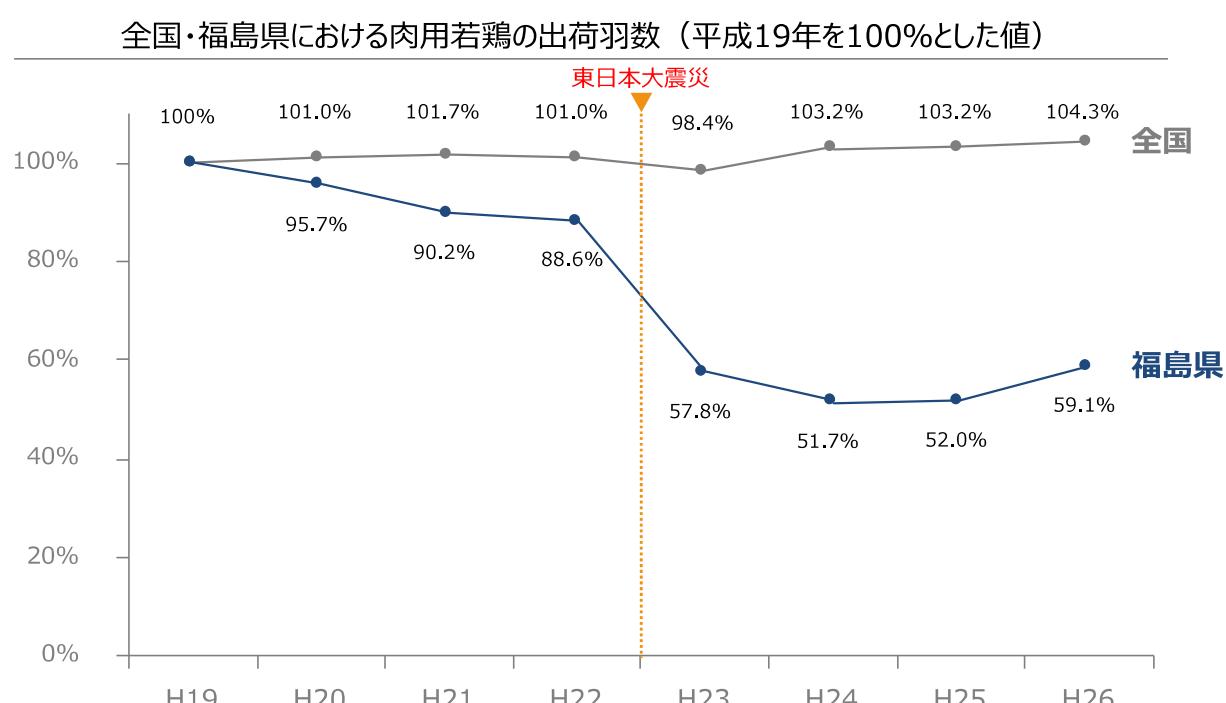
※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

589

肉用若鶏の出荷羽数の推移

肉用若鶏の出荷羽数は、全国では微増傾向である一方、福島県の出荷羽数は震災後大幅に減少した後、平成19年比50～60%程度で推移している。



データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」

※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

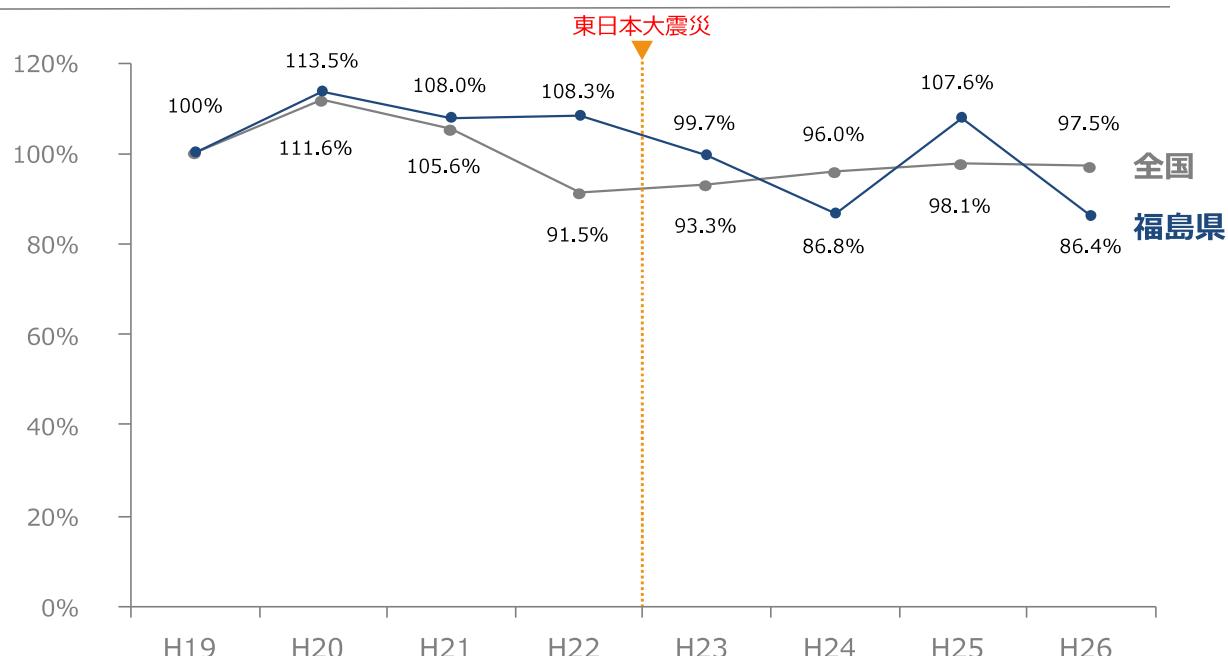
※H29年度調査において作成。

590

その他の肉用鶏（地鶏を含む）の出荷羽数の推移

福島県産の地鶏を含むその他の肉用鶏の出荷羽数は、震災後、2年連続で減少した後、平成25年に一時的に回復するものの、平成26年に再び減少している。

全国・福島県におけるその他の肉用鶏（地鶏を含む）の出荷羽数（平成19年を100%とした値）



データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」

※同調査における都道府県別の出荷は数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

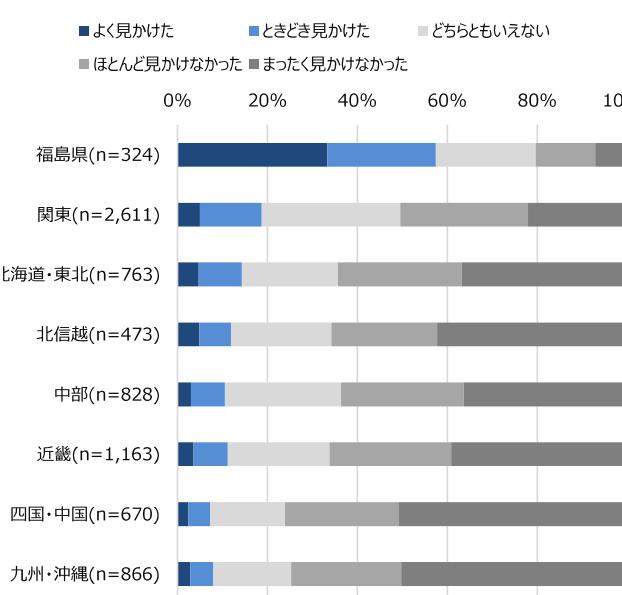
※H29年度調査において作成。

591

福島県産鶏肉を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

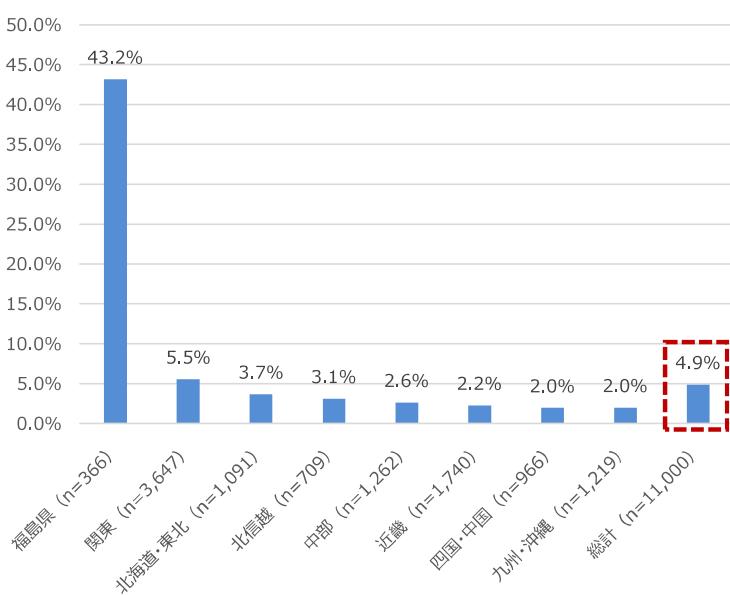
福島県産鶏肉をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、北海道・東北を除く他の地域では10%に満たない。福島県産鶏肉を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では4.9%であった。

福島県産鶏肉を店頭で見たか



※過去1~2年に、店頭で福島県産鶏肉を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産鶏肉の購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数
※記憶に関する質問であるため、产地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

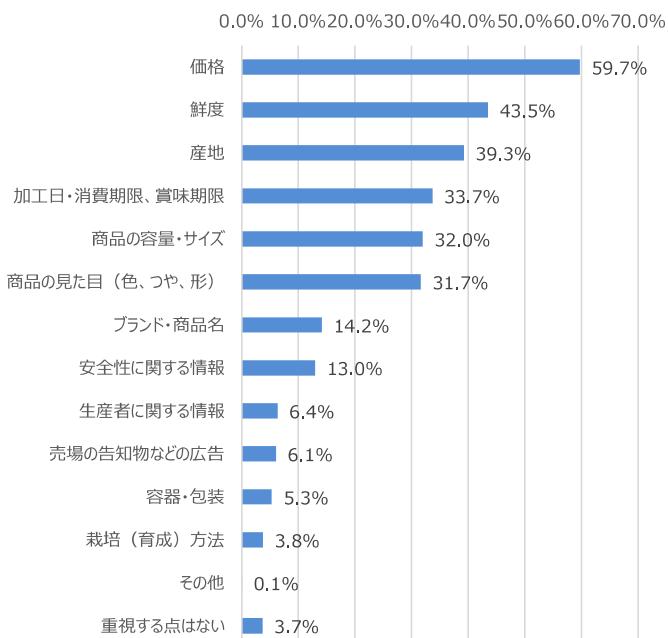
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

592

鶏肉購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

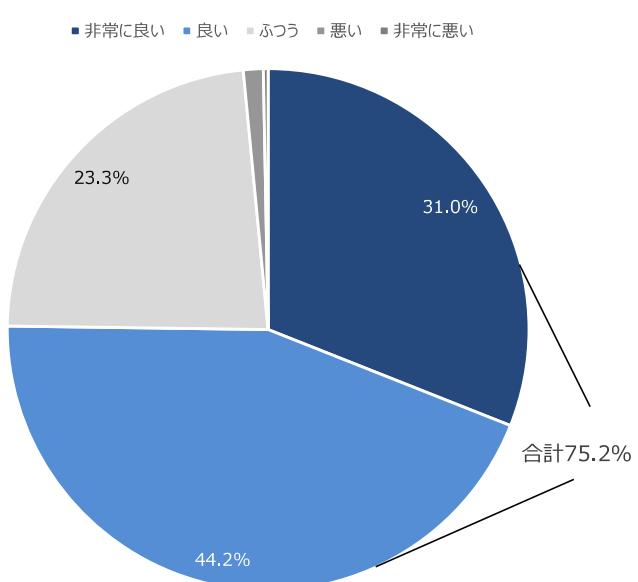
福島県産に限らず、鶏肉購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」が上位にあがり、次いで「鮮度」と「産地」があがった。福島県産鶏肉の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が75.2%であった。

鶏肉購買時の重視点（n=10,046、複数回答）



※鶏肉購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上鶏肉を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産鶏肉購買者の評価（n=544）



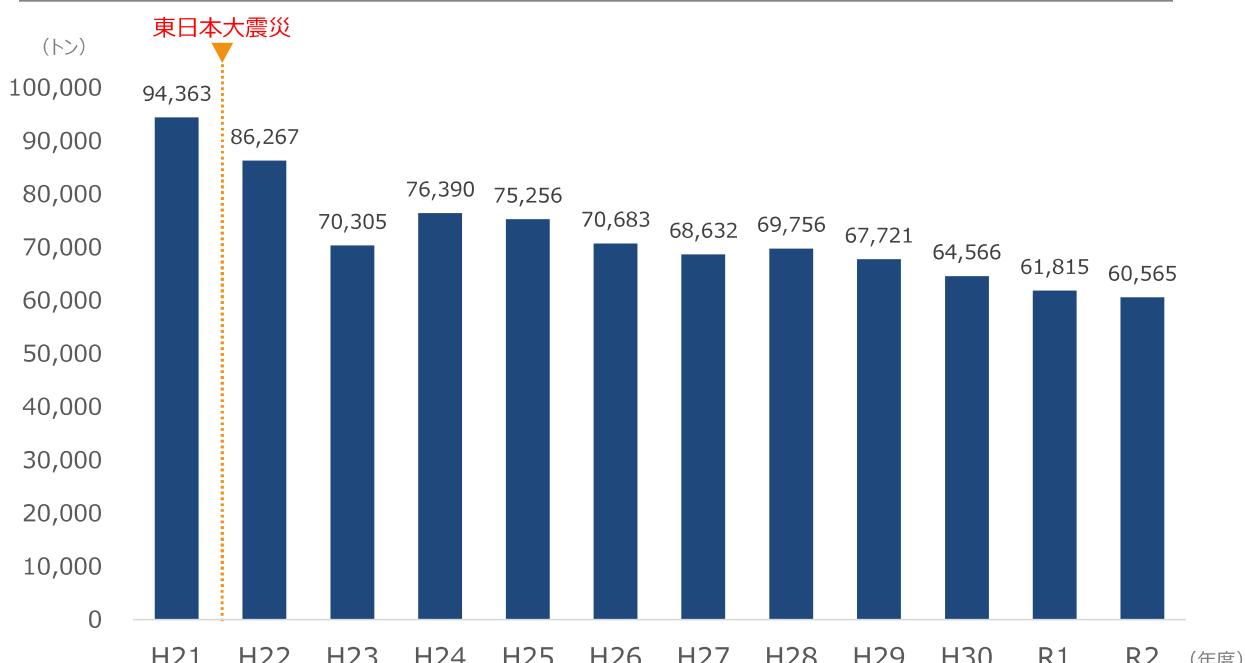
※福島県産鶏肉を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

593

福島県産生乳受託販売量の推移（指定生乳生産者団体）

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の受託販売量は平成23年度に大きく減少し、平成24年度に回復したものの、それ以降減少傾向で推移している。

指定生乳生産者団体における福島県産生乳受託販売量の推移



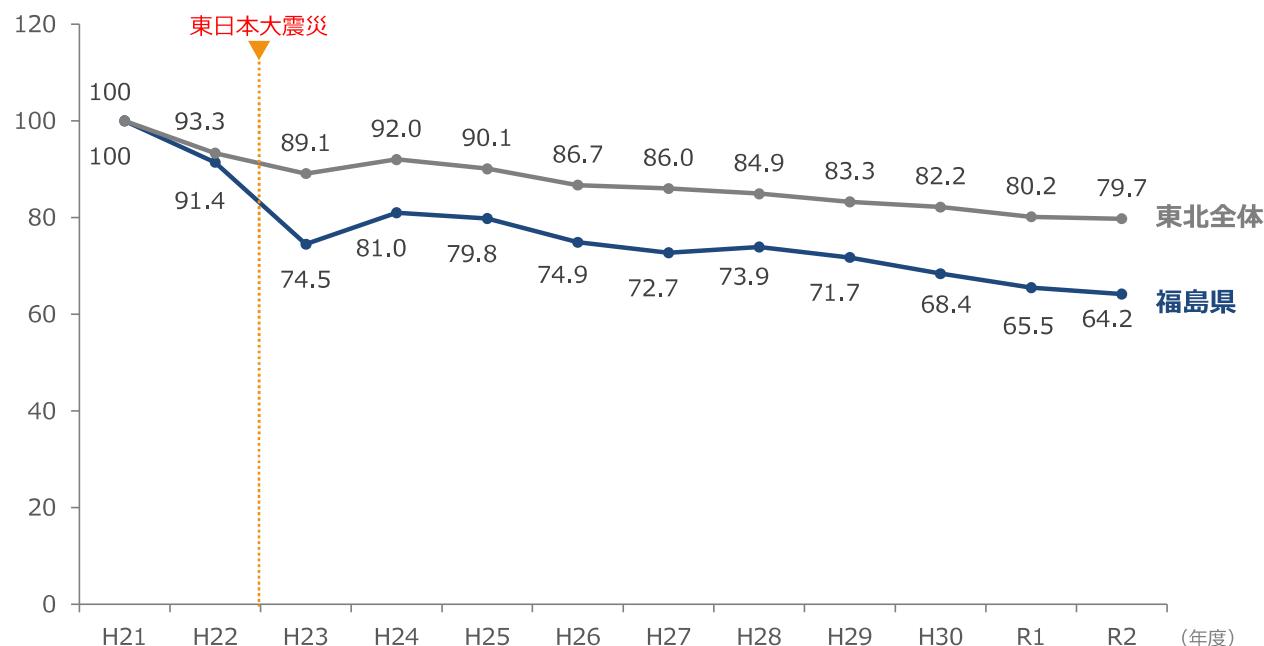
データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

594

生乳受託販売乳量の推移

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の受託販売乳量は、震災前は東北全体と同程度の傾向で推移していたが、震災直後に大きく減少した。その後、平成24年度にやや回復したが、それ以降は減少傾向に推移している。

東北全体・福島県での指定生乳生産者団体における生乳受託販売乳量の推移
(平成21年度を100%とした値)



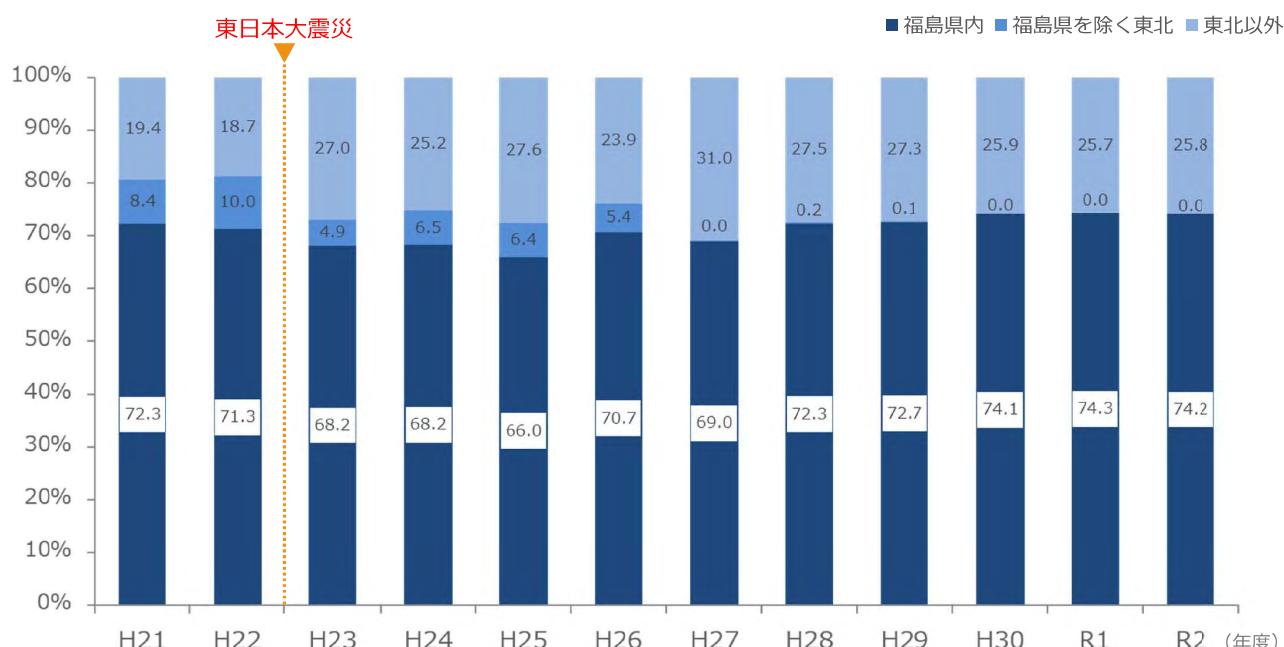
データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

595

福島県産生乳の供給先別シェアの推移

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の供給先としては、県内向けが中心であり、平成27年度以降は福島県以外の東北地域への供給はほぼなくなっている。

指定生乳生産者団体における福島県産生乳供給先別シェアの推移



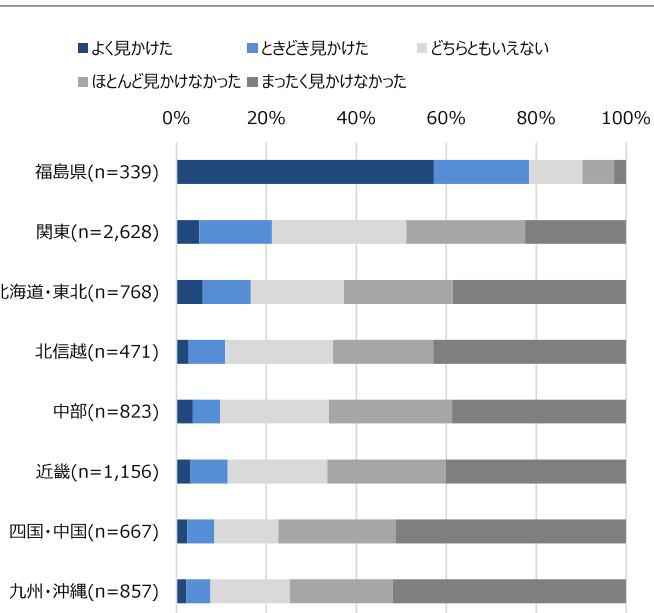
データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

596

福島県産牛乳を見た経験と購買経験（消費者アンケート）

福島県産牛乳をよく見かけた人の割合は、福島県で高く、他の地域では10%に満たない。福島県産牛乳を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.7%であった。

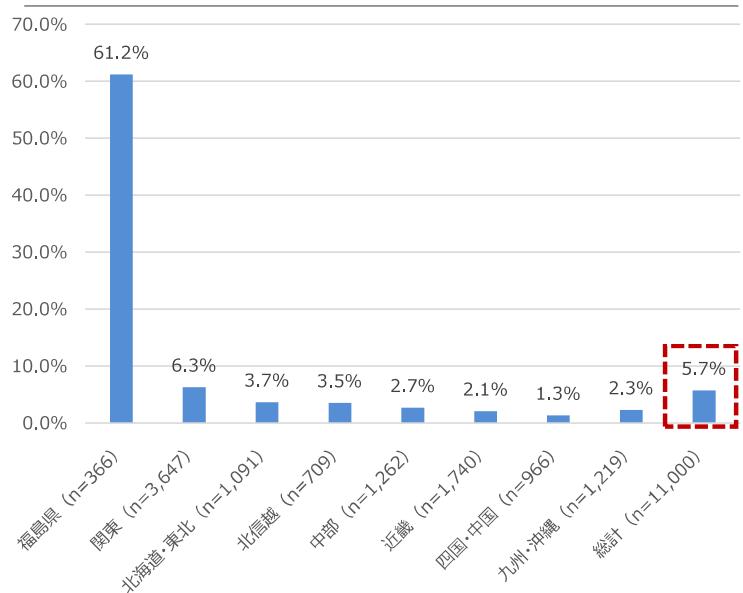
福島県産牛乳を店頭で見たか



※過去1～2年に、店頭で福島県産牛乳を見た記憶を尋ねた。

※nは「分からぬ」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産牛乳の購買経験率



※購買経験率=1度でも購買したことがある人数／回答者数

※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購買経験なしとなる。

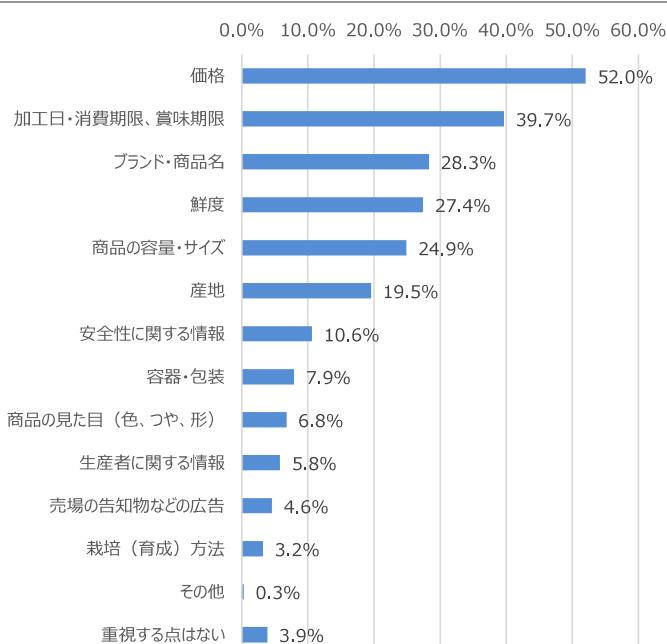
*本頁及び次頁は、令和2年国勢調査における年代別人口比と合わせるため、ウェイトバック集計をしている。

597

牛乳購買時の重視点と、購買者の評価（消費者アンケート）

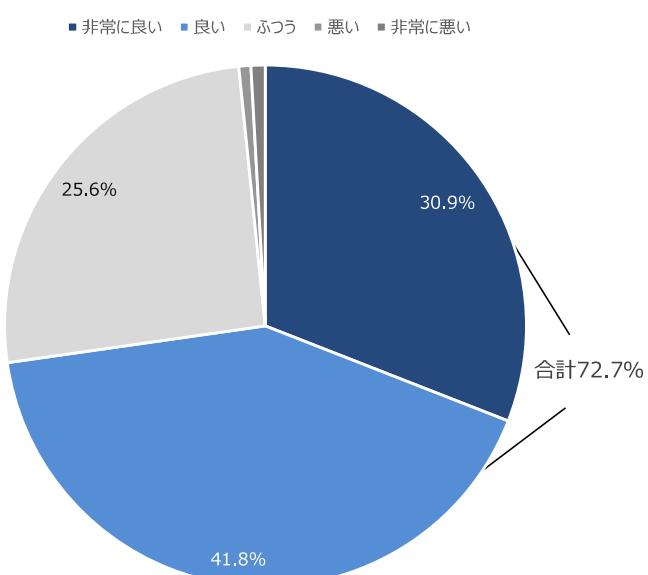
福島県産に限らず、牛乳購買時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「加工日・消費期限、賞味期限」が上位にあがり、次いで「ブランド・商品名」があがった。福島県産牛乳の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が72.7%であった。

牛乳購買時の重視点 (n=9,300、複数回答)



※牛乳購買時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上牛乳を購買している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産牛乳購買者の評価 (n=629)



※福島県産牛乳を買ったことがある回答者のみに尋ねた質問。

※選択肢には「非常に悪い」という選択肢があったが、本設問では「非常に悪い」を選択した回答者はいなかった。

598